

自己評価指標（ベンチマーク）解説書

低炭素ベンチマーク

平成26年3月

東京都環境局

はじめに

東日本大震災以降、わが国の電力エネルギー政策は抜本的な見直しを迫られ、電力供給体制の変革とともに、需要面においても省エネルギー・節電を加速するしくみの構築が求められています。一方で、世界各地では異常気象が頻発し、地球温暖化の影響が懸念され、気候変動に関する国際的な新たな枠組みづくりの進展が求められる中、気候変動対策の推進役として都市レベルの取組への期待が高まっています。

東京都は、これまで大規模事業所向けのキャップ&トレード制度、中小規模事業所向けの地球温暖化対策報告書制度など、先駆的な気候変動対策を展開してきました。こうした対策を通じて培った経験やノウハウと日本の優れた省エネ技術を活用して、低炭素で防災力と快適性を兼ね備えた「スマートエネルギー都市」への転換を目指しています。

これまで地球温暖化対策報告書に取り組んでいただいていた事業者のみなさまは、既に、自らの事業所のCO₂排出量を把握し、日々、地球温暖化対策を実践されているところでございます。

都は、その取組を一層推進していくため、平成 24 年（2012 年）度に、提出をいただいた地球温暖化対策報告書の情報を活用し、報告書を提出した事業者のみなさまが、自らの事業所の排出水準を把握するための指標として、各業種のCO₂排出状況を示した、自己評価指標（ベンチマーク）と、ベンチマークを活用する手引きとなる「自己評価指標（ベンチマーク）解説書」を作成しました。

これまでのベンチマークは、平成 21 年（2009 年）度の実績にて作成されたものであるため、その数値は、震災後、省エネ・節電の取り組みが進んだ平成 23 年（2011 年）度以降の実態と乖離してきました。このため、都は、平成 24 年（2012 年）度の実績にてベンチマークを改訂するとともに、目標設定などに使いやすいようにベンチマークのレンジを見直し、また、いただいた報告書の事業所情報の分析により、ベンチマーク区分も追加することとしました。

本書では、ベンチマークの作成方法や自分の事業所がどのベンチマークの区分に該当するかなど、ベンチマークの利用方法を詳しく解説していますので、報告書を提出されたみなさまに広くご活用いただけることを期待しています。

目次

1	地球温暖化対策報告書を活用した自己評価指標（ベンチマーク）導入	1
1-1	自己評価指標（ベンチマーク）導入のねらい	1
1-2	CO ₂ 排出原単位	3
1-3	ベンチマーク 2012 年度実績版	4
1-4	ベンチマーク（業種）区分	5
2	ベンチマークの見方と活用方法	6
2-1	ベンチマークの見方	6
2-2	ベンチマークレンジについて	7
2-3	自分の事業所におけるCO ₂ 排出原単位の確認について	8
2-4	ベンチマークとの比較について	9
2-5	ベンチマーク改定による範囲の変化	10
2-6	ベンチマークの活用について	11
3	ベンチマーク（業種）区分について	13
3-1	オフィス（テナント専有部）	13
3-2	オフィス（自社ビル）	14
3-3	テナントビル（オフィス系）	15
3-4	テナントビル（商業複合系）	16
3-5	物販店（コンビニ）	17
3-6	物販店（ドラッグストア）	17
3-7	物販店（総合スーパー・百貨店）	17
3-8	物販店（生鮮食品等）	18
3-9	物販店（食料品の製造小売）	18
3-10	物販店（服飾品）	18
3-11	物販店（自動車（新車）小売）	19
3-12	飲食店（食堂・レストラン）	19
3-13	飲食店（居酒屋・バー）	20
3-14	飲食店（ハンバーガー）	20
3-15	飲食店（喫茶）	20
3-16	飲食店（焼肉）	21
3-17	飲食店（中華料理・ラーメン）	21
3-18	飲食店（その他）	21
3-19	旅館・ホテル	22

3-20	学校・教育施設	22
3-21	病院・診療所	22
3-22	保育所	23
3-23	保健・介護施設	23
3-24	フィットネス施設	23
3-25	パチンコ店舗	24
3-26	カラオケボックス店舗	24
3-27	ゲームセンター	24
3-28	図書館	25
3-29	博物館・美術館	25
3-30	区市町村庁舎等	25
4	ベンチマークを活用する際の留意点	26
4-1	活用時の留意点	26
4-2	テナントビルにおける留意点	27
4-3	補正方法の紹介	30
4-4	物販店（コンビニ）等を例にした延べ床面積による補正方法の解説	31
4-5	報告書の様式改正とベンチマーク改定について	35
5	業種区分ごとのベンチマーク	36
5-1	オフィス（テナント専有部）	37
5-2	オフィス（自社ビル）	38
5-3	テナントビル（オフィス系）	39
5-4	テナントビル（商業複合系）	42
5-5	物販店（コンビニ）	45
5-6	物販店（ドラッグストア）	46
5-7	物販店（総合スーパー・百貨店）	47
5-8	物販店（生鮮食品等）	48
5-9	物販店（食料品の製造小売）	49
5-10	物販店（服飾品）	50
5-11	物販店（自動車（新車）小売）	51
5-12	飲食店（食堂・レストラン）	52
5-13	飲食店（居酒屋・バー）	53
5-14	飲食店（ハンバーガー）	54
5-15	飲食店（喫茶）	55
5-16	飲食店（焼肉）	56

5-17 飲食店（中華料理・ラーメン）	57
5-18 飲食店（その他）	58
5-19 旅館・ホテル	59
5-20 学校・教育施設	60
5-21 病院・診療所	61
5-22 保育所	62
5-23 保健・介護施設	63
5-24 フィットネス施設	64
5-25 パチンコ店舗	65
5-26 カラオケボックス店舗	66
5-27 ゲームセンター	67
5-28 図書館	68
5-29 博物館・美術館	69
5-30 区市町村庁舎等	70

参考資料 ベンチマークの作成方法

- 1 ベンチマーク作成作業フロー
- 2 スクリーニング作業の概念

1. 地球温暖化対策報告書を活用した自己評価指標（ベンチマーク）導入

1-1 自己評価指標（ベンチマーク）導入のねらい

平成 22 年（2010 年）度から開始した「地球温暖化対策報告書制度」は、中小規模事業所の地球温暖化対策の底上げを目的としたものであり、各事業所等の CO₂ 排出量を把握し、具体的な地球温暖化対策に取り組み、その内容を東京都に報告するものとなっています。

提出を開始して以降、既に 4 カ年が経過し、毎年度 3 万を超す事業所の報告書が提出され、多くの中小規模事業所の CO₂ 排出量等に関する情報が集まっています。

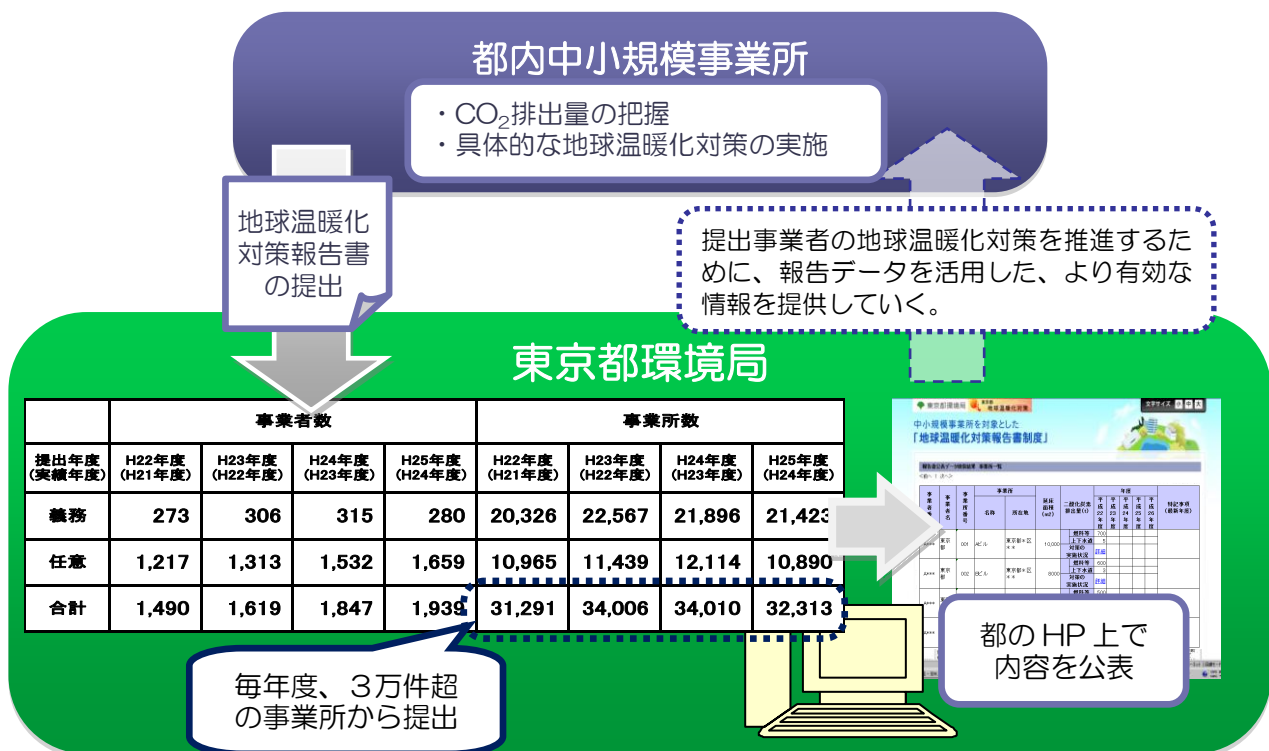


図 1-1 報告書制度による情報の蓄積（概念図）

報告された情報を分析すると、同種同規模の事業所であっても、CO₂ 排出実績が大きく異なっていることが分かってきました（図 1-2）。

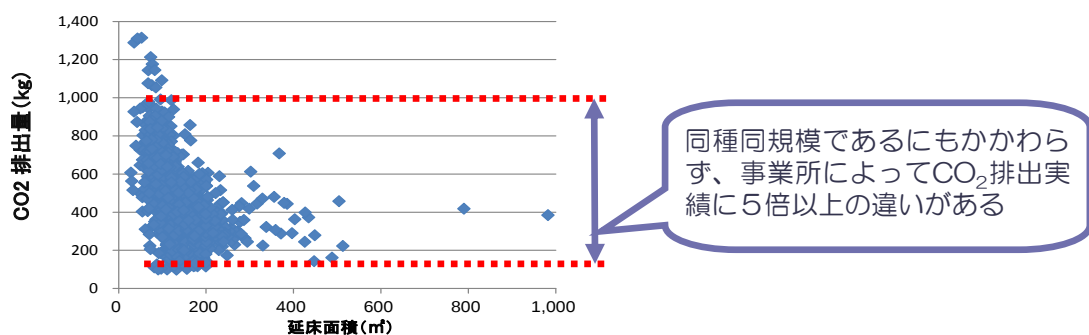


図 1-2 同種同規模事業所の CO₂ 排出実績

都は、平成 24 年（2012 年）度、提出された報告書の情報を活用し、提出事業者のみなさまが、さらに地球温暖化対策を推進していくためのより有効な情報提供を行うため、自己評価指標（ベンチマーク）を作成しました。

これにより事業者のみなさまは、同種の事業所全体の中で自分の事業所のCO₂排出量が多いのか、少ないのかを把握できるとともに、ベンチマークと自らの事業所の排出量を比較することで、現在の排出水準を把握し、ワンランク上の排出水準を目指すことで、地球温暖化対策をより明確にステップアップしていくことができます。また、今回のベンチマークの改定では、ベンチマークのレンジを細分化しましたので、事業者のみなさまは、目標管理を行いやすくなりました。

自分の事業所のCO₂排出原単位とベンチマークを比較

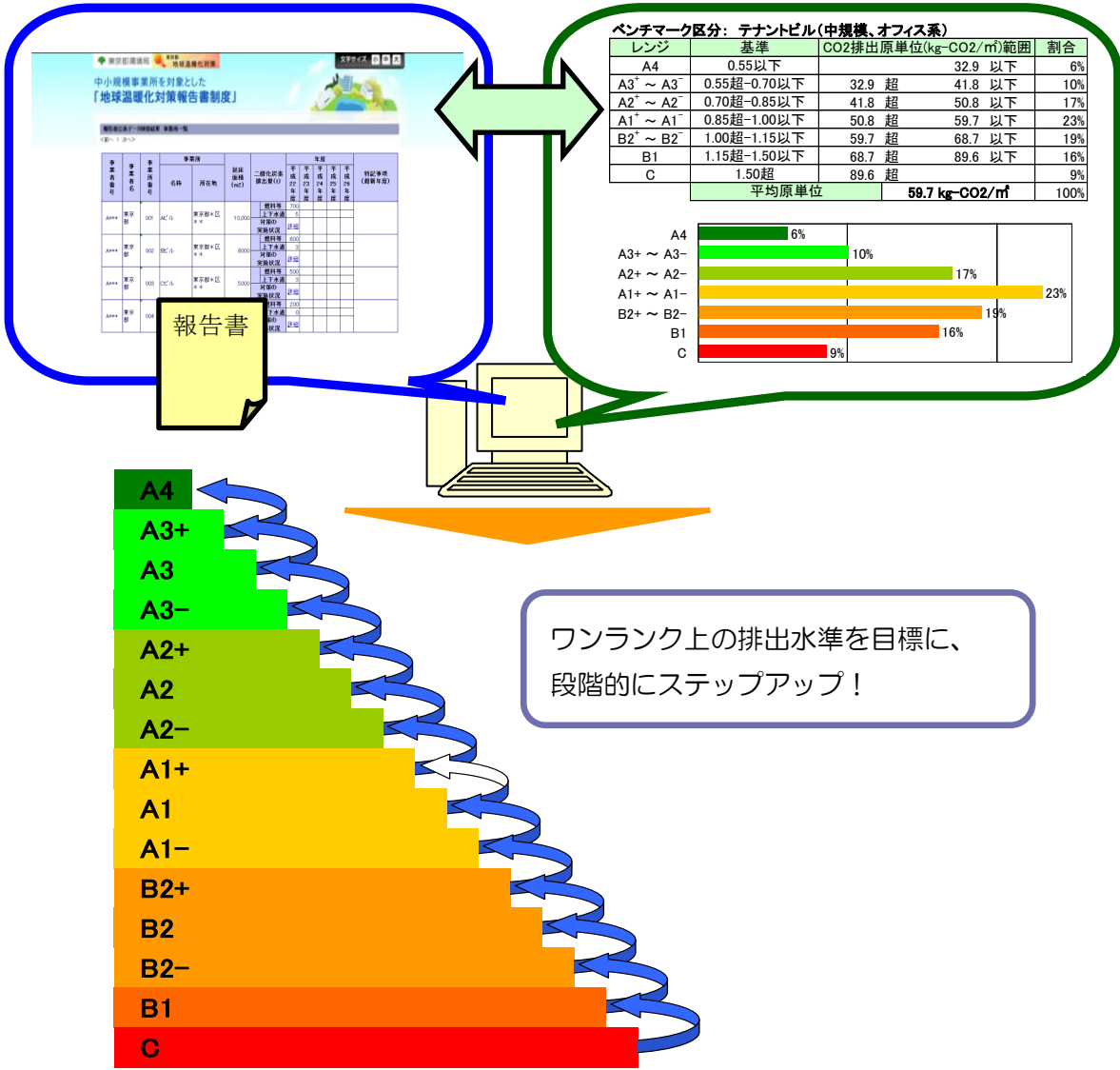


図 1-3 自己評価指標（ベンチマーク）の活用イメージ

地球温暖化対策報告書とは

都内の中小規模事業所（年間のエネルギー使用量が原油に換算して 1,500kL 未満となる事業所等※¹）全てを対象に、報告の前年度のCO₂排出量と地球温暖化対策の実施状況を都に報告する任意の報告制度。ただし、都内に複数の事業所※²を設置し、合算したエネルギー使用量が 3,000kL 以上となる事業者には、報告書の提出が義務付けられている。

※¹ 建物単位だけでなく、テナントも対象事業所となり、原油換算 1,500kL 未満とは、事務所では 3 万 m² 未満

※² 義務提出者の合算対象事業所は、30kL 以上、1,500kL 未満の事業所

1-2 CO₂排出原単位

CO₂排出量は、一般的に事業所の規模に応じて大きければ多く、小さければ少なくなります。そのため、規模の異なる事業所のCO₂排出量の比較は、そのままでは単純に比較することはできません。

そこで、こうした比較を可能にするため、都の自己評価指標（ベンチマーク）では、指標を原単位化しています。原単位化にあたっては、既公表情報となっている燃料等の使用に伴い排出される 1 年間のCO₂排出量の実績値を延べ床面積で割り算した、単位面積当たりのCO₂排出量をベンチマークとしています。

$$\text{自己評価指標 (ベンチマーク)} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量(t)} \times 1,000}{\text{延べ床面積(m}^2\text{)}}$$

図 1-4 自己評価指標（ベンチマーク）とCO₂排出原単位

平成 24 年（2012 年）度から、CO₂排出原単位（kg-CO₂/m²）がホームページで公表されています。それ以前の年度の原単位は、公表されている情報から次のように求めることができます。

4件中 30 件表示

事業者番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所等の概要(最新年度)					年度別 公表項目	年度別実績 Performance of Each Year													
		事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (m ²) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks		21年度 実績 (2009)		22年度 実績 (2010)		23年度 実績 (2011)		24年度 実績 (2012)		25年度 実績 (2013)					
								t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡				
D0004			CO ₂ 第1 東京都新	CO ₂ 第1	1234.56		CO ₂ 排出状況	燃料等	75	72	69	70	56.7								
								上下水道		—											
							目標	有無													
原単位の算出方法								公表されている原単位													
(試算例) CO₂排出原単位=(72(t)×1,000)÷1,234.56(m²) =58.3(kg-CO₂/m²)																					

※CO₂排出量は、燃料等の排出に伴うCO₂排出量を用います。（上下水道は除く）また、原単位は、小数点第2位は切り捨てとします。

図 1-5 CO₂排出原単位の算出方法

1-3 ベンチマーク 2012 年度実績版

都のベンチマークは、地球温暖化対策報告書制度により提出された、3万を超える中小規模事業所のデータを基に作成したものです。平成24年（2012年）5月に公表したベンチマークは、平成22年（2010年）度に提出のあった、平成21年（2009年）度のデータによるものでした。

震災以降、省エネ・節電の取組とその継続により中小規模事業所のCO₂排出量は、大きな削減を見せています。このため都は、平成25年（2013年）度に提出された平成24年（2012年）度の実績データを基に、ベンチマーク数値について見直しを行いました。

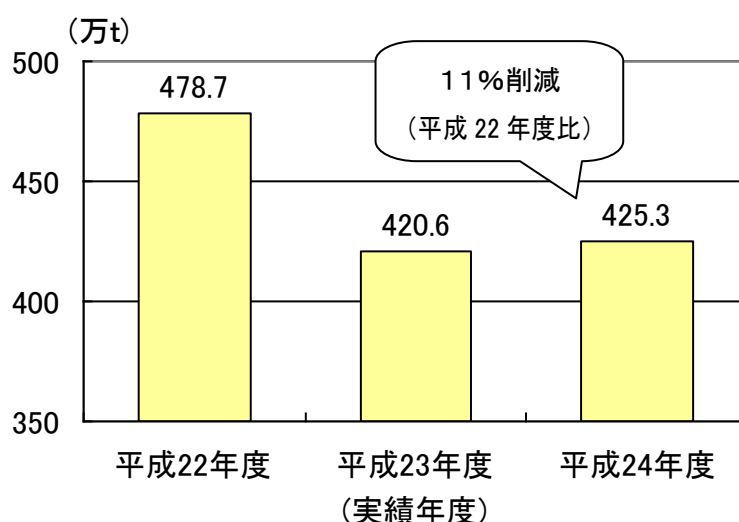


図 1-6 報告書を3年連続提出した事業所(26,577事業所)のCO₂排出量の推移

地球温暖化対策報告書制度では、平成25年4月に報告書の様式変更を行い、実績年度のエネルギー使用期間や報告範囲の主たる用途等、より詳細な事業所情報を取得することができました。このため、ベンチマーク（業種）区分について細分化や追加を行い、30区分としました。

また、以前はベンチマークレンジを25%刻みに「A4、A3、A2、A1、B2、B1、C」と設定し、1つレベルアップしようとした際には、CO₂排出量を大きく削減しなければならない場合があります。このため、ベンチマークレンジを5%刻みへと見直し、A3からB2については、「A3⁺、A3、A3⁻」のように細分化しました。これにより、ベンチマークを実現可能な目標値として設定することができ、ベンチマークを活用しやすくなります。

新しいベンチマークや区分の詳細については、次ページ以降 及び 3. ベンチマーク（業種）区分 並びに 5. 業種区分ごとのベンチマークにて解説します。

1-4 ベンチマーク（業種）区分

ベンチマークは、日本標準産業分類「細分類」の業種区分を基に、同質の事業形態のものを1つの区分にとりまとめて、ベンチマーク区分を構築しています。

ベンチマーク区分は、産業分類が明確（例：コンビニやハンバーガー店）な場合には、産業分類情報のみを使用し区分を作成していますが、産業分類だけでは正確に区分を設定することが困難（テナントオフィス、テナントビル）な場合には、その他の情報（所有形態、報告範囲、主たる用途など）を加味して区分を設定しています。

また、ベンチマーク区分は、原則として同質の事業形態をとる事業所が多いものについて設定していますが、すべての業種を網羅しているものではありません。

ベンチマーク区分は、現在、次に示すとおりです。（表 1-1）。

表 1-1 自己評価指標で使用するベンチマーク区分

区分 番号	ベンチマーク区分	区分 番号	ベンチマーク区分
1	オフィス(テナント専有部)	19	旅館・ホテル
2	オフィス(自社ビル)	20	学校・教育施設
3	テナントビル(オフィス系)	21	病院・診療所
4	テナントビル(商業複合系)	22	保育所
5	物販店(コンビニ)	23	保健・介護施設
6	物販店(ドラッグストア)	24	フィットネス施設
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	25	パチンコ店舗
8	物販店(生鮮食品等)	26	カラオケボックス店舗
9	物販店(食料品の製造小売)	27	ゲームセンター
10	物販店(服飾品)	28	図書館
11	物販店(自動車(新車)小売)	29	博物館・美術館
12	飲食店(食堂・レストラン)	30	区市町村庁舎等
13	飲食店(居酒屋・バー)		
14	飲食店(ハンバーガー)		
15	飲食店(喫茶)		
16	飲食店(焼肉)		
17	飲食店(中華料理・ラーメン)		
18	飲食店(その他)		

2. ベンチマークの見方と活用方法

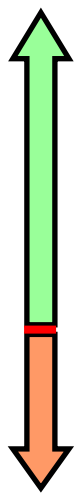
2-1 ベンチマークの見方

テナントビル(オフィス系、中規模)におけるベンチマーク

レンジ	基準	CO2排出原単位(kg-CO2/m)範囲		事業所数	割合	平均面積	
A4	～ 55%	32.9 以下		46	6%	5,530.1	
A3+	55%～ 60%	32.9 超	35.9 以下	19	10%	4,822.7	
A3	60%～ 65%	35.9 超	38.9 以下	28		5,718.2	
A3-	65%～ 70%	38.9 超	41.8 以下	30		5,657.0	
A2+	70%～ 75%	41.8 超	44.8 以下	36		5,117.1	
A2	75%～ 80%	44.8 超	47.8 以下	50	17%	6,047.5	
A2-	80%～ 85%	47.8 超	50.8 以下	44		5,241.7	
A1+	85%～ 90%	50.8 超	53.8 以下	69	23%	5,423.6	
A1	90%～ 95%	53.8 超	56.8 以下	62		5,855.2	
A1-	95%～100%	56.8 超	平均値 59.7 以下	45		5,194.9	
B2+	100%～105%	平均値 59.7 超	62.7 以下	55	19%	5,140.0	
B2	105%～110%	62.7 超	65.7 以下	54		5,140.0	
B2-	110%～115%	65.7 超	68.7 以下	36		6,047.5	
B1	115%～150%	68.7 超	89.6 以下	123	16%	5,511.1	
C	150%～	89.6 超		66	9%	5,852.2	
		平均原単位	59.7	合計	763	100%	5,616.3

CO₂排出原単位

“小”



レンジ	基準	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)範囲
A4	～ 55%	32.9 以下
A3+	55%～ 60%	32.9 超 35.9 以下
A3	60%～ 65%	35.9 超 38.9 以下
A3-	65%～ 70%	38.9 超 41.8 以下
A2+	70%～ 75%	41.8 超 44.8 以下
A2	75%～ 80%	44.8 超 47.8 以下
A2-	80%～ 85%	47.8 超 50.8 以下
A1+	85%～ 90%	50.8 超 53.8 以下
A1	90%～ 95%	53.8 超 56.8 以下
A1-	95%～100%	56.8 超 平均値 59.7 以下
B2+	100%～105%	平均値 59.7 超 62.7 以下
B2	105%～110%	62.7 超 65.7 以下
B2-	110%～115%	65.7 超 68.7 以下
B1	115%～150%	68.7 超 89.6 以下
C	150%～	89.6 超
		平均原単位 59.7

CO₂排出原単位

“大”

テナントビル(オフィス系、中規模)における平均CO₂排出原単位

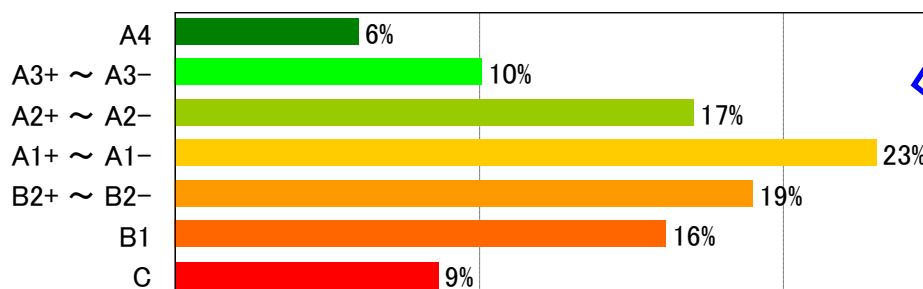


図 2-1 テナントビル（中規模、オフィス系）のベンチマークの見方（イメージ）

例えば、A3のCO₂排出原単位の範囲は 35.9～38.9 kg-CO₂/m² ですが、これは、平均値(59.7)×60(%)=35.9(kg-CO₂/m²)超、平均値(59.7)×65(%)=38.9(kg-CO₂/m²)以下の範囲になります。また、ベンチマーク表右側の事業所数、割合をグラフ化したものが、下段のグラフになり、このベンチマークの対象となる業種区分（テナントビル（オフィス系、中規模））の排出水準の分布が一目でわかるようになっています。

2-2 ベンチマークレンジについて

ベンチマークは、2段階のスクリーニング作業を終了した母数の平均値を基準に、平均値からの排出原単位の少ない方に向かって、平均値から15%刻みで、A1～A4の4段階とし（A1～A3は、さらに細分化）、また、平均値から排出原単位の多い方には、平均値の15%増しをB2、50%増しをB1、B1を超えるレンジをCとして、3段階を設定（B2は、さらに細分化）しています。

表 2-1 ベンチマークレンジ基準

レンジ		基準
A4	A4	55%以下
A3	A3 ⁺	55%超-60%以下
	A3	60%超-65%以下
	A3 ⁻	65%超-70%以下
A2	A2 ⁺	70%超-75%以下
	A2	75%超-80%以下
	A2 ⁻	80%超-85%以下
A1	A1 ⁺	85%超-90%以下
	A1	90%超-95%以下
	A1 ⁻	95%超-100%以下
B2	B2 ⁺	100%超-105%以下
	B2	105%超-110%以下
	B2 ⁻	110%超-115%以下
B1	B1	115%超-150%以下
C	C	150%超

平均値から原単位の小さい（“0”に近い）方に、5%刻みで算出

平均値ライン

平均値から原単位の大きい方に、5%刻みで算出

表 2-1 からわかるとおり、平均値自体はA1⁻に属し、平均値を超過するとB2⁺に属することになります。以下、各レンジにおける排出原単位の大きい次のレンジとの境界値についても同様に、境界値自体は当該レンジに含む構成となっています。

ベンチマークレンジは、欧州の7段階のエネルギー性能評価（具体的には、英国DEC（Display Energy Certificate）等）を参考にして、7段階（15レンジ）として構成しています。今後も、ベンチマークを活用するみなさまのご意見を踏まえて改善を図っていく予定です。

2-3 自分の事業所におけるCO₂排出原単位の確認について

報告書を提出した事業者様は、CO₂排出原単位を都のホームページや提出した報告書から簡単に確認することができます。ベンチマークと比較したい事業所のCO₂排出原単位に関する必要な情報は、主に次の①～③の方法で確認することができます。

- ① 環境局のHP上から当該事業所を確認
- ② 提出した地球温暖化対策報告書（その2）
- ③ 地球温暖化対策報告書を作成した作成ツールの入力情報

中小規模事業所を対象とした「地球温暖化対策報告書制度」

報告書公表データ検索結果 事業所一覧 Facilities List

<前へ 1 次へ>

4件中 30 件表示

事業者番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (m ²) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks	年度別 公表項目	年度別実績 Performance of Each Year									
								21年度 実績 (2009)		22年度 実績 (2010)		23年度 実績 (2011)		24年度 実績 (2012)			
								t	kg/m ²	t	kg/m ²	t	kg/m ²	t	kg/m ²		
							CO ₂ 排出状況	75		72		69		70	56.7	68	55.0
							燃料等										
							上下水道							0		0	
							有無										有
							達成状況										
							対策の実施状況										

原単位

方法①:HPIによる確認

その2 (表)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称 ○○第1ビルディング

事業所番号 00000400001

事業所等の所在地 東京都新宿区

事業所等の延床面積 1234.56 m²

事業所等の最長年度のエネルギー使用期間 1年度分 1年未満

報告範囲 自己所有 他所有 建物の一部(テナント) 建物の一部(その他)

報告範囲の主たる用途 事務所 商業施設(物販) 商業施設(飲食) 工場 複合施設 その他

日本標準産業分類における細分類番号 69111 連鎖化事業区分 直営店 加盟店 非該当

前年度の報告内容からの変更点

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成24年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(1) = (B) × 0.0258 45 kJ

二酸化炭素排出量(2) = (B) × 0.0563 68 t

排出原単位(3) = (2) ÷ (1) 1.51 kg-CO₂/m²

3 二酸化炭素排出量の内訳

燃料等の種類	推計の使用量	単位	係数	熱量(GJ)	排出係数	排出量(t)
都市ガス	43.00	Nm ³	0.0138	0.593	0.0138	0.593
燃料油	50.80	kg	0.0163	0.831	0.0163	0.831
その他の(LPG)	36.70	kg	0.0163	0.598	0.0163	0.598
その他の(灯油)		kg				
その他の(電気)		kWh	0.0012	0.0012	0.0012	0.0012
その他の(熱)		kWh	0.0012	0.0012	0.0012	0.0012
一般電気事業者からの買電	9.97	kWh	0.0012	0.012	0.0012	0.012
その他の買電(昼間不明の場合を含む。)	9.28	kWh	0.0012	0.011	0.0012	0.011

原単位

方法②:報告書(その2)による確認

トップに戻る 事業所一覧に戻る 換算係数を参照する 入力データ削除

電力については、昼間と夜間で別表としていない場合は、すべてその他の買電(昼間不明の場合を含む。)に入力してください。

推計で求めた場合は、リスト(有)を選んで登録してください。

事業所情報

No	名称	項目	単位	推計の使用量	熱量換算係数	熱量合計(GJ)	CO ₂ 換算係数
		燃料等の使用に伴う熱量合計	MJ	1,759,425			
		原油換算合計	kL	45			
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出量合計	t	68			
		排水等に伴うCO ₂ 排出量	t	0			
		CO ₂ 排出量合計	t	68			
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出原単位	kg-CO ₂ /m ²	55.0			
		都市ガス	m ³	43.00	0.0138	0.593	0.0138
		燃料及び熱	MJ	1.36	0.0012	0.0016	0.0012
		温水	MJ	1.36	0.0012	0.0016	0.0012
		冷水	MJ	1.36	0.0012	0.0016	0.0012
		一般電気事業者からの買電	kWh	9.97	0.0012	0.012	0.0012
		昼間(8時から22時)	kWh	9.28	0.0012	0.011	0.0012
		夜間(22時から翌日8時)	kWh	9.28	0.0012	0.011	0.0012
		その他の買電(昼間不明の場合を含む。)	kWh	9.28	0.0012	0.011	0.0012
		合計				1,759	0.0012
		排出原単位	kg-CO ₂ /m ²			0.200	
		排出原単位	kg-CO ₂ /m ²			0.450	

原単位

方法③:作成ツールによる確認

図 2-2 事業所のCO₂排出原単位の確認方法

2-4 ベンチマークとの比較について

自分の事業所のCO₂排出原単位が確認できたら、当該区分のベンチマークと比較することで、自分の事業所がベンチマークのどの範囲に入っているのかが分かります。これによりベンチマークの業種区分における自分の事業所のCO₂排出水準を把握し、評価することができます。

ここでは、実際に自分の事業所のCO₂排出量とベンチマークとの比較を、オフィス（テナント専有部）を例にとって説明します。

<参考例>

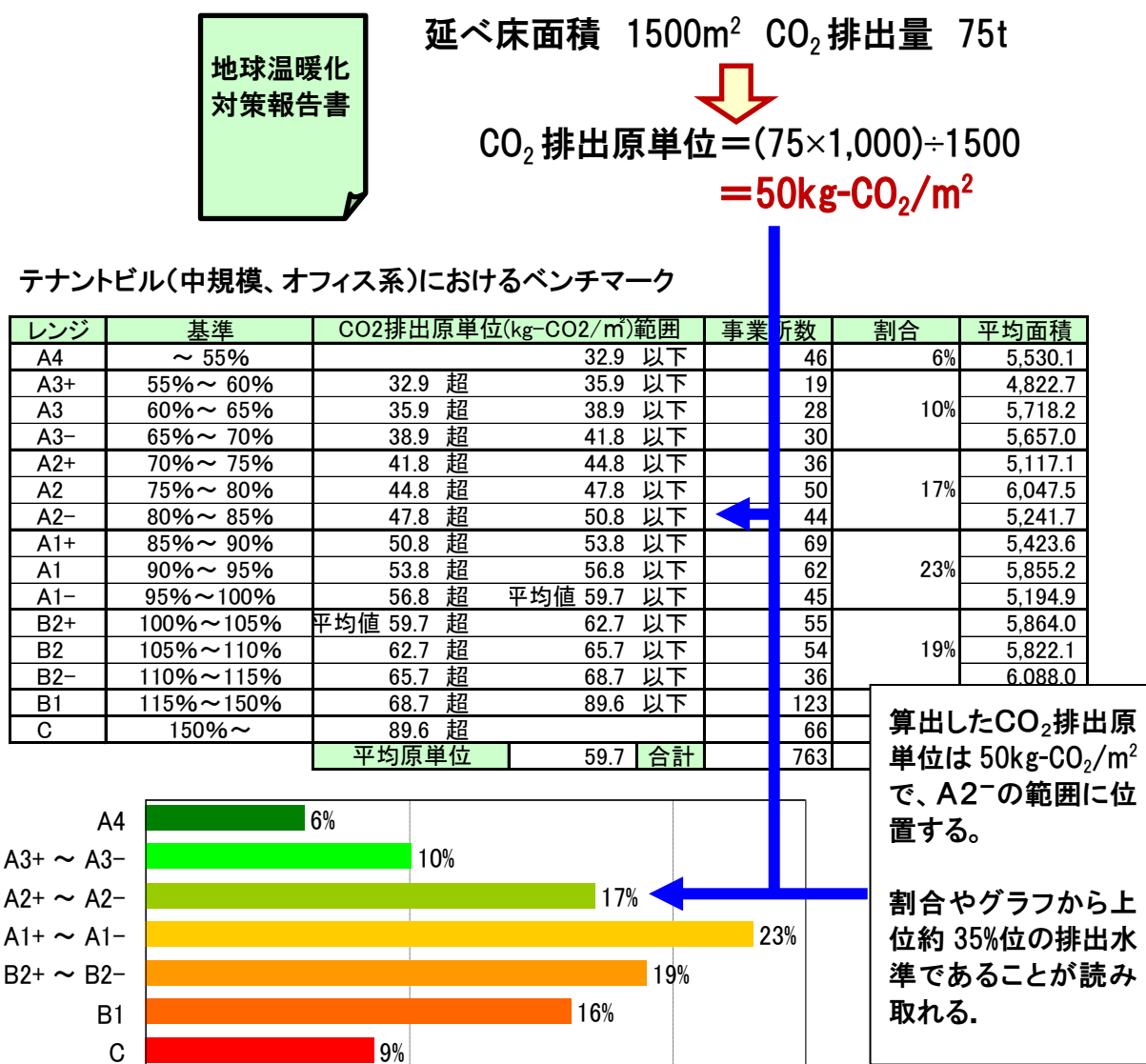


図 2-3 事業所のCO₂排出水準の把握（参考例）

2-5 ベンチマーク改定による範囲の変化

ベンチマークは、地球温暖化対策報告書の各事業所等のCO₂排出実績を基に作成しています。そのため、集計を行った年度の実績水準により、データの基となる事業所数（有効データ）や平均値、各範囲が異なってきます。

平成24年(2012年)度のデータを基に作成したベンチマークについては、平成21年(2009年)度のデータを基に作成したベンチマークと比べると、各(業種)区分の追加や細分化、抽出条件の見直しがあり平均値も変化しています。

平成24年(2012年)度以降の排出実績とベンチマークの比較を行う場合は、改定後のベンチマークにより比較するようにしましょう。

表 2-2 改定による新・旧ベンチマークの平均値比較表（抜粋）

区分 番号	ベンチマーク区分名(2009年実績版)	平均原単位 (kgCO ₂ /m ²)	事業所数 (有効データ)		区分 番号	ベンチマーク区分名(2012年実績版)	平均原単位 (kgCO ₂ /m ²)	事業所数 (有効データ)	平均原単位 の新旧比率 (旧/新)
1	テナントオフィス(専有部)	88.1	859	→	1	オフィス(テナント専有部)	63.6	727	72.2%
				NEW	2	オフィス(自社ビル)	52.0	573	—
2	テナントビル(小規模)	86.2	745	細分化		テナントビル(オフィス系、小規模)	61.9	517	—
	テナントビル(中規模)	78.1	953		3	テナントビル(オフィス系、中規模)	59.7	763	—
						テナントビル(オフィス系、準大規模)	59.6	201	—
	テナントビル(準大規模)	77.4	248		4	テナントビル(商業複合系、小規模)	165.5	135	—
						テナントビル(商業複合系、中規模)	138.8	119	—
						テナントビル(商業複合系、準大規模)	99.6	40	—
3	コンビニ店舗	487.8	3,726	→	5	物販店(コンビニ)	456.6	3,646	93.6%
4	ドラッグストア	261.2	392	→	6	物販店(ドラッグストア)	230.1	312	88.1%
5	百貨店・スーパー	246.5	520	→	7	物販店(総合スーパー・百貨店)	204.5	423	83.0%
6	生鮮食品小売店舗	291.3	356	→	8	物販店(生鮮食品等)※	303.2	694	104.1%
7	食品製造小売店舗	679.2	470	→	9	物販店(食料品の製造小売)	638.0	355	93.9%
8	服飾・雑貨店舗	126.2	247	→	10	物販店(服飾品)	98.0	168	77.7%
				NEW	11	物販店(自動車(新車)小売)	51.6	267	—
9	食堂・レストラン(ファミリーレストラン)	541.2	1121	→	12	飲食店(食堂・レストラン)	496.2	1,569	91.7%
10	居酒屋店舗	283.2	606	→	13	飲食店(居酒屋・バー)	301.5	1,127	106.5%
11	ハンバーガー店舗	668.4	543	→	14	飲食店(ハンバーガー)	600.5	413	89.8%
12	その他飲食店舗 (喫茶・焼肉・ラーメン等)	552.3	1,522	細分化	15	飲食店(喫茶)	324.8	394	—
					16	飲食店(焼肉)	458.2	119	—
					17	飲食店(中華料理・ラーメン)	876.4	183	—
					18	飲食店(その他)	601.1	439	—
13	旅館・ホテル	107.5	137	→	19	旅館・ホテル	103.8	158	96.6%
14	学校・教育施設	20.5	1873	→	20	学校・教育施設	19.9	1,781	97.1%
15	病院・診療所	102.0	71	→	21	病院・診療所	86.2	48	84.5%
16	保育所	48.4	289	→	22	保育所	49.0	241	101.2%
17	保健・介護施設(保育所を除く)	63.0	533	→	23	保健・介護施設	62.5	423	99.2%
18	フィットネス施設	198.7	155	→	24	フィットネス施設	178.9	146	90.0%
19	パチンコ店舗	300.1	92	→	25	パチンコ店舗	224.9	89	74.9%
20	カラオケボックス店舗	236.6	87	→	26	カラオケボックス店舗	198.5	168	83.9%
				NEW	27	ゲームセンター	259.9	50	—
				NEW	28	図書館	52.6	149	—
				NEW	29	博物館・美術館	56.7	63	—
				NEW	30	区市町村庁舎等	44.5	62	—

※ No8の物販店(生鮮食品等)は、生鮮食品小売店舗に牛乳小売業等を追加しました。

平成21年(2009年)度と平成24年(2012年)度では、集計対象となる事業所は、必ずしも同一ではありません。特に、8物販店(生鮮食品等)や13飲食店(居酒屋・バー)

では、データ数が大きく増加しており、新たに報告書を提出した事業所の影響によって平均原単位が大きくなったものと考えられます。なお、実際に、報告書を連続提出している事業所のみで比較した場合では、全ての用途において平均原単位は小さくなっています。

2-6 ベンチマークの活用について

(1) ベンチマークを活用したP D C Aの実践

本解説書のベンチマークと、自分の事業所のCO₂排出水準と比較することにより、同業種の事業所全体の中で、自らのCO₂排出水準が多いのか少ないのか立ち位置を知ることができます。また、ベンチマークの範囲やそのレンジに属する事業所の割合を確認することで、自らの事業所が、概ね上位何%程度に位置しているのか把握することができます。

現状を認識することで、自らが目指すべき地球温暖化対策（事業所のCO₂排出水準）について、次のステージが見えてきます。

ベンチマークの有効な活用方法は、上位のCO₂排出水準を自分の事業所の次なる目標水準として設定できることにあります。目標となる水準が定まることで、現在実施している地球温暖化対策の内容や程度を客観的に評価・見直し、さらにステップアップしていくためにはどの対策を実践していくことが良いのか等を具体的に検討することが可能となります。

具体的な目標を設定することで、地球温暖化対策・省エネ対策のP D C Aサイクルを推進していくことができます。

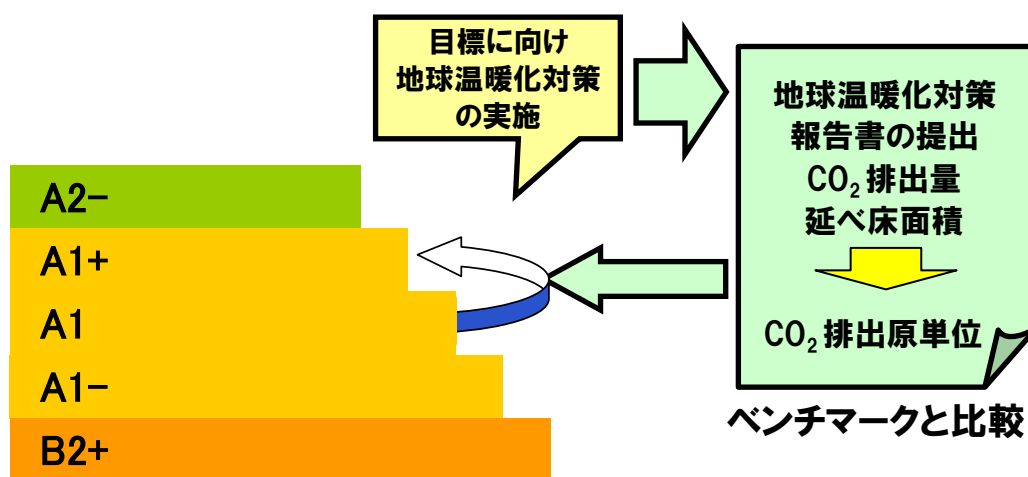


図 2-4 ベンチマークを活用したP D C Aの実践

(2) 上位の事業所をお手本に対策メニューを検討

ベンチマークを活用することで、同業種の事業所の中で自分の事業所よりCO₂排出水準が上位に位置する事業所を見つけ、その事業所では、どのような地球温暖化対策が行われ、どんな取組を実施しているか把握することで、自らが実践する地球温暖化対策のお手本

とすることも可能です。

地球温暖化対策報告書制度の公表画面を利用し、次章で説明するベンチマークに属する産業分類番号による事業所を検索し、事業所一覧の画面から手本となるCO₂排出水準の少ない同種の事業所を探すことができます。

事業所一覧画面のCO₂排出実績下の「詳細」をクリックすることで当該事業所の地球温暖化対策の実施状況が表示されます。表示された地球温暖化対策メニューを参考にし、自分の事業所の地球温暖化対策の実施メニューを策定することができます。

事業所検索 Search by Facility Information

事業所名 Name of Facility

所在地 Address of Facility

郵便番号 (例 999-9999)

区市町村名 指定しない

町名番地以下

提出区分 Submission Category [Mandatory/Voluntary]

指定しない

延床面積 Total Floor Area

m²以上

用途・業種 Type of Business

主たる用途 指定しない

産業分類(中分類) 指定しない

産業分類(細分類) 指定しない

事業所一覧を表示する Search

事業所等の概要(最新年度)

事業所番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (m ²) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks	年度別公表項目 Performance of Each Year					
							21年度実績 (2009)	22年度実績 (2010)	23年度実績 (2011)	24年度実績 (2012)		
xxxxxxx	新築ビル株式会社	xxxxx	新築ビル	新築ビル西新橋	3020.15		CO ₂ 排出状況	燃料等	117	115	72	
							上下水道	2	2	2		
							有無					
							達成状況					
							対策の実施状況	詳細	詳細	詳細		

地球温暖化対策の実施状況

対策番号	対策名	対策番号	対策名
A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A405	ビル全体の推進体制の整備
B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
C303	フロア共用部の温度の把握・設定	C117	便室ヒーター等温度の季節別設定
		C120	外灯等の点灯時間の季節別管理

図 2-5 地球温暖化対策報告書制度の公表画面の利用

(3) ベンチマークを活用する際の留意点

ベンチマークを活用する際の留意点について、4. ベンチマークを活用する際の留意点にて解説していますのでご覧ください。

3. ベンチマーク（業種）区分について

報告書を提出した自分の事業所がどのベンチマーク区分に該当（属）しているかについては、次表の「表 3-〇 ベンチマーク区分と日本標準産業分類等との対比表」で確認してください。

ベンチマークの業種区分が、産業分類情報だけでなく、その他の情報も加味して設定している場合には、設定方法についても解説していますので、自分の事業所の属性を確認する際の参考としてください。

3-1 オフィス（テナント専有部）

この区分では、オフィス（テナント専有部）のベンチマーク区分を設定しています。テナントビル自体のベンチマーク区分は 3-3 で説明していますが、ここでは、テナントビルの共用部は含まれず、テナント専有部の CO₂ 排出量についてのベンチマーク区分となっています。

テナント専有部か否かについては、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その 2 の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「他社所有」、報告範囲が「建物の一部（テナント）」である事業所をテナント専有部として抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途※が「事務所」である事業所をオフィス（テナント専有部）とし、ベンチマークの区分を設定しています。なお、産業分類情報により、公共機関に該当する産業分類番号を除外しています。

※ 主たる用途とは、「報告範囲における延床面積の 50% 以上を占める用途」としています。

その 2 (表)

地球温暖化対策報告書 ()

1 事業所等の概要									
事業所等の名称									
事業所番号									
事業所等の所在地									
事業所等の延床面積									
事業所等の実績年次									
所 有 形 態									
報告 範 囲									
報告範囲の主たる用途									
日本標準産業分類									
前年度の報告									

☒ 他社所有
☒ 建物の一部（テナント）
 ↓
 まず、テナント（専有部）を抽出

☒ 事務所
☒ 産業分類
 ↓
 オフィス相当を抽出
 公共機関を除外

図 3-1 オフィス（テナント専有部）の抽出条件

表 3-1 ベンチマーク区分（オフィス（テナント専有部））と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
1	オフィス (テナント専有部)	全ての産業分類 ただし、6911 貸事務所業及び下記の公共機関等を除く 96 外国公務 97 国家公務 98 地方公務		・他社所有 ・一部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-2 オフィス（自社ビル）

この区分では、オフィス（自社ビル）のベンチマーク区分を設定しています。自社ビルか否かは、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その2の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物全部」である事業所を自社ビルとして抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途が「事務所」である事業所をオフィス（自社ビル）とし、公共機関に該当する産業分類番号を除外してベンチマークの区分を設定しています。

地球温暖化対策

1 事業所等の概要

事業所等の名称			
事業所番号			
事業所等の所在地	〒		-
事業所等の延床面積	m ²	事業所等使用期間	☐ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有	☐ 他社所有	
報告範囲	☒ 建物の全部	☐ 建物の一部(テナント)	☐ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所	☐ 商業施設(物販)	☐ 商業施設(飲食)
	☐ 工場	☐ 複合施設	☐ その他
日本標準産業分類における細分類番号		ベンチマーク区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☐ 非該当
前年度の報告からの変更	☒ 事務所 ☒ 産業分類	オフィス相当を抽出 公共機関を除外	

☒ 自己所有
☒ 建物全部
 ↓
 まず、自社ビルを抽出
 ↓
 オフィス相当を抽出
 公共機関を除外

図 3-2 オフィス（自社ビル）の抽出条件

表 3-2 ベンチマーク区分（オフィス（自社ビル））と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
2	オフィス (自社ビル)	全ての産業分類 ただし、6911 貸事務所業及び下記の公共機関等を除く 96 外国公務 97 国家公務 98 地方公務		・自己所有 ・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-3 テナントビル（オフィス系）

この区分では、テナントビル（オフィス系）のベンチマーク区分を設定しています。3-1 オフィス（テナント専有部）とは逆に、ここでは、ビルの共用部も含めたビル全体のCO₂排出量についてのベンチマーク区分となっています。

テナントビルか否かについては、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その2の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物の全部」である事業所をビル（1棟分）として抽出し、そこから、産業分類の中分類番号 69 不動産賃貸業・管理業の中の細分類番号 11 貸事務所業により、テナントビルのベンチマークの区分を設定しています。

また、テナントビルにおいては、その用途によりCO₂排出量が大きく異なってくることからオフィス系と商業複合系に区分しています。

テナントビル（オフィス系）では、報告範囲の主たる用途が、「事務所」である事業所をテナントビル（オフィス系）としており、延床面積の規模により3つの区分を設定しています。排出原単位の平均値は、規模により大きな違いはありませんが、排出原単位の分布に違いがあることから規模別に設定しました。

なお、1,000m²未満については、排出原単位が、オフィス以外の用途の影響を受ける傾向が強くなり、データのばらつきが大きくなるため、ベンチマークを作成していません。また、20,000 m²以上のベンチマークについては、年間エネルギー使用量が1,500kL以上の大規模事業所の割合が多くなり、地球温暖化対策報告書制度の対象（1,500kL 未満）が少なくなるため、ベンチマークは作成していません。

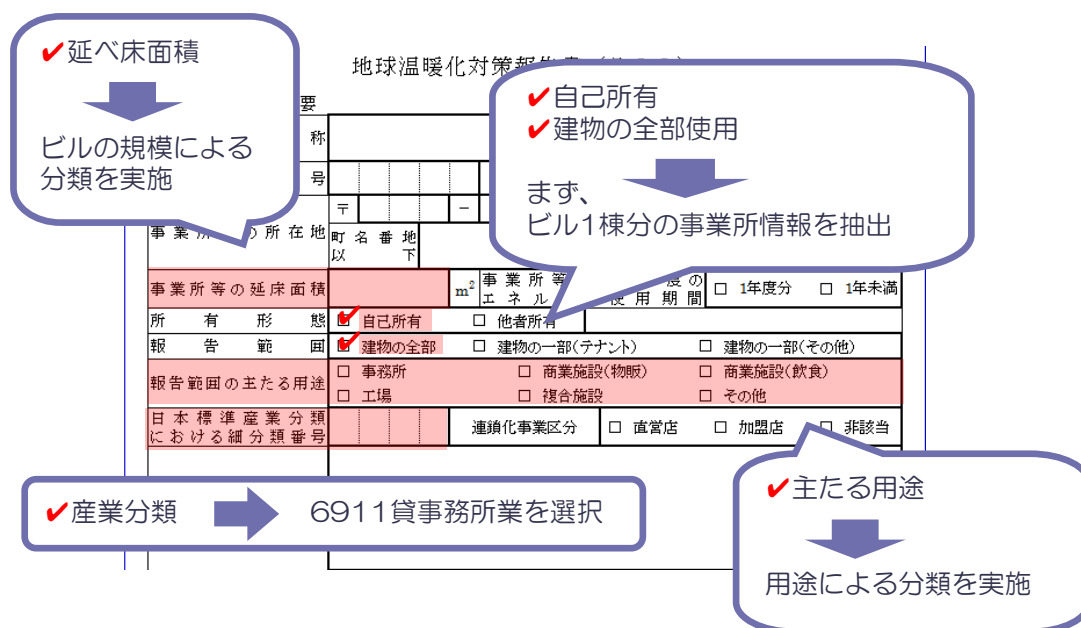


図 3-3 テナントビルの抽出条件

表 3-3 ベンチマーク区分：テナントビル（オフィス系）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分		産業分類による抽出対象業種			抽出条件
	細区分		中分類		細分類	
3	テナントビル （オフィス系）	小規模 （1,000 m ² 以上、 3,000 m ² 未満）	69	不動産賃貸業 ・管理業	11 貸事務所業	・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/10～10 倍
		中規模 （3,000 m ² 以上、 10,000 m ² 未満）				・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍
		準大規模 （10,000 m ² 以上、 20,000 未満 m ² ）				

3-4 テナントビル（商業複合系）

この区分では、テナントビル（商業複合系）のベンチマーク区分を設定しています。テナントビルの抽出方法は、3-3 テナント（オフィス系）と同じで、報告範囲の主たる用途が、商業施設（物販）、商業施設（飲食）、複合施設となる事業所にて設定しています。また、3-3 同様に、延べ床面積の規模により排出原単位の平均値に違いがあることから3つの区分を設定しています。

なお、1,000 m²未満については、データのばらつきが大きくなるため、ベンチマークを作成していません。20,000 m²以上については、3-3 テナントビル（オフィス系）と同様の理由で作成していません。

表 3-4 ベンチマーク区分：テナントビル（商業複合系）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分		産業分類による抽出対象業種			抽出条件
	細区分		中分類		細分類	
4	テナントビル （商業複合系）	小規模 （1,000 m ² 以上、 3,000 m ² 未満）	69	不動産賃貸業 ・管理業	11 貸事務所業	・全部使用 ・物販、飲食、複合 ・平均原単位の 1/10～10 倍
		中規模 （3,000 m ² 以上、 10,000 m ² 未満）				・全部使用 ・物販、飲食、複合 ・平均原単位の 1/5～5 倍
		準大規模 （10,000 m ² 以上、 20,000 未満 m ² ）				

3-5 物販店（コンビニ）

この区分では、物販店（コンビニ）のベンチマーク区分を設定しています。コンビニは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 58 その他の飲食料品小売業の中の細分類番号 91 コンビニの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-5 ベンチマーク区分：物販店（コンビニ）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
5	物販店 （コンビニ）	58	その他の飲食料 品小売業	91 コンビニエンスストア （飲食料品を中心とする ものに限る）	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-6 物販店（ドラッグストア）

この区分では、物販店（ドラッグストア）のベンチマーク区分を設定しています。ドラッグストアは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 60 その他の小売業の中の細分類番号 31 ドラッグストアの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-6 ベンチマーク区分：物販店（ドラッグストア）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
6	物販店 （ドラッグストア）	60	その他の小売業	31 ドラッグストア	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-7 物販店（総合スーパー・百貨店）

この区分では、物販店（総合スーパー・百貨店）のベンチマーク区分を設定しています。総合スーパー・百貨店は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 56 各種商品小売業の中の細分類番号 11 百貨店、総合スーパーの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-7 ベンチマーク区分：物販店（総合スーパー・百貨店）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
7	物販店 （総合スーパー・百貨店）	56	各種商品小売業	11 百貨店、総合スーパー	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-8 物販店（生鮮食品等）

この区分では、物販店（生鮮食品等）のベンチマーク区分を設定しています。生鮮食品の小売業は、小売店舗において生鮮食料品等を取り扱うために、冷蔵設備等を設置している店舗を想定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 58 飲食料品小売業の中から、表 3-8 に示す産業分類細分類番号の業種により、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-8 ベンチマーク区分：物販店（生鮮食品等）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
8	物販店 (生鮮食品等)	58	飲食料品小売業	11 各種食料品小売業	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍
				21 野菜小売業	
				22 果物小売業	
				31 食肉小売業	
				32 卵・鶏肉小売業	
				41 鮮魚小売業	
				51 酒小売業	
				62 菓子小売業	
				92 牛乳小売業	
				93 飲料小売業	
				97 豆腐・かまぼこ等加工食品小売業	

3-9 物販店（食料品の製造小売）

この区分では、物販店（食料品の製造小売）のベンチマーク区分を設定しています。食料品の製造小売業は、小売店舗において食品等を製造販売する店舗を想定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 58 飲食料品小売業の中の細分類番号 61 菓子小売（製造小売）、63 パン小売（製造小売）、95 料理品小売業と中分類番号 77 持ち帰り・配達飲食サービスからベンチマークの区分を設定しています。

表 3-9 ベンチマーク区分：物販店（食料品の製造小売）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
9	物販店 (食料品の製造小売)	58	飲食料品小売業	61 菓子小売（製造小売）	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍
				63 パン小売（製造小売）	
				95 料理品小売業	
		77	持ち帰り・配達飲食サービス		

3-10 物販店（服飾品）

この区分では、物販店（服飾品）のベンチマーク区分を設定しています。服飾品の小売

業は、小売店舗において商品陳列に際し、特別な設備を必要としない店舗を想定しています。具体的には産業分類の中分類番号 57 織物・衣服・身の回品小売業に属する全ての業種によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-10 ベンチマーク区分：物販店（服飾品）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
10	物販店 (服飾品)	57	織物・衣服・身の回品 小売業			・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-11 物販店（自動車（新車）小売）

この区分では、物販店（自動車（新車）小売）のベンチマーク区分を設定しています。自動車（新車）の小売業は、いわゆる新車ディーラー（自動車小売店）を想定しています。具体的には産業分類の中分類番号 59 機械器具小売業の中の細分類番号 11 自動車（新車）小売業によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-11 ベンチマーク区分：物販店（自動車（新車）小売）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
11	物販店 (自動車(新車)小売)	59	機械器具小売業	11	自動車（新車）小売業	・物販 ・複合施設 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-12 飲食店（食堂・レストラン）

この区分では、飲食店（食堂・レストラン）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、ファミリーレストラン等ですが、食堂・レストランは、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 11 食堂・レストランのみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-12 ベンチマーク区分：飲食店（食堂・レストラン）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
12	飲食店 (食堂・レストラン)	76	飲食店	11	食堂・レストラン	・飲食 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-13 飲食店（居酒屋・バー）

この区分では、飲食店（居酒屋・バー）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類番号の76 飲食店の中の細分類番号51 酒場・ビヤホールを中心にベンチマーク区分を設定していますが、集計した報告書の中には、事業所としての形態がほとんど同じである細分類番号61 バー、キャバレー、ナイトクラブのデータも数件あったことから、この2つの細分類番号でベンチマーク区分を設定しています。

表 3-13 ベンチマーク区分：飲食店（居酒屋・バー）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
13	飲食店 (居酒屋・バー)	76 飲食店	51 酒場・ビヤホール 61 バー、キャバレー、ナイト クラブ	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-14 飲食店（ハンバーガー）

この区分では、飲食店（ハンバーガー）のベンチマーク区分を設定しています。ハンバーガー店は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号76 飲食店の中の細分類番号91 ハンバーガー店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-14 ベンチマーク区分：飲食店（ハンバーガー）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
14	飲食店 (ハンバーガー)	76 飲食店	91 ハンバーガー店	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-15 飲食店（喫茶）

この区分では、飲食店（喫茶）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、カフェやコーヒーショップ等ですが、喫茶店は、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号76 飲食店の中の細分類番号71 喫茶店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-15 ベンチマーク区分：飲食店（喫茶）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
15	飲食店 (喫茶)	76 飲食店	71 喫茶店	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-16 飲食店（焼肉）

この区分では、飲食店（焼肉店）のベンチマーク区分を設定しています。焼肉店は、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 26 焼肉店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-16 ベンチマーク区分：飲食店（焼肉）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
16	飲食店（焼肉）	76 飲食店	26 焼肉店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍

3-17 飲食店（中華料理・ラーメン）

この区分では、飲食店（中華料理店・ラーメン）のベンチマーク区分を設定しています。中華料理店及びラーメン店は、産業分類の細分類により、それぞれ区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 23 中華料理店と 24 ラーメン店で、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-17 ベンチマーク区分：飲食店（中華料理・ラーメン）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
17	飲食店（中華料理・ラーメン）	76 飲食店	23 中華料理店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍
			24 ラーメン店	

3-18 飲食店（その他）

この区分では、飲食店の区分 3-12～17 以外の、飲食店（その他）の区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 21、22、29、31、41、92、99 でベンチマークの区分を構成しています。

表 3-18 ベンチマーク区分：飲食店（その他）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
18	飲食店（その他）	76 飲食店	21 日本料理店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍
			22 料亭	
			29 その他の専門料理店	
			31 そば・うどん店	
			41 すし店	
			92 お好み焼・焼きそば・たこ焼店	
			99 他に分類されないその他の飲食店	

3-19 旅館・ホテル

この区分では、旅館・ホテルのベンチマーク区分を設定しています。旅館・ホテルは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 75 宿泊業の中の細分類番号 11 旅館・ホテルのみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-19 ベンチマーク区分：旅館・ホテルと日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
19	旅館・ホテル	75	宿泊業	11	旅館・ホテル	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-20 学校・教育施設

この区分では、学校・教育施設のベンチマーク区分を設定しています。いわゆる学校やそれに類する施設を想定していますので、具体的には、産業分類の中分類番号 81 学校教育に属する全ての業種によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-20 ベンチマーク区分：学校・教育施設と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
20	学校・教育施設	81	学校教育			・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-21 病院・診療所

この区分では、病院・診療所のベンチマーク区分を設定しています。いわゆる病院・診療所を想定していますので、産業分類の中分類番号 83 医療業の中の細分類番号 41 助産所、42 看護業、61 歯科技巧所 69 その他の医療に附帯するサービス業を除いた、次の表 3-21 に示す産業分類細分類番号によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-21 ベンチマーク区分：病院・診療所と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種					抽出条件
		中分類		細分類			
21	病院・診療所	83	医療業	11	一般病院		・その他 ・平均原単 位の 1/5 ～5 倍
				12	精神科病院		
				21	有床診療所		
				22	無床診療所		
				31	歯科診療所		
				51	あん摩・はり師・きゅう師・柔道整復師		
				59	その他の療術業		

3-22 保育所

この区分では、社会保険施設の中の保育所の区分を設定しています。保育所は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 85 社会保険・社会福祉・介護業の中の細分類番号 31 保育所のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-22 ベンチマーク区分：保育所と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
22	保育所	85 社会保険・社会福祉・介護事業	31 保育所	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-23 保健・介護施設

この区分では、保育所を除く、保健・介護施設のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類 85 社会保健・社会福祉・介護事業の中から細分類番号 31 保育所を除く、次の表 3-23 に示す産業分類細分類番号によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-23 ベンチマーク区分：保健・介護施設と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
23	保健・介護施設	85 社会保険・社会福祉・介護事業	39 その他の児童福祉事業	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍
			41 特別養護老人ホーム	
			42 介護老人保健施設	
			43 通所・短期入所介護事業	
			45 認知症老人グループホーム	
			46 有料老人ホーム	
			49 その他の老人福祉・介護事業	
			51 居住支援事業	
			59 その他の障害者福祉事業	
			91 更生保護事業	

3-24 フィットネス施設

この区分では、フィットネス施設のベンチマーク区分を設定しています。フィットネス施設は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 48 フィットネスクラブのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-24 ベンチマーク区分：フィットネス施設と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
24	フィットネス施設	80 娯楽業	48 フィットネスクラブ	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-25 パチンコ店舗

この区分では、パチンコ店舗のベンチマーク区分を設定しています。パチンコ店舗は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 64 パチンコホールのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-25 ベンチマーク区分：パチンコ店舗と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
25	パチンコ店舗	80	娯楽業	64	パチンコホール	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-26 カラオケボックス店舗

この区分では、カラオケボックス店舗のベンチマーク区分を設定しています。カラオケボックス業は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 95 カラオケボックス業のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-26 ベンチマーク区分：カラオケボックス店舗と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
26	カラオケボックス店舗	80	娯楽業	95	カラオケボックス業	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-27 ゲームセンター

この区分では、ゲームセンターのベンチマーク区分を設定しています。ゲームセンターは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 65 ゲームセンターのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-27 ベンチマーク区分：ゲームセンターと日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
27	ゲームセンター	80	娯楽業	65	ゲームセンター	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-28 図書館

この区分では、図書館のベンチマーク区分を設定しています。図書館は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 82 その他の教育、学習支援業の中の細分類番号 12 図書館のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-28 ベンチマーク区分：図書館と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
28	図書館	82	その他の教育、学習 支援業	12	図書館	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-29 博物館・美術館

この区分では、博物館・美術館のベンチマーク区分を設定しています。博物館・美術館は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 82 その他の教育、学習支援業の中の細分類番号 13 博物館、美術館のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-29 ベンチマーク区分：博物館・美術館と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
29	博物館・美術館	82	その他の教育、学習 支援業	13	博物館、美術館	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-30 区市町村庁舎等

この区分では、区市町村庁舎等のベンチマーク区分を設定しています。公共機関としては、産業分類の中分類番号 96 外国公務、97 国家公務、98 地方公務とありますが、ここでは 98 地方公務の中の細分類番号 21 市町村機関のみでベンチマークの区分を設定しています。また、区役所や市役所などを想定しているため、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物の全部」である事業所を抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途が「事務所」である事業所を、区市町村庁舎等としています。

表 3-30 ベンチマーク区分：区市町村庁舎等と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
30	区市町村庁舎等	98	地方公務	21	市町村機関	・ 自己所有 ・ 全部使用 ・ 事務所 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍

4. ベンチマークを活用する際の留意点

4-1 活用時の留意点

地球温暖化対策報告書のCO₂排出量の実績値を基に作成した本ベンチマークは、事業所の断熱性能、設備、機器のエネルギー効率、運用・保守管理状況が反映された省エネルギー指標といえます。

また、自分の事業所のCO₂排出量を延べ床面積で割って原単位化しているため、原則として、事業所の規模にとらわれずに、本ベンチマークと比較することで、同業種の事業所の中におけるCO₂の排出水準を把握することができるのです。

一方、事業所のCO₂排出量は、稼働時間の長短や設備の構成などによっても影響を受けるといえます。そのため、全体の中の排出水準だけでなく、個々の事業所のCO₂排出量を評価していく際には、こうした情報を自ら収集して、詳細な評価をしていくこともできます。

特にCO₂排出原単位の小さい（大きい）事業所については、省エネルギー以外の要因がどの程度影響しているか、必要に応じて、事業所の状況把握を行う必要があります。

省エネ以外でCO₂排出量に影響を与える事項

- | |
|--------|
| ① 稼働時間 |
| ② 設置設備 |
| ③ 室用途 |

以下に、ベンチマークを活用する際の留意事項を紹介します。

① 稼働状況に関する留意事項

例えば、ファミリーレストランの平均的な稼働時間（営業時間＋開閉店準備時間）は概ね15時間（業種別テキスト（外食産業）：東京都）となっています。ファミリーレストランの中には、24時間営業の店舗もありますので、こうした長時間営業店舗は当然CO₂排出量が多くなります。自らの事業所の稼働時間に関する情報を収集し、それを考慮してCO₂排出量を評価することもできます。

なお、夜間、深夜のエネルギー使用量は、昼間に比べて低くなる場合があるので、この点も考慮する必要があります。

② 設置設備に関する事項

例えば、フィットネスクラブなどでは、プール設備があるかないかでCO₂排出量は大きく違います。自らの事業所のこうした設備構成に関する情報を収集し、それを考慮してCO₂排出量を評価することもできます。

③ 室用途に関する事項

例えば、オフィスビルなどでは、サーバー室があるか、会議室や倉庫のスペースはどの程度あるのか等によってCO₂排出量は違ってきます。自らの事業所の室用途に関する情報を収集し、これらを考慮してCO₂排出量を評価することが大切です。

オフィス（事務室）より、CO₂排出原単位が高い用途の例

- ・ 電算室・サーバー室
- ・ データセンター

オフィス（事務室）より、CO₂排出原単位が低い用途の例

- ・ 駐車場
- ・ 会議室・打合せスペース
- ・ 書庫・倉庫

上記の様に、面積当たりのエネルギー使用量の大きい電算室や、エネルギー使用量の少ない駐車場、会議室等の状況によって、事業所の排出原単位が影響を受ける場合があります。

4-2 テナントビルにおける留意点

テナントビルのエネルギー使用量は60～70%はテナント専用部が占めており、テナントのエネルギーの使い方に影響を受けるといえます。また、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間（24 時間営業など）、飲食・物販といった入居テナントの種類によってもCO₂排出原単位は影響を受けます。このため、テナントビルのベンチマークを活用する際には、省エネ性能以外の要因の有無、あるいはその影響の程度を考慮することが必要となる場合があります。

以下では、テナントビルにおけるベンチマーク活用の留意点について説明します。

（１）テナントビルにおけるベンチマークが意味するもの

ベンチマーク作成の基となるデータは、都内の中小テナントビルのCO₂排出実績データです。排出実績には、省エネ効果のほかに、上記で説明したテナントビル特有の要因が働いており、ベンチマークは、こうした様々な要因が含まれた都内中小テナントビルの約2,500 件の排出実績データを統計処理し、CO₂排出原単位の平均値を求めて作成しています。

このため、テナントビルのベンチマークは、省エネ効果以外の要因として、例えば、「空室率等は集計対象の中小テナントビルの平均的な空室率が前提となっている。」と考えることができます。

したがって、ベンチマークと比較をしようとするテナントビルにおいて、例えば、空室率が非常に高いなど、ベンチマークが前提とする平均像から大きく乖離した要因がある場合は、その影響を考慮して、ベンチマークとの比較を行うことができます。逆に、平均像と大きな乖離がない場合は、そのままベンチマークで評価することができます。(2)～(4)では、空室率や稼働時間等を例に、その影響の把握方法の例を紹介します。

(2) 空室率の影響

まず、大手不動産仲介事業者等が公表する空室率に関する調査資料等より、ベンチマークが作成された 2012 年度の空室率について確認をします。

この空室率を平均的なそれとし、評価をしようとするテナントビルの評価時点での空室率とに大きな乖離がある場合は、この点を考慮して考えることができます。

例えば、空室率が 15%程度大きい場合、数量的に排出原単位を補正するという方法もありますが、より簡易な方法としては、「空室率が平均より大きいのであれば、本来のベンチマークはもっと下のレンジにある、例えば A2 であれば A1 以下である可能性が高い。」と考える方法があります。

(3) 用途等の影響

電算室、飲食・物販といった入居テナントの用途・種類についても、平均的な中小テナントビルより、こうしたエネルギー使用割合（密度）の高い用途が相当程度多く入居していれば、その影響を考慮して評価することができます。

(4) 稼働時間の影響

例えば 24 時間営業のテナントが入居している場合、中小規模テナントビルの一般的な稼働時間を想定し、そこからの乖離の程度を考慮することができます。

参考として、都内中小クレジット算定ガイドラインにおける照明の年間点灯時間を 表 4-1 に示します。評価しようとするテナントビルに入居するテナントの稼働時間が、表に示す時間と大きく乖離する場合は、稼働時間の影響を考慮することができます。

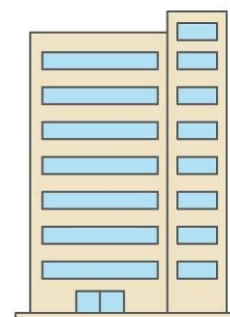
また、夜間・深夜のエネルギー負荷（使用量）は昼間に比べ低くなると考えられるため、こうした点も考慮して、24 時間営業のテナントが与える排出原単位への影響を判断することができます。

以上、いくつかの場合の影響の把握について説明しましたが、いずれの場合も、評価対象のテナントビルの CO₂ 排出原単位を補正することができます。しかし、より簡便な方法としては、現状のベンチマークレンジよりも下（あるいは上）となる可能性があるとして評価することも可能です。

<参考> 総量削減義務と排出量取引制度における都内中小クレジット算定ガイドラインより

表 4-1 年間点灯時間（単位 h／年）

室 名	年間点灯時間
エントランスホール、廊下	3,000
階段室（階段通路誘導灯と兼用）	8,760
階段室	3,000
便所、湯沸室	3,000
倉庫、設備室、更衣室	500
駐車場	3,000
事務室	3,000
会議室	1,500
電算室	500
レストラン・食堂客席	4,500
レストラン・食堂厨房	3,000
物販店舗	4,500
飲食店舗	4,500
ホテルロビー、客室廊下	8,760
ホテル客室、宴会場	3,000
教室	1,500
研究室	3,000
体育館	1,500
病室	3,000
診察室	1,500
物流倉庫	3,000
屋外	3,000



4-3 補正方法の紹介

事業所のCO₂排出水準を正確に把握しようとする、前述した稼働時間等の要因を考慮することになります。こうした要因の影響を取り除くために、CO₂排出量（実績値）について補正をするという考え方があります。

補正の方法には、得られる情報によって、様々な方法がありますが、一方で、補正をするためには、それに伴う情報の収集が不可欠となります。

参考に、店舗の規模にかかわらず、同様な能力の設備を設置している形態の店舗のベンチマーク区分について、CO₂排出原単位の散布図をお示しします。こうした店舗の散布図で近似曲線を引くと直線の傾きが大きくなります。これは、店舗の面積によらず、同様な能力の設備を設置しているため、店舗面積が小さくなるほどCO₂排出原単位が大きくなっているからで、傾きが急なほどその傾向が顕著な店舗（ベンチマーク）ということになります。ここでは、こうした店舗について、店舗の延床面積によりCO₂排出量の実績値を補正する方法の一つを紹介しますので、こうした店舗のCO₂排出量を評価する際の参考としてください。

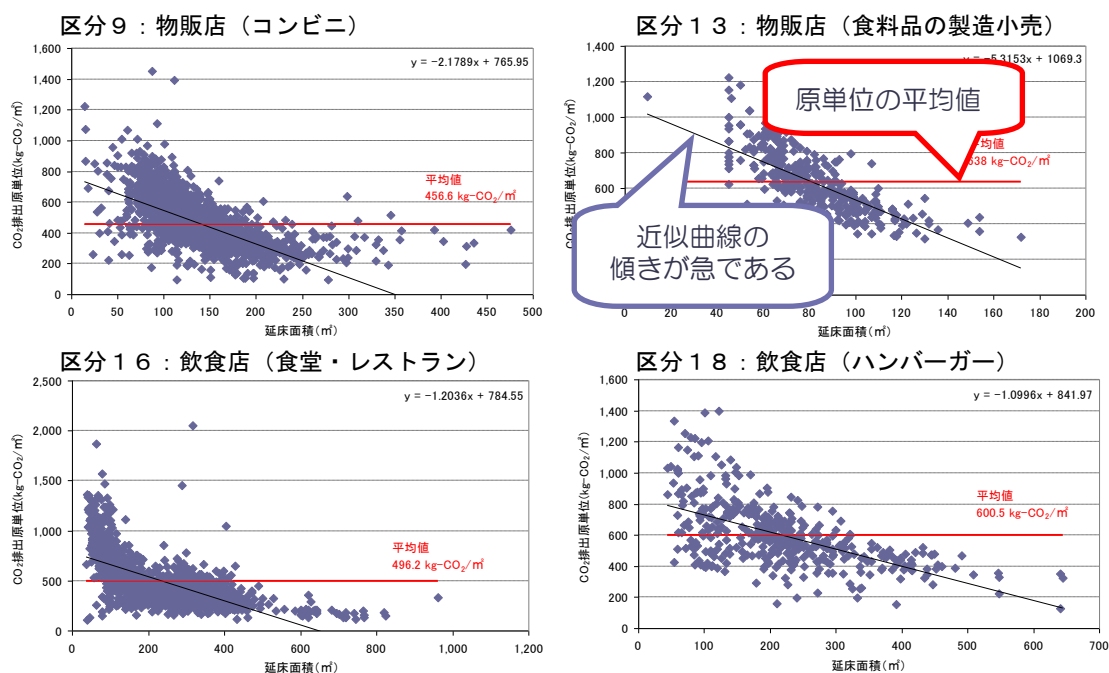
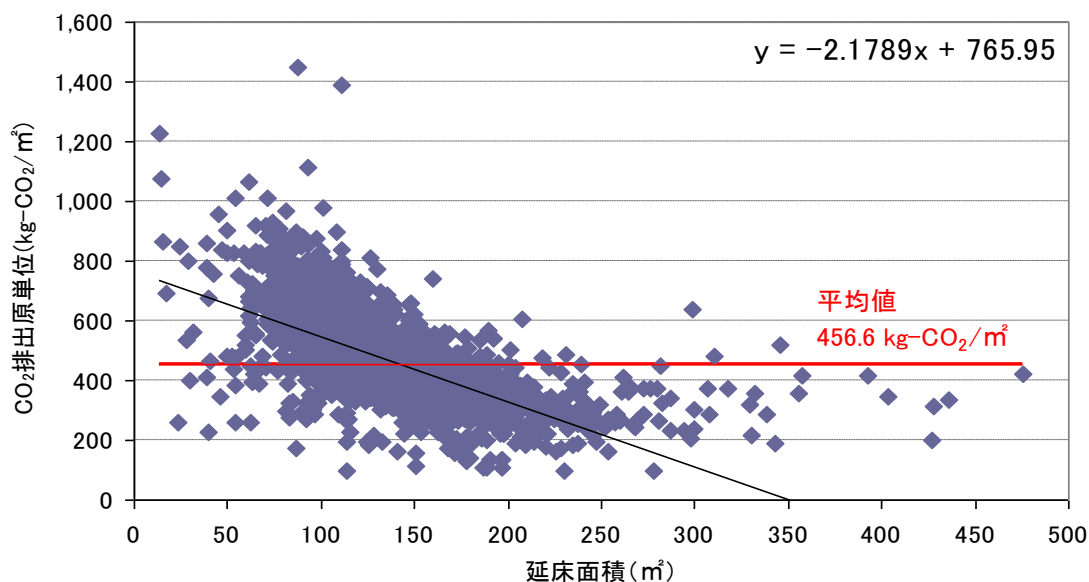


図 4-2 面積が小さくなるに従い排出量が多くなる業種区分の例（CO₂排出原単位による散布図）

4-4 物販店（コンビニ）等を例にした延べ床面積による補正方法の解説

ここでは、面積によるCO₂排出量の補正方法について、物販店（コンビニ）を例にして具体的に解説します。

物販店（コンビニ）のCO₂排出原単位の散布図及び近似式は以下のとおりです。



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -2.1789x + 765.95$

図 4-3 物販店（コンビニ）のCO₂排出原単位の散布図及び近似式

下図では、ベンチマークの散布図から作成した近似曲線を基に補正式を作成しています。この式は、事業所における近似曲線から補正したい想定排出原単位を求め、その想定値と平均値との比率分だけ実際の原単位（実績値）の補正を行うための補正式となっています。

$$\begin{array}{l}
 \text{補正後の} \\
 \text{排出量原単位} \\
 \text{(kg-CO}_2\text{/m}^2\text{)} \\
 \hline
 \frac{456.6^*}{(-2.1789 \times \text{当該事業所面積}) + 765.95} \times \text{当該事業所の} \\
 \text{実際のCO}_2\text{排出原単位} \\
 \text{(kg-CO}_2\text{/m}^2\text{)}
 \end{array}$$

※当該業種（物販店（コンビニ））の平均CO₂排出原単位

図 4-4 物販店（コンビニ）のベンチマークにおける補正式

①モデル事業所 A（延べ床面積の小さい店舗の計算例）

店舗面積が、ベンチマークによる物販店(コンビニ)の平均面積より約 2 割小さい 114 m²
CO₂排出実績に基づく原単位は 547.9kg-CO₂/m²

$$\frac{456.6 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2}{(-2.1789 \times 114 \text{ m}^2) + 765.95} \times 547.9 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2 = 483.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$$

⇒補正後は、483.4kg-CO₂/m²(B 2)となり、補正前の 547.9kg-CO₂/m²(B 1)から
区分が 2 段階良くなっている。

②モデル事業所 B

店舗面積が、ベンチマークによる物販店(コンビニ)の平均面積より約 2 割大きい 170 m²
CO₂排出実績に基づく原単位は 320.0kg-CO₂/m²

$$\frac{456.6 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2}{(-2.1789 \times 170 \text{ m}^2) + 765.95} \times 320.0 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2 = 369.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$$

⇒補正後は、369.4kg-CO₂/m²(A 2-)となり、補正前の 320.0kg-CO₂/m²(A 2+)から
区分が 2 段階悪くなっている。

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (m ²)
A4	0.55以下	251.2 以下	81	2.2%	201
A3 +	0.55超-0.60以下	251.2 超 274.0 以下	67	8.5%	193
A3	0.60超-0.65以下	274.0 超 296.8 以下	97		191
A3 -	0.65超-0.70以下	296.8 超 319.7 以下	146		188
A2 +	0.70超-0.75以下	319.7 超 342.5 以下	225	22.4%	178
A2	0.75超-0.80以下	342.5 超 365.3 以下	247		170
A2 -	0.80超-0.85以下	365.3 超 388.2 以下	344		163
A1 +	0.85超-0.90以下	388.2 超 411.0 以下	305	24.5%	151
A1	0.90超-0.95以下	411.0 超 433.8 以下	292		144
A1 -	0.95超-1.00以下	433.8 超 456.6 以下	295		137
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 456.6 超 479.5 以下	239	17.0%	132
B2	1.05超-1.10以下	479.5 超 502.3 以下	207		129
B2 -	1.10超-1.15以下	502.3 超 525.1 以下	175		122
B1	1.15超-1.50以下	525.1 超 684.9 以下	715	19.6%	109
C	1.50超	684.9 超	211	5.8%	87
合計			3646	平均	142

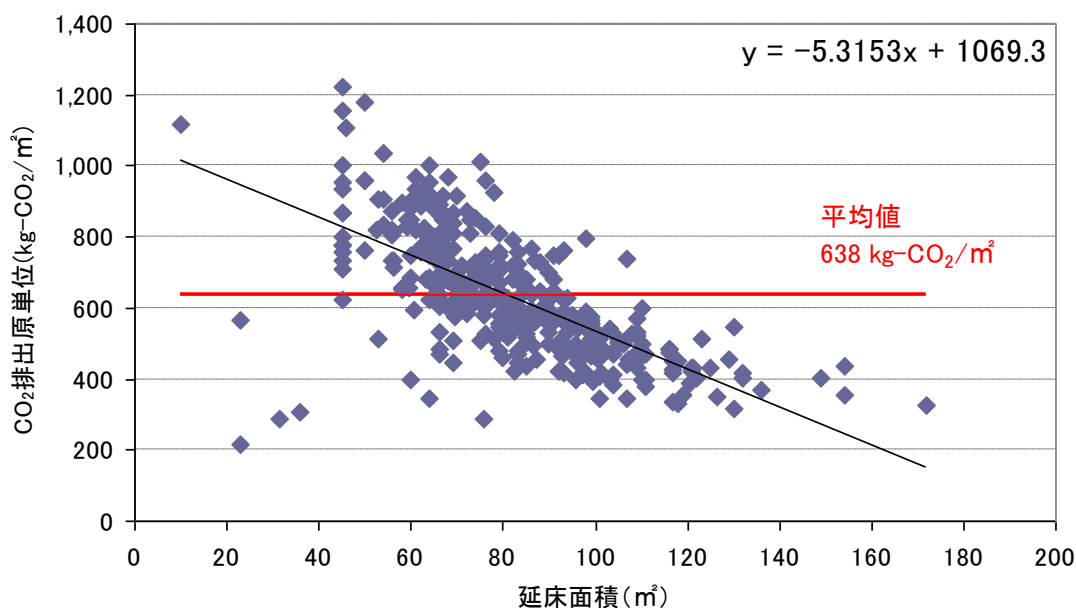
図 4-5 物販店（コンビニ）のベンチマーク（参考）

この試算例では補正後にベンチマークの区分がそれぞれ 2 段階移動しました。このように、補正する店舗が平均面積よりも小さい場合には、CO₂排出量を実績より少し小さく補正し、補正する店舗が平均面積よりも大きい場合には、CO₂排出量を実績より少し大きく補正することになります。

ここで示した方法は、補正方法の一つの例ですが、こうした方法により店舗の延床面積を用いてCO₂排出量（実績値）を補正することができます。

以下に、参考例として、補正する可能性のあるベンチマーク区分の散布図及び補正式を、物販店（食料品の製造小売）、飲食店（食堂・レストラン）、飲食店（ハンバーガー）の順に示します。

◆ 物販店（食料品の製造小売）



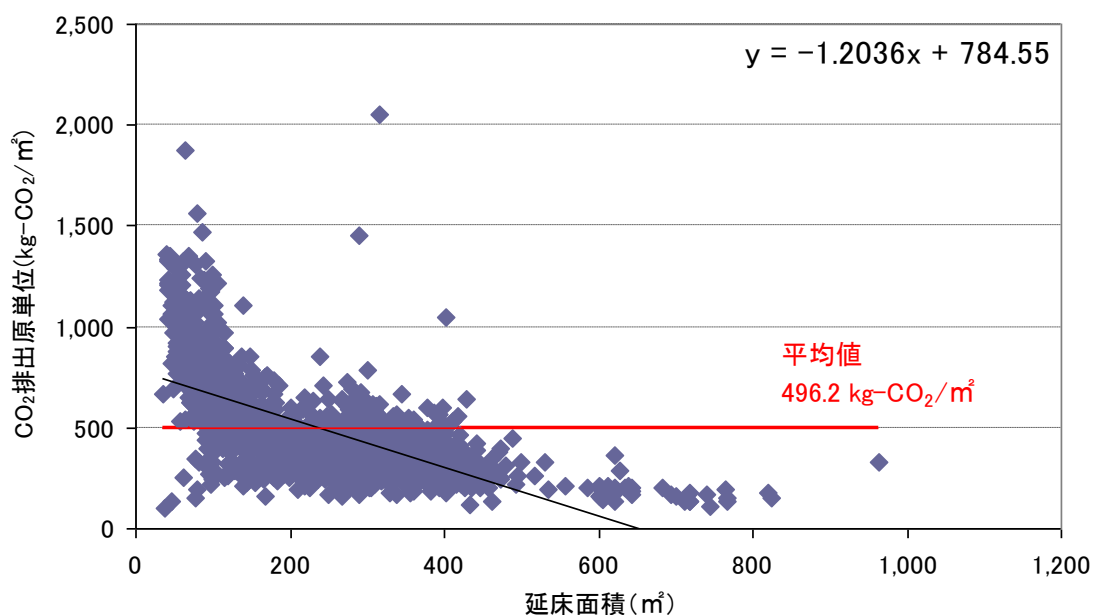
CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -5.3153x + 1069.3$



図 4-6 物販店（食料品の製造小売）の散布図及び補正式

◆ 飲食店（食堂・レストラン）



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -1.2306x + 784.55$

補正式

※当該業種の平均CO₂排出原単位

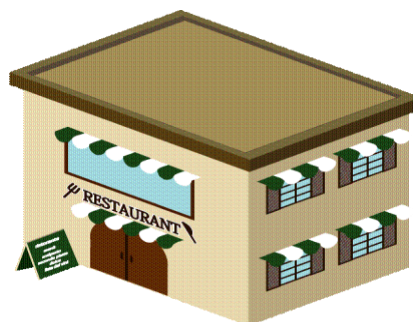
496.2*

$(-1.2306 \times \text{当該事業所面積}) + 784.55$

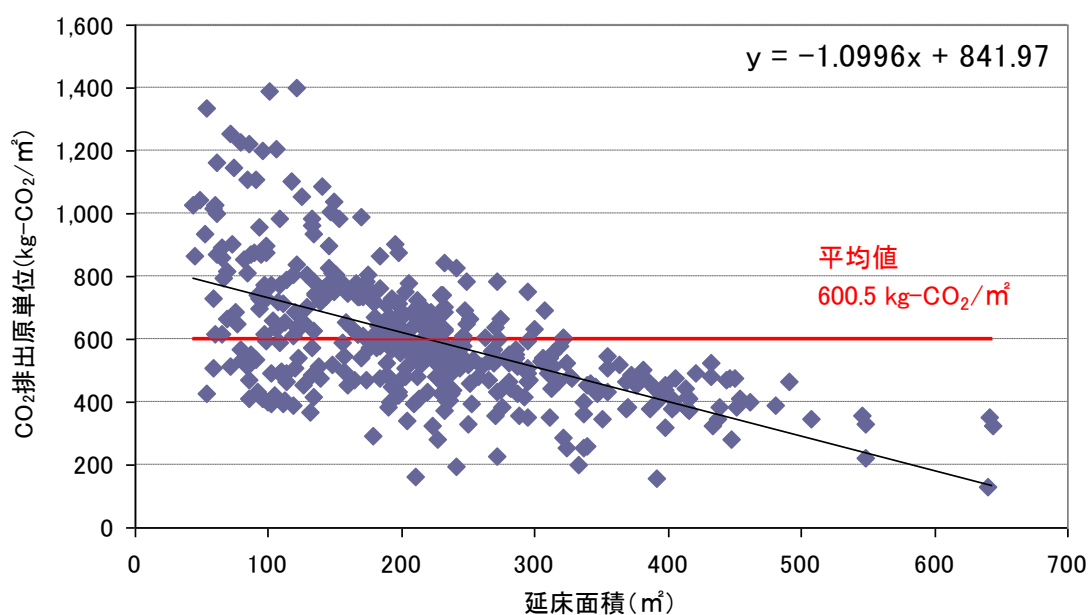
×

当該事業所の
実際のCO₂排出原単位
(kg-CO₂/m²)

図 4-7 飲食店（食堂・レストラン）の散布図及び補正式



◆ 飲食店（ハンバーガー）



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -1.0996x + 841.97$



図 4-8 飲食店（ハンバーガー）の散布図及び補正式

4-5 報告書の様式改正とベンチマーク改定について

都は、平成 24 年（2012 年）度に地球温暖化報告書の様式改正を行い事業所用途等の情報を報告内容に加え、また、平成 24 年（2012 年）度の実績によってベンチマークの改定を行いました。今後も、よりベンチマークを使いやすいものとしていくため、更なる検討を行ってまいります。

5. 業種区分ごとのベンチマーク

本章では、全30区分のベンチマークを示します(前章の「3. ベンチマーク(業種)区分について」でベンチマーク区分を確認してください)。

また、各ベンチマークの平均値を表5-1に示します。

表 5-1 各ベンチマークの平均値

区分 番号	ベンチマーク区分	平均原単位 kgCO ₂ /m ²	事業所数 (有効データ)	平均延床面積 m ²
1	オフィス(テナント専有部)	63.6	727	1,457.6
2	オフィス(自社ビル)	52.0	573	4,231.9
3	テナントビル(オフィス系、小規模)	61.9	517	1,966.3
	テナントビル(オフィス系、中規模)	59.7	763	5,616.3
	テナントビル(オフィス系、準大規模)	59.6	201	13,977.0
4	テナントビル(商業複合系、小規模)	165.5	135	1,783.4
	テナントビル(商業複合系、中規模)	138.8	119	5,671.7
	テナントビル(商業複合系、準大規模)	99.6	40	13,469.6
5	物販店(コンビニ)	456.6	3,646	141.9
6	物販店(ドラッグストア)	230.1	312	340.8
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	204.5	423	3,999.0
8	物販店(生鮮食品等)	303.2	694	1,772.4
9	物販店(食料品の製造小売)	638.0	355	81.1
10	物販店(服飾品)	98.0	168	958.1
11	物販店(自動車(新車)小売)	51.6	267	1,668.3
12	飲食店(食堂・レストラン)	496.2	1,569	239.5
13	飲食店(居酒屋・バー)	301.5	1,127	279.9
14	飲食店(ハンバーガー)	600.5	413	219.5
15	飲食店(喫茶)	324.8	394	139.4
16	飲食店(焼肉)	458.2	119	183.5
17	飲食店(中華料理・ラーメン)	876.4	183	106.4
18	飲食店(その他)	601.1	439	145.1
19	旅館・ホテル	103.8	158	4,311.1
20	学校・教育施設	19.9	1,781	7,338.4
21	病院・診療所	86.2	48	5,213.2
22	保育所	49.0	241	959.7
23	保健・介護施設	62.5	423	2,316.8
24	フィットネス施設	178.9	146	3,247.7
25	パチンコ店舗	224.9	89	1,068.1
26	カラオケボックス店舗	198.5	168	635.4
27	ゲームセンター	259.9	50	905.2
28	図書館	52.6	149	1,981.4
29	博物館・美術館	56.7	63	2,758.4
30	区市町村庁舎等	44.5	62	7,778.2

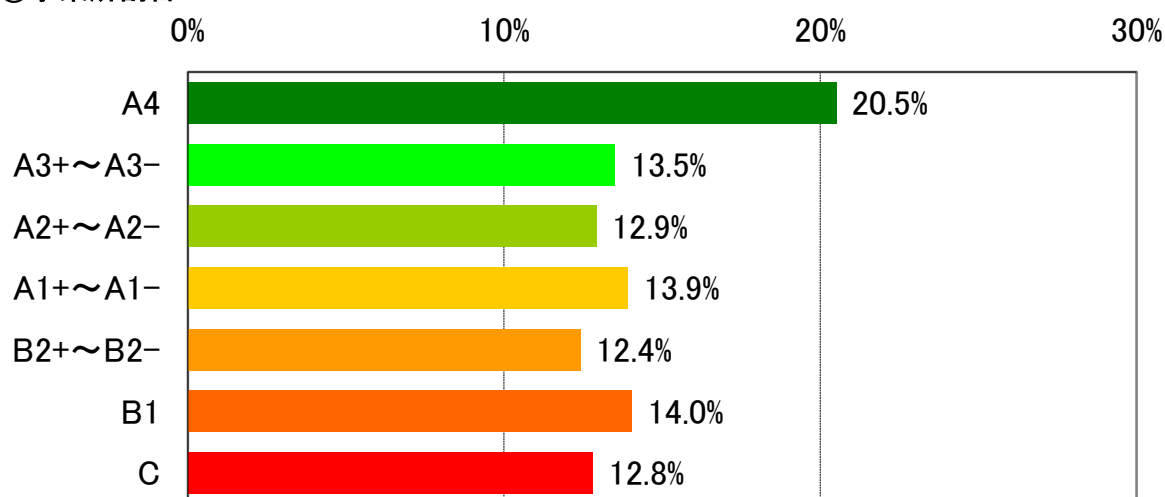
区分番号:1

オフィス(テナント専有部)

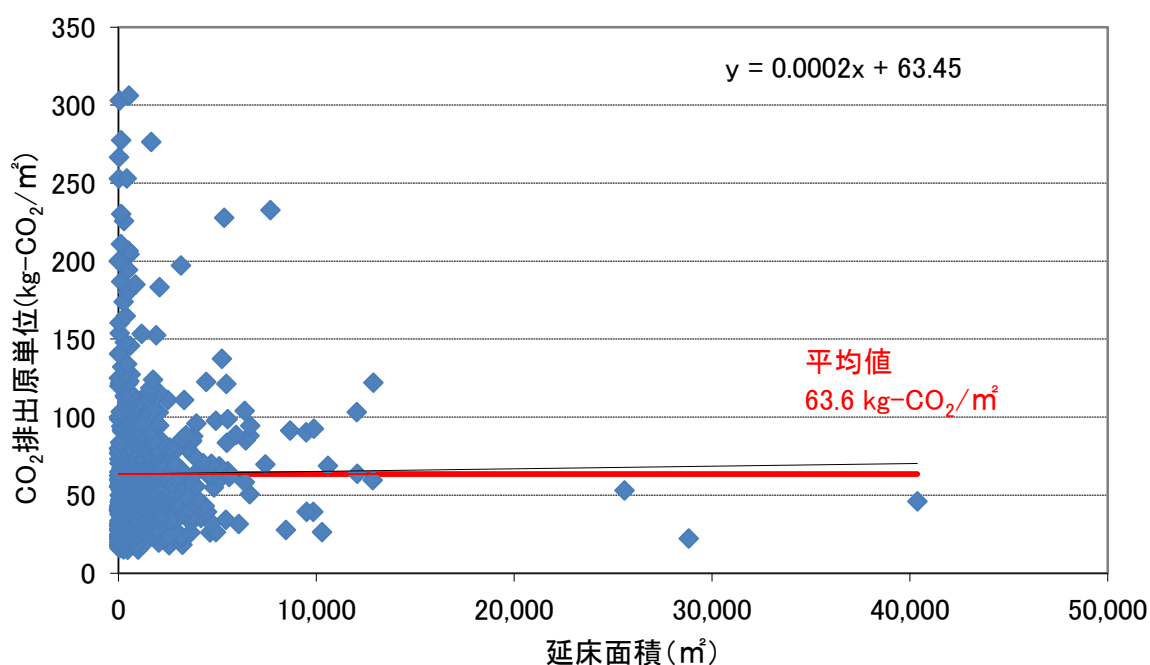
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	35.0 以下	149	20.5%	1178
A3 +	0.55超-0.60以下	35.0 超 38.2 以下	28	13.5%	1323
A3	0.60超-0.65以下	38.2 超 41.4 以下	30		1585
A3 -	0.65超-0.70以下	41.4 超 44.6 以下	40		932
A2 +	0.70超-0.75以下	44.6 超 47.7 以下	32	12.9%	2373
A2	0.75超-0.80以下	47.7 超 50.9 以下	30		1159
A2 -	0.80超-0.85以下	50.9 超 54.1 以下	32		1775
A1 +	0.85超-0.90以下	54.1 超 57.3 以下	35	13.9%	1085
A1	0.90超-0.95以下	57.3 超 60.5 以下	36		1661
A1 -	0.95超-1.00以下	60.5 超 平均値 63.6 以下	30		1638
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 63.6 超 66.8 以下	35	12.4%	1613
B2	1.05超-1.10以下	66.8 超 70.0 以下	25		2539
B2 -	1.10超-1.15以下	70.0 超 73.2 以下	30		988
B1	1.15超-1.50以下	73.2 超 95.4 以下	102	14.0%	1632
C	1.50超	95.4 超	93	12.8%	1418
合計			727	平均	1458

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



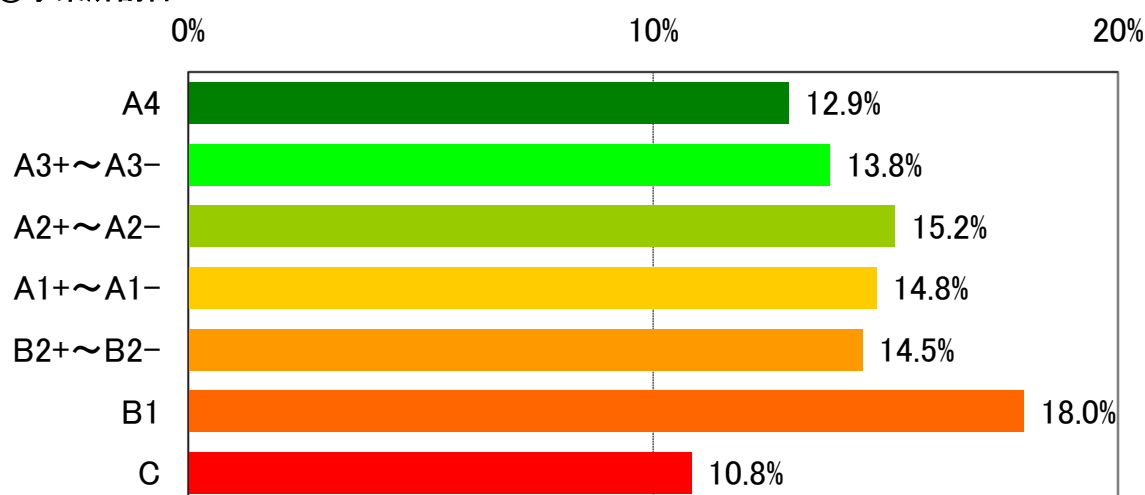
区分番号:2

オフィス(自社ビル)

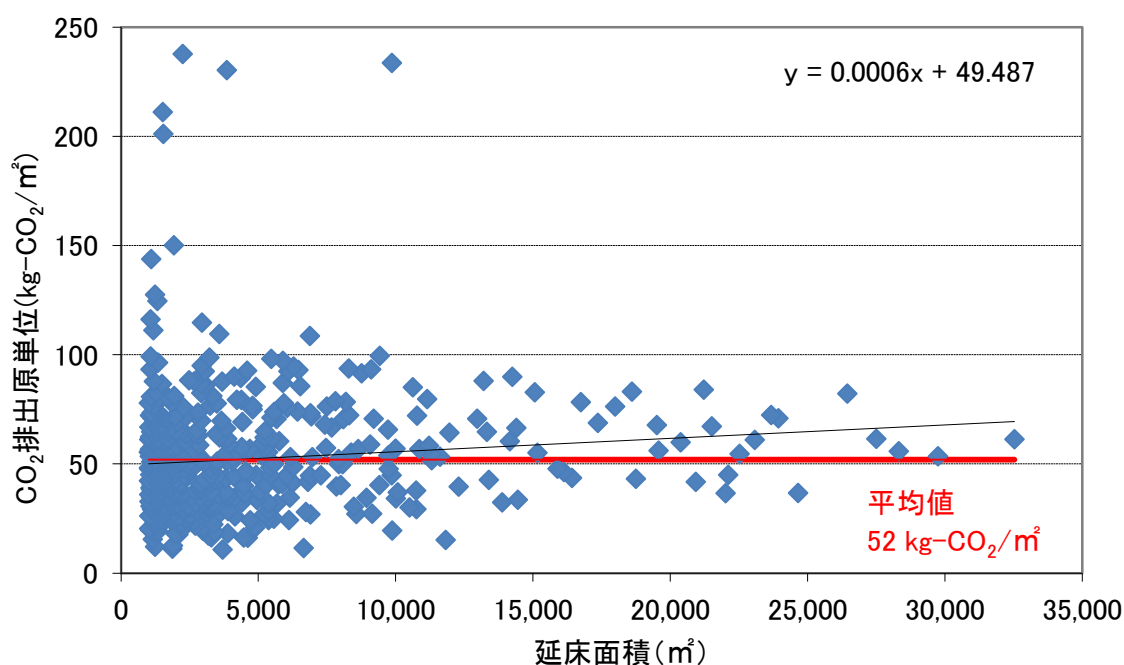
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	28.6 以下	74	12.9%	3153
A3 +	0.55超-0.60以下	28.6 超 31.2 以下	31	5.4%	2820
A3	0.60超-0.65以下	31.2 超 33.8 以下	23		3544
A3 -	0.65超-0.70以下	33.8 超 36.4 以下	25		3143
A2 +	0.70超-0.75以下	36.4 超 39.0 以下	31	5.4%	4041
A2	0.75超-0.80以下	39.0 超 41.6 以下	32		3231
A2 -	0.80超-0.85以下	41.6 超 44.2 以下	24		4973
A1 +	0.85超-0.90以下	44.2 超 46.8 以下	28	4.9%	4326
A1	0.90超-0.95以下	46.8 超 49.4 以下	28		2861
A1 -	0.95超-1.00以下	49.4 超 52.0 以下	29		2992
B2 +	1.00超-1.05以下	52.0 超 54.6 以下	32	5.6%	5188
B2	1.05超-1.10以下	54.6 超 57.2 以下	34		4689
B2 -	1.10超-1.15以下	57.2 超 59.8 以下	17		3767
B1	1.15超-1.50以下	59.8 超 78.0 以下	103	18.0%	5499
C	1.50超	78.0 超	62	10.8%	5681
合計			573	平均	4232

②事業所割合



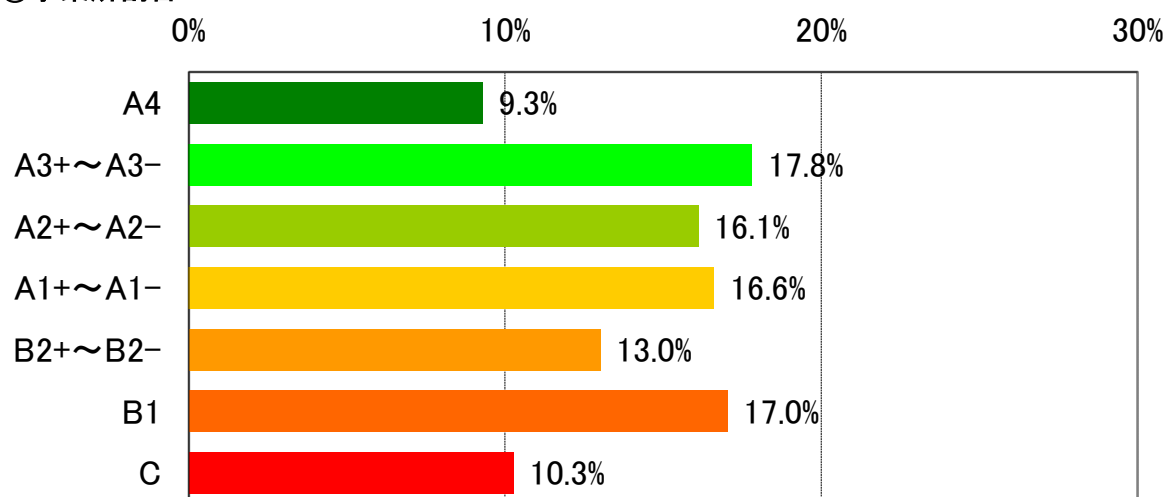
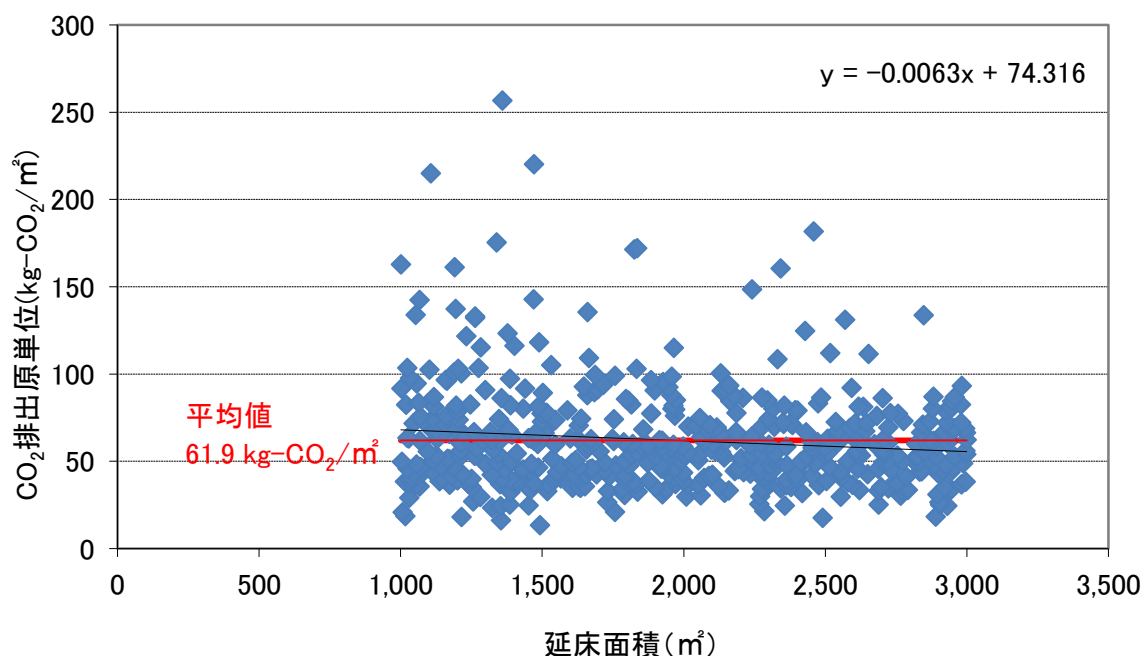
③CO₂排出原単位の散布図



①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	34.1 以下	48	9.3%	2029
A3 +	0.55超-0.60以下	34.1 超 37.2 以下	30	17.8%	1902
A3	0.60超-0.65以下	37.2 超 40.3 以下	26		1765
A3 -	0.65超-0.70以下	40.3 超 43.4 以下	36		1891
A2 +	0.70超-0.75以下	43.4 超 46.5 以下	33	16.1%	2040
A2	0.75超-0.80以下	46.5 超 49.6 以下	27		2001
A2 -	0.80超-0.85以下	49.6 超 52.7 以下	23		2157
A1 +	0.85超-0.90以下	52.7 超 55.8 以下	33	16.6%	2097
A1	0.90超-0.95以下	55.8 超 58.9 以下	23		2070
A1 -	0.95超-1.00以下	58.9 超 平均値 61.9 以下	30		2117
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 61.9 超 65.0 以下	25	13.0%	1933
B2	1.05超-1.10以下	65.0 超 68.1 以下	25		1989
B2 -	1.10超-1.15以下	68.1 超 71.2 以下	17		2214
B1	1.15超-1.50以下	71.2 超 92.9 以下	88	17.0%	1977
C	1.50超	92.9 超	53	10.3%	1647
合計			517	平均	1966

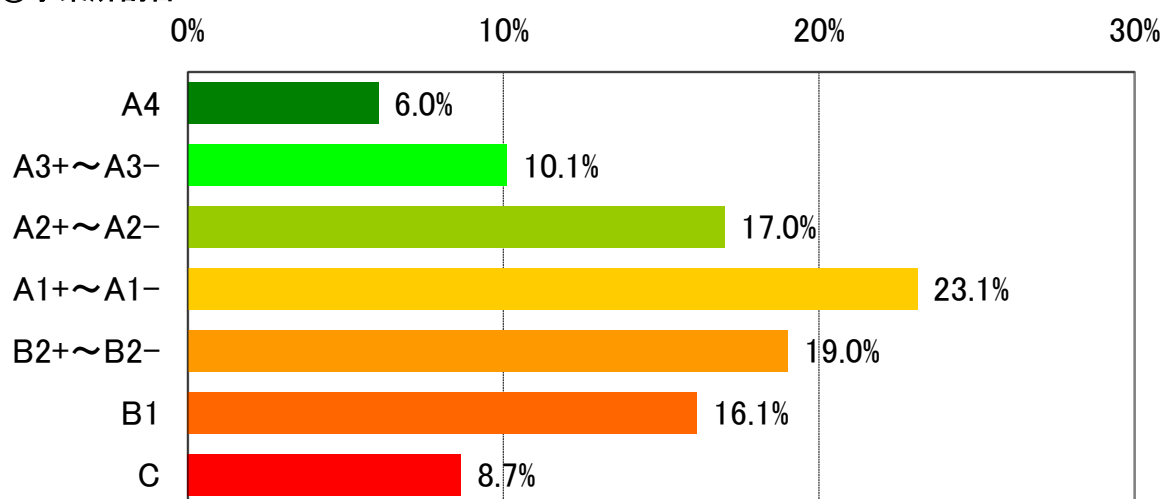
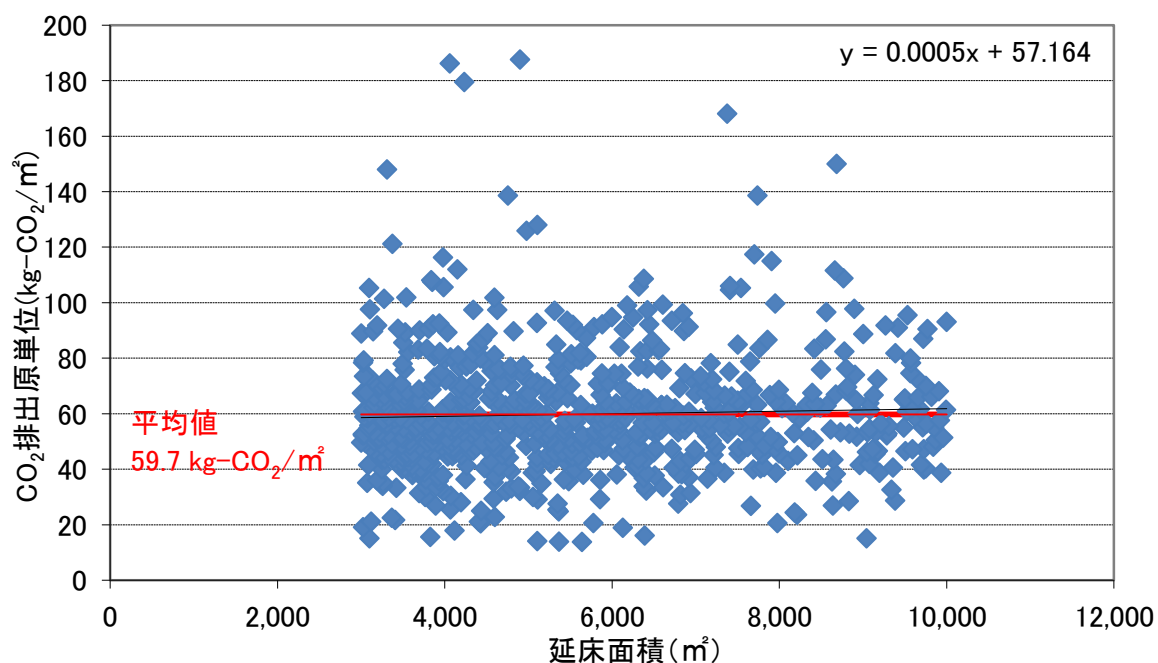
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	32.9 以下	46	6.0%	5530
A3 +	0.55超-0.60以下	32.9 超 35.9 以下	19	10.1%	4823
A3	0.60超-0.65以下	35.9 超 38.9 以下	28		5718
A3 -	0.65超-0.70以下	38.9 超 41.8 以下	30		5657
A2 +	0.70超-0.75以下	41.8 超 44.8 以下	36	17.0%	5117
A2	0.75超-0.80以下	44.8 超 47.8 以下	50		6048
A2 -	0.80超-0.85以下	47.8 超 50.8 以下	44		5242
A1 +	0.85超-0.90以下	50.8 超 53.8 以下	69	23.1%	5424
A1	0.90超-0.95以下	53.8 超 56.8 以下	62		5855
A1 -	0.95超-1.00以下	56.8 超 59.7 以下	45		5195
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 59.7 超 62.7 以下	55	19.0%	5864
B2	1.05超-1.10以下	62.7 超 65.7 以下	54		5822
B2 -	1.10超-1.15以下	65.7 超 68.7 以下	36		6088
B1	1.15超-1.50以下	68.7 超 89.6 以下	123	16.1%	5519
C	1.50超	89.6 超	66	8.7%	5853
合計			763	平均	5616

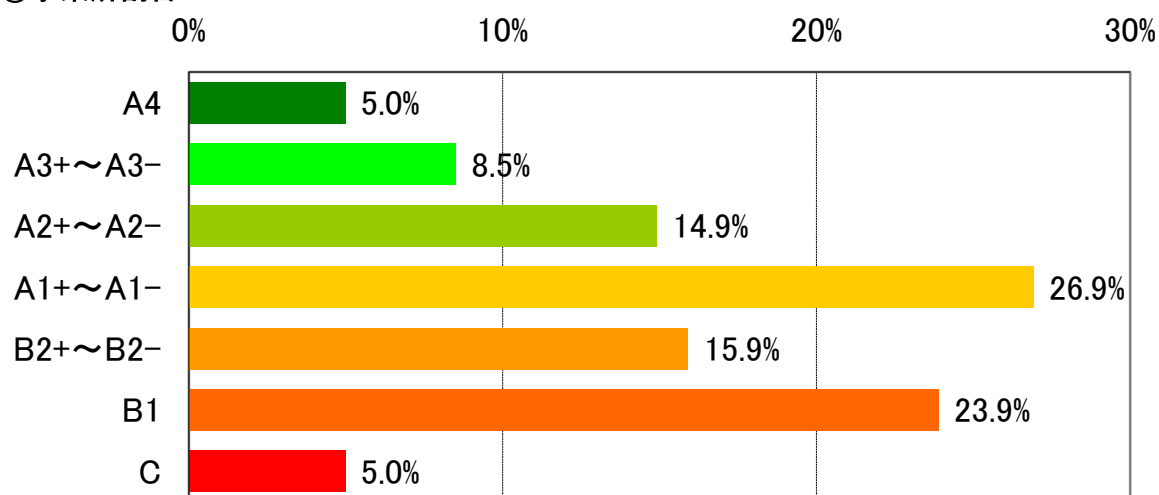
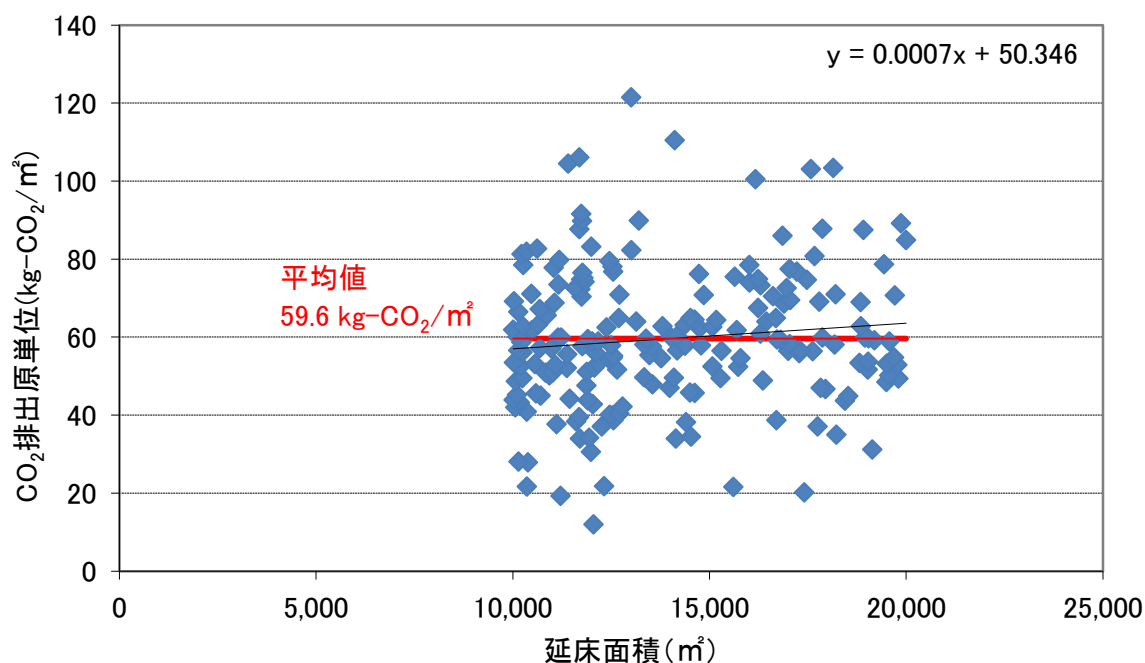
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	32.8 以下	10	5.0%	13061
A3 +	0.55超-0.60以下	32.8 超 35.8 以下	5	8.5%	14108
A3	0.60超-0.65以下	35.8 超 38.8 以下	7		13770
A3 -	0.65超-0.70以下	38.8 超 41.8 以下	5		11952
A2 +	0.70超-0.75以下	41.8 超 44.7 以下	9	14.9%	11890
A2	0.75超-0.80以下	44.7 超 47.7 以下	10		14068
A2 -	0.80超-0.85以下	47.7 超 50.7 以下	11		14794
A1 +	0.85超-0.90以下	50.7 超 53.7 以下	18	26.9%	13933
A1	0.90超-0.95以下	53.7 超 56.7 以下	17		14284
A1 -	0.95超-1.00以下	56.7 超 59.6 以下	19		14168
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 59.6 超 62.6 以下	15	15.9%	14081
B2	1.05超-1.10以下	62.6 超 65.6 以下	13		14004
B2 -	1.10超-1.15以下	65.6 超 68.6 以下	4		13488
B1	1.15超-1.50以下	68.6 超 89.4 以下	48	23.9%	14434
C	1.50超	89.4 超	10	5.0%	13881
合計			201	平均	13977

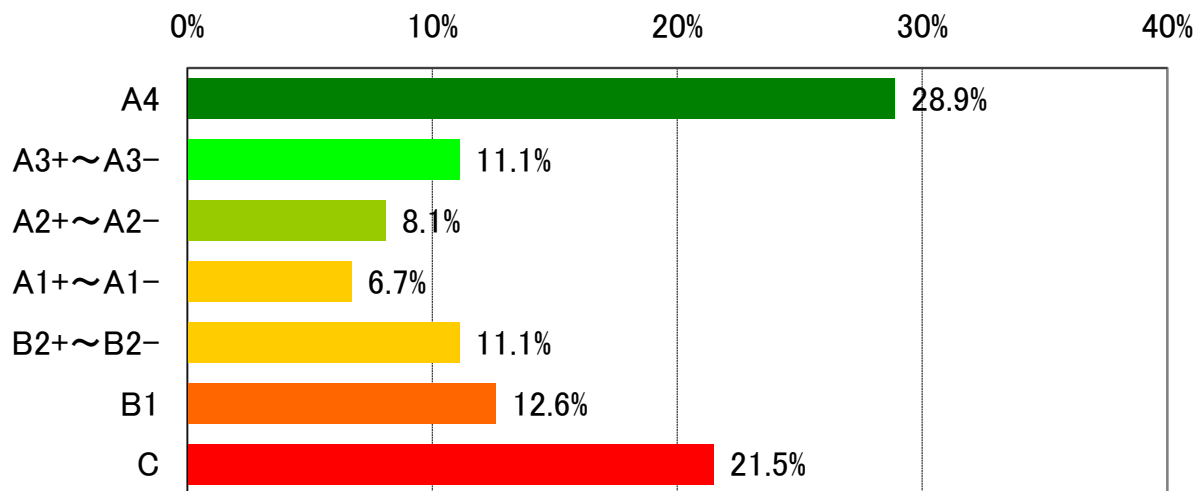
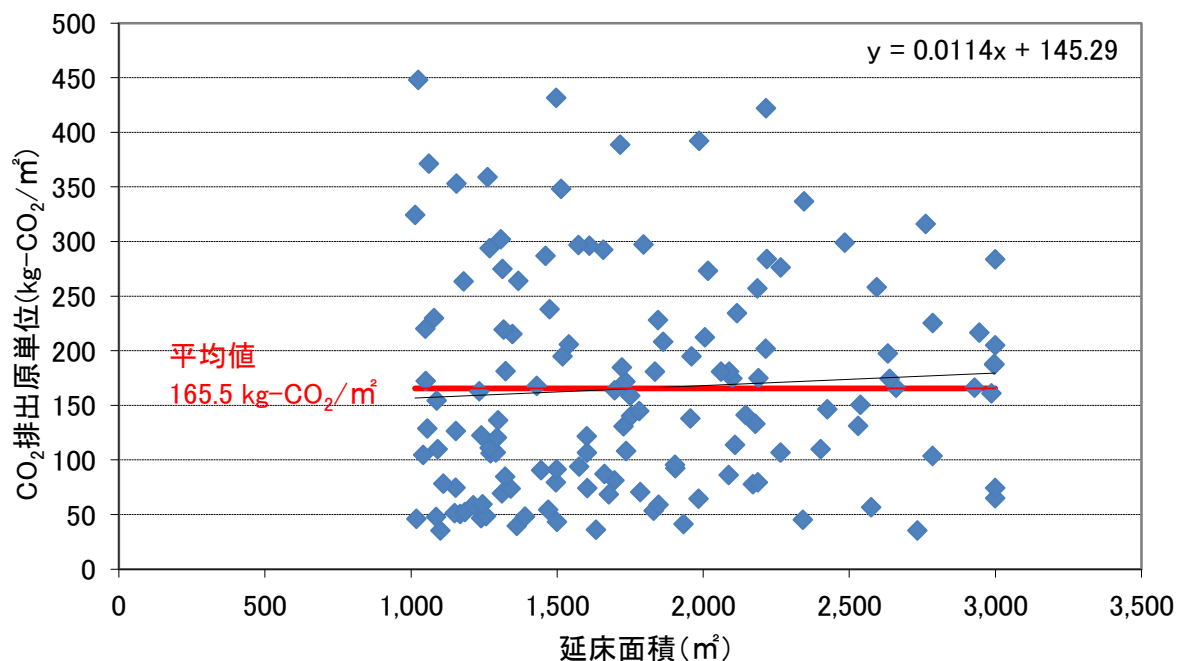
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	91.1 以下	39	28.9%	1649
A3 +	0.55超-0.60以下	91.1 超 99.3 以下	4	11.1%	1720
A3	0.60超-0.65以下	99.3 超 107.6 以下	6		1709
A3 -	0.65超-0.70以下	107.6 超 115.9 以下	5		1721
A2 +	0.70超-0.75以下	115.9 超 124.2 以下	3	8.1%	1379
A2	0.75超-0.80以下	124.2 超 132.4 以下	4		1617
A2 -	0.80超-0.85以下	132.4 超 140.7 以下	4		1796
A1 +	0.85超-0.90以下	140.7 超 149.0 以下	3	6.7%	2117
A1	0.90超-0.95以下	149.0 超 157.3 以下	2		1813
A1 -	0.95超-1.00以下	157.3 超 165.5 以下	4		1917
B2 +	1.00超-1.05以下	165.5 超 173.8 以下	5	11.1%	1961
B2	1.05超-1.10以下	173.8 超 182.1 以下	7		2034
B2 -	1.10超-1.15以下	182.1 超 190.4 以下	3		2571
B1	1.15超-1.50以下	190.4 超 248.3 以下	17	12.6%	1923
C	1.50超	248.3 超	29	21.5%	1753
合計			135	平均	1783

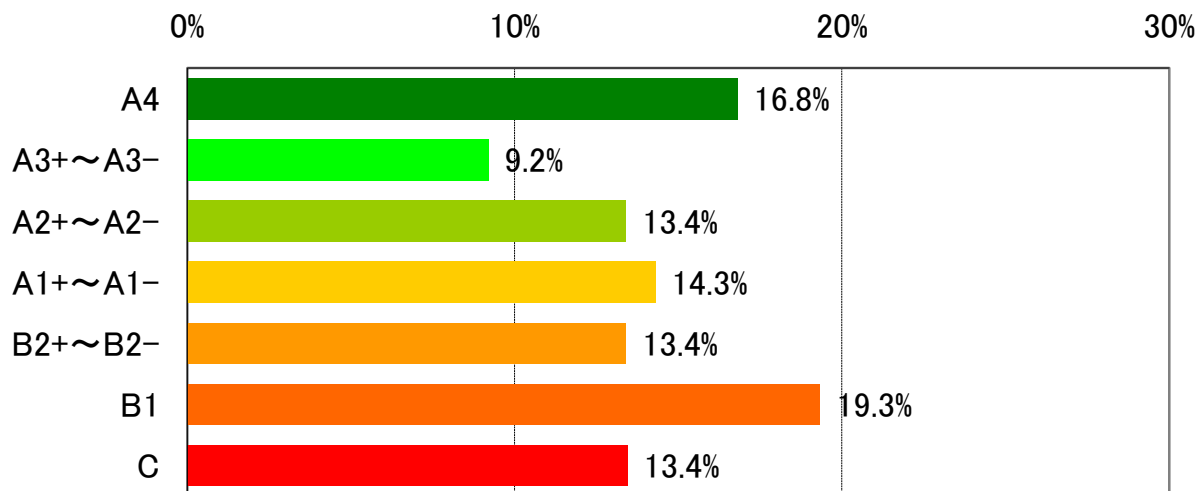
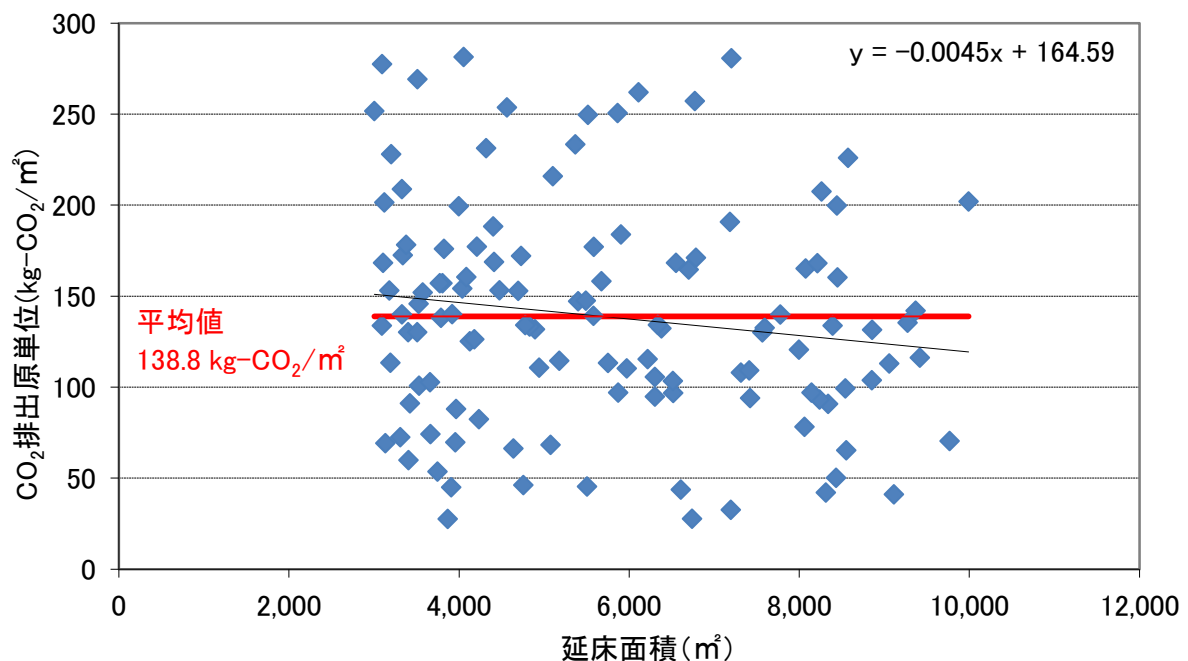
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	76.4 以下	20	16.8%	5684
A3 +	0.55超-0.60以下	76.4 超 83.3 以下	2	9.2%	6147
A3	0.60超-0.65以下	83.3 超 90.3 以下	1		3965
A3 -	0.65超-0.70以下	90.3 超 97.2 以下	8		6782
A2 +	0.70超-0.75以下	97.2 超 104.1 以下	5	13.4%	6219
A2	0.75超-0.80以下	104.1 超 111.1 以下	5		6388
A2 -	0.80超-0.85以下	111.1 超 118.0 以下	6		6469
A1 +	0.85超-0.90以下	118.0 超 125.0 以下	1	14.3%	7996
A1	0.90超-0.95以下	125.0 超 131.9 以下	7		5218
A1 -	0.95超-1.00以下	131.9 超 138.8 以下	9		6051
B2 +	1.00超-1.05以下	138.8 超 145.8 以下	5	13.4%	5994
B2	1.05超-1.10以下	145.8 超 152.7 以下	4		4497
B2 -	1.10超-1.15以下	152.7 超 159.7 以下	7		4234
B1	1.15超-1.50以下	159.7 超 208.2 以下	23	19.3%	5771
C	1.50超	208.2 超	16	13.4%	4973
合計			119	平均	5672

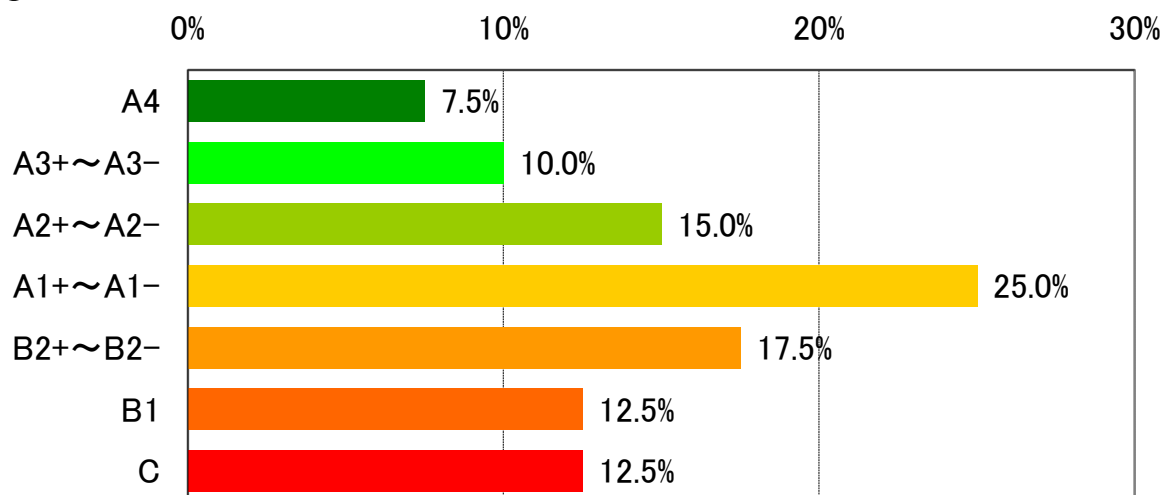
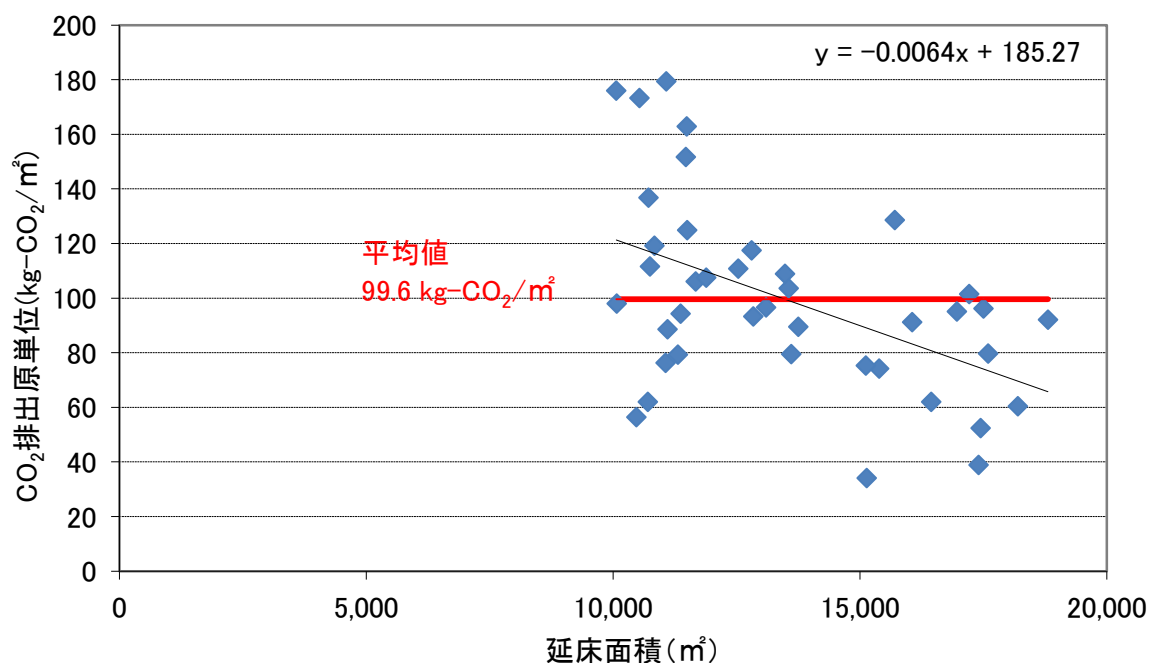
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	54.8 以下	3	7.5%	16663
A3 +	0.55超-0.60以下	54.8 超 59.8 以下	1	10.0%	10472
A3	0.60超-0.65以下	59.8 超 64.8 以下	3		15116
A3 -	0.65超-0.70以下	64.8 超 69.8 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	69.8 超 74.7 以下	1	15.0%	15390
A2	0.75超-0.80以下	74.7 超 79.7 以下	4		12777
A2 -	0.80超-0.85以下	79.7 超 84.7 以下	1		17598
A1 +	0.85超-0.90以下	84.7 超 89.7 以下	2	25.0%	12428
A1	0.90超-0.95以下	89.7 超 94.7 以下	4		14769
A1 -	0.95超-1.00以下	94.7 超 99.6 以下	4		14410
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 99.6 超 104.6 以下	2	17.5%	15386
B2	1.05超-1.10以下	104.6 超 109.6 以下	3		12348
B2 -	1.10超-1.15以下	109.6 超 114.6 以下	2		11641
B1	1.15超-1.50以下	114.6 超 149.4 以下	5	12.5%	12314
C	1.50超	149.4 超	5	12.5%	10928
合計			40	平均	13470

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

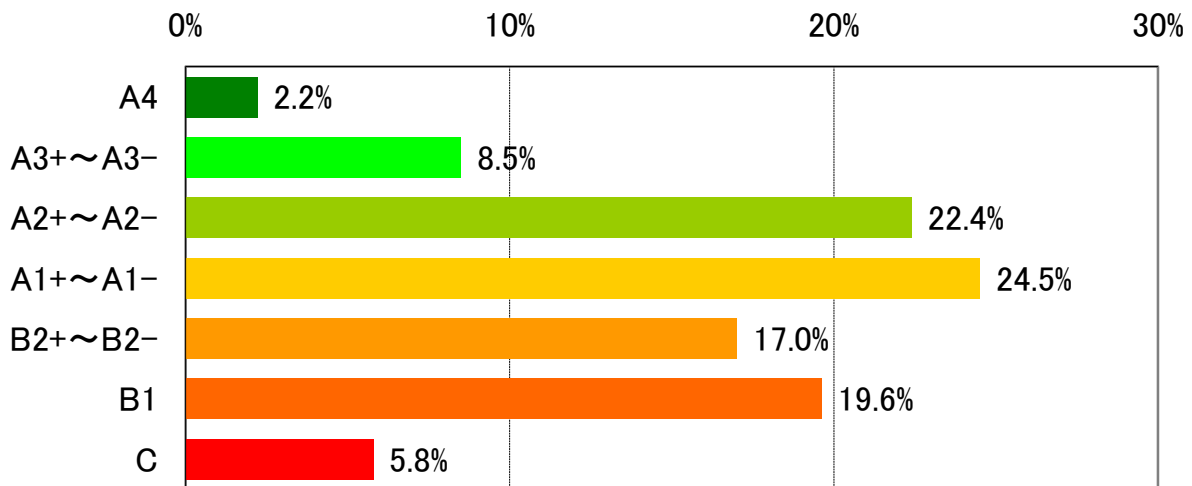
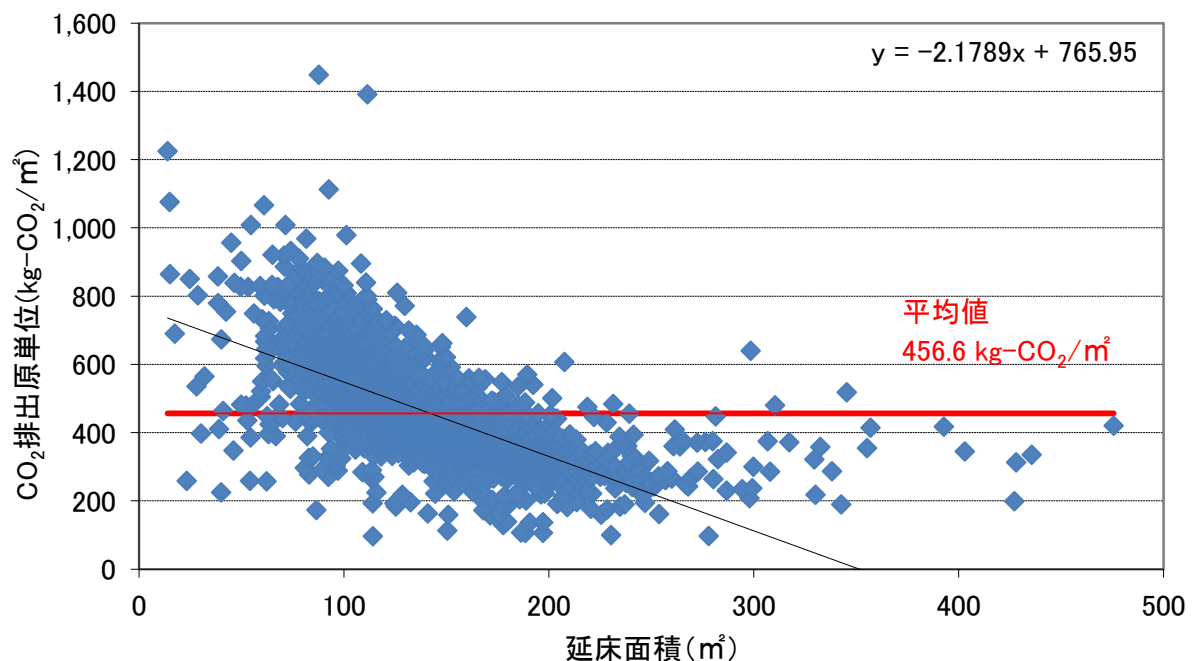
区分番号:5

物販店(コンビニ)

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	251.2 以下	81	2.2%	201
A3 +	0.55超-0.60以下	251.2 超 274.0 以下	67	8.5%	193
A3	0.60超-0.65以下	274.0 超 296.8 以下	97		191
A3 -	0.65超-0.70以下	296.8 超 319.7 以下	146		188
A2 +	0.70超-0.75以下	319.7 超 342.5 以下	225	22.4%	178
A2	0.75超-0.80以下	342.5 超 365.3 以下	247		170
A2 -	0.80超-0.85以下	365.3 超 388.2 以下	344		163
A1 +	0.85超-0.90以下	388.2 超 411.0 以下	305	24.5%	151
A1	0.90超-0.95以下	411.0 超 433.8 以下	292		144
A1 -	0.95超-1.00以下	433.8 超 456.6 以下	295		137
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 456.6 超 479.5 以下	239	17.0%	132
B2	1.05超-1.10以下	479.5 超 502.3 以下	207		129
B2 -	1.10超-1.15以下	502.3 超 525.1 以下	175		122
B1	1.15超-1.50以下	525.1 超 684.9 以下	715	19.6%	109
C	1.50超	684.9 超	211	5.8%	87
合計			3646	平均	142

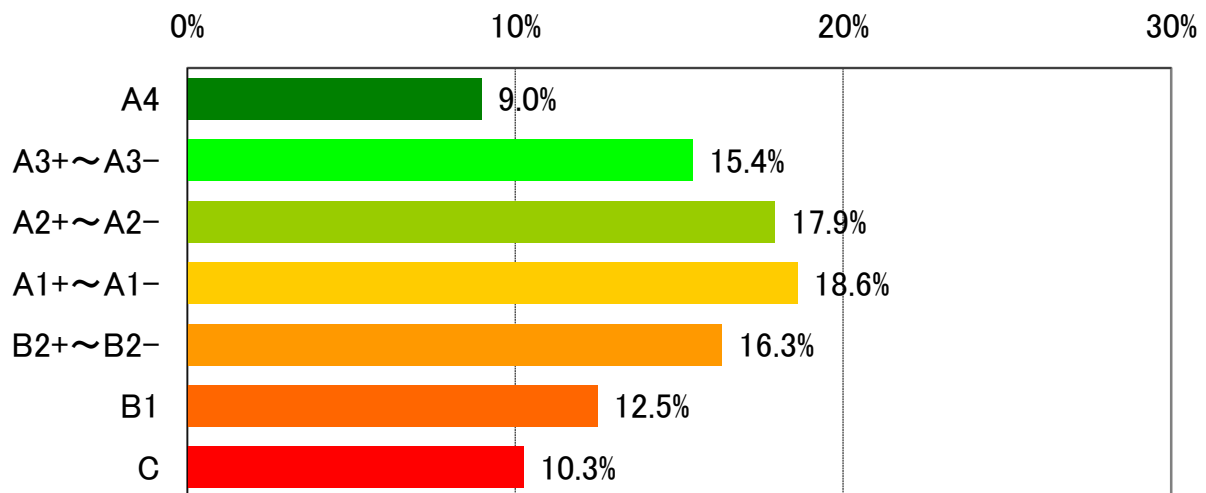
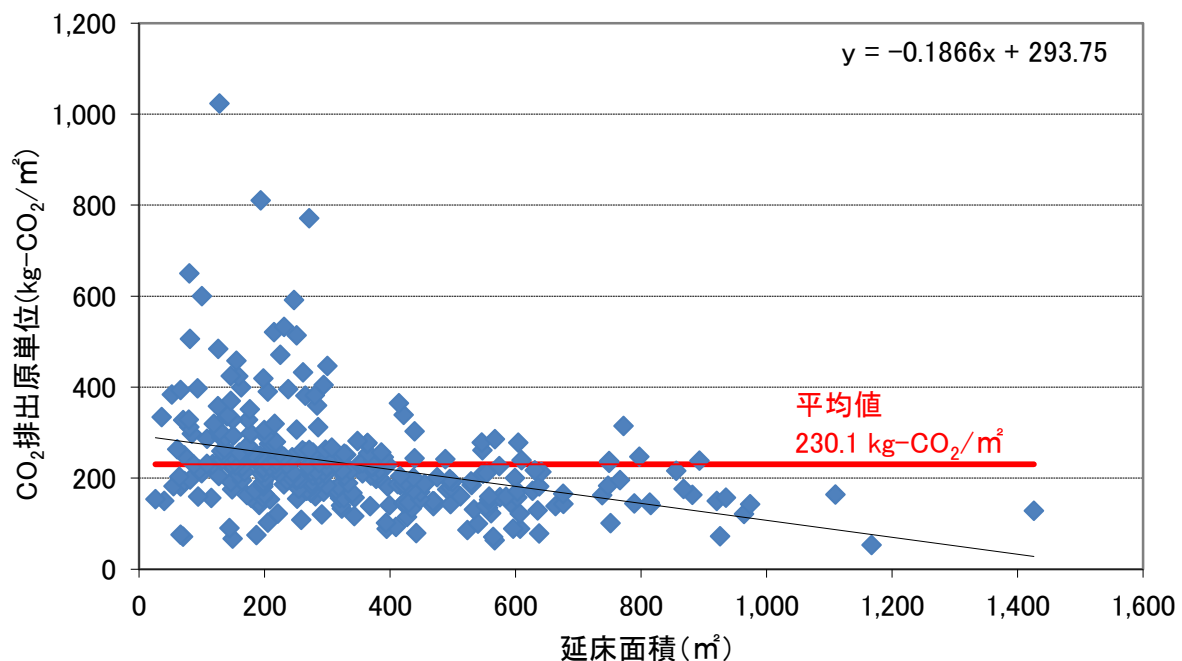
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	126.6 以下	28	9.0%	465
A3 +	0.55超-0.60以下	126.6 超 138.1 以下	6	15.4%	651
A3	0.60超-0.65以下	138.1 超 149.6 以下	21		528
A3 -	0.65超-0.70以下	149.6 超 161.1 以下	21		385
A2 +	0.70超-0.75以下	161.1 超 172.6 以下	14	17.9%	493
A2	0.75超-0.80以下	172.6 超 184.1 以下	20		354
A2 -	0.80超-0.85以下	184.1 超 195.6 以下	22		338
A1 +	0.85超-0.90以下	195.6 超 207.1 以下	20	18.6%	336
A1	0.90超-0.95以下	207.1 超 218.6 以下	21		354
A1 -	0.95超-1.00以下	218.6 超 230.1 以下	17		258
B2 +	1.00超-1.05以下	230.1 超 241.7 以下	21	16.3%	325
B2	1.05超-1.10以下	241.7 超 253.2 以下	12		306
B2 -	1.10超-1.15以下	253.2 超 264.7 以下	18		245
B1	1.15超-1.50以下	264.7 超 345.2 以下	39	12.5%	236
C	1.50超	345.2 超	32	10.3%	193
合計			312	平均	341

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

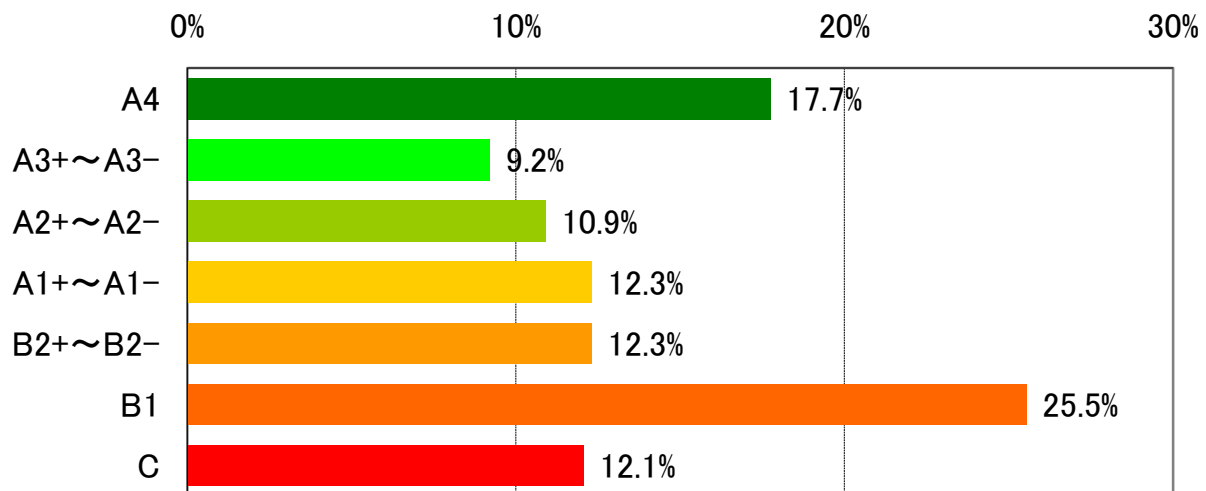
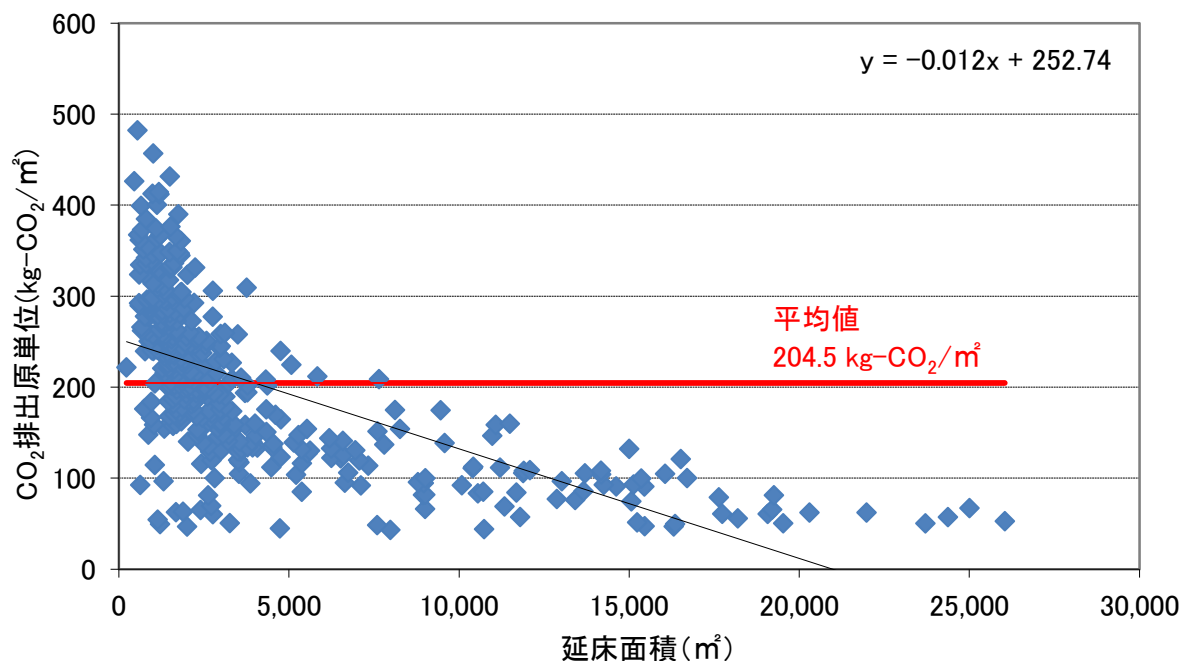
区分番号:7

物販店(総合スーパー・百貨店)

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	112.5 以下	75	17.7%	11216
A3 +	0.55超-0.60以下	112.5 超 122.7 以下	11	9.2%	5664
A3	0.60超-0.65以下	122.7 超 133.0 以下	13		5571
A3 -	0.65超-0.70以下	133.0 超 143.2 以下	15		4515
A2 +	0.70超-0.75以下	143.2 超 153.4 以下	13	10.9%	4264
A2	0.75超-0.80以下	153.4 超 163.6 以下	17		4111
A2 -	0.80超-0.85以下	163.6 超 173.9 以下	16		2444
A1 +	0.85超-0.90以下	173.9 超 184.1 以下	16	12.3%	3124
A1	0.90超-0.95以下	184.1 超 194.3 以下	14		2341
A1 -	0.95超-1.00以下	194.3 超 204.5 以下	22		2275
B2 +	1.00超-1.05以下	204.5 超 214.8 以下	21	12.3%	2759
B2	1.05超-1.10以下	214.8 超 225.0 以下	14		1973
B2 -	1.10超-1.15以下	225.0 超 235.2 以下	17		1969
B1	1.15超-1.50以下	235.2 超 306.8 以下	108	25.5%	1570
C	1.50超	306.8 超	51	12.1%	1217
合計			423	平均	3999

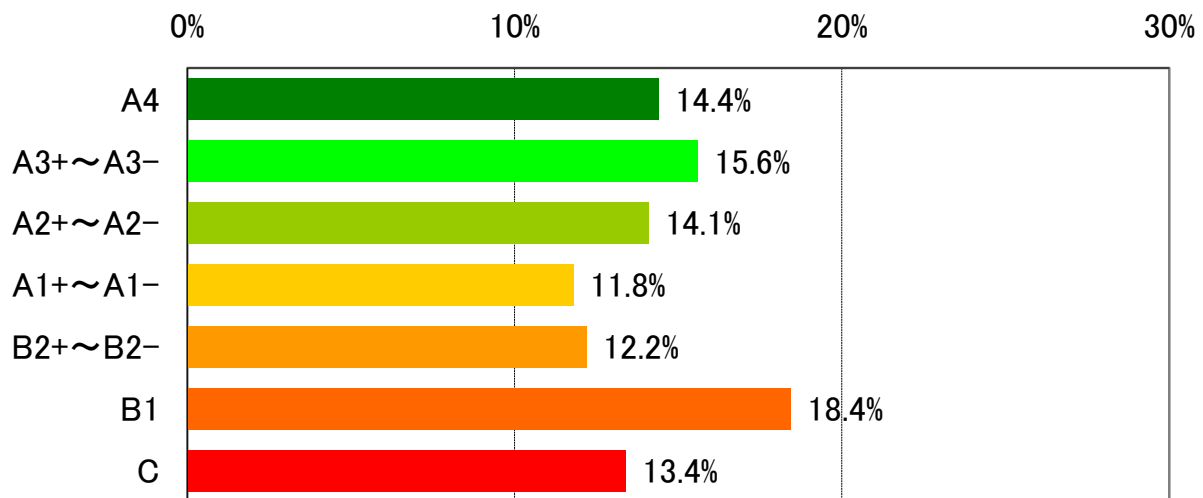
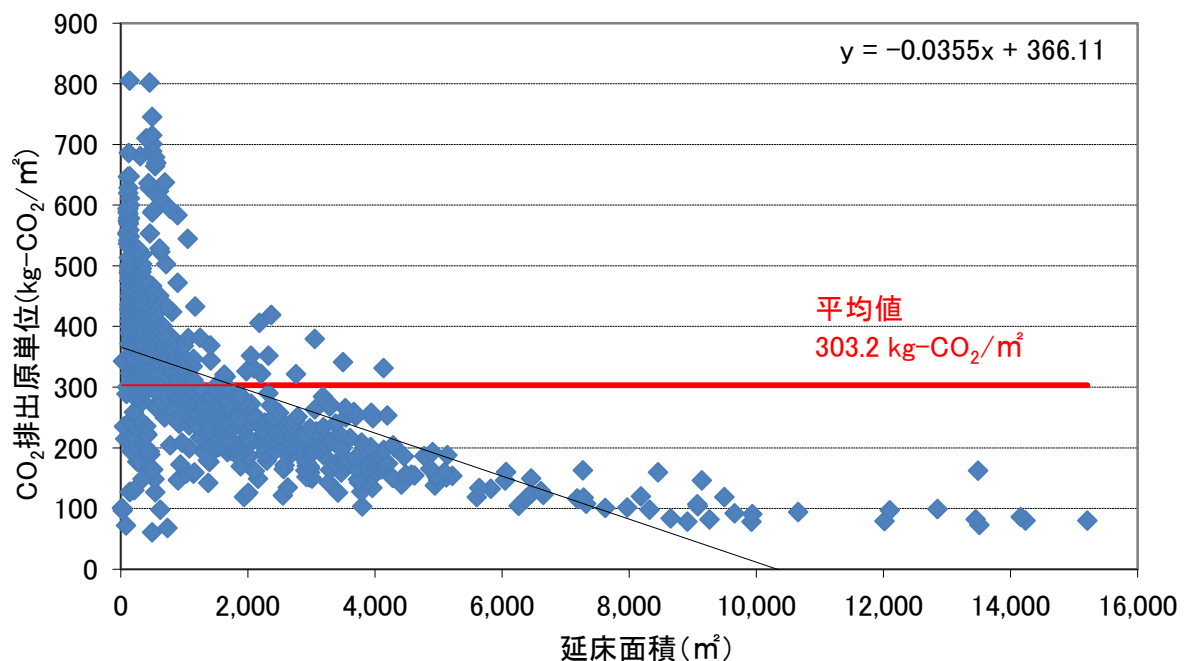
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	166.8 以下	100	14.4%	5245
A3 +	0.55超-0.60以下	166.8 超 182.0 以下	27	15.6%	2632
A3	0.60超-0.65以下	182.0 超 197.1 以下	35		2608
A3 -	0.65超-0.70以下	197.1 超 212.3 以下	46		2351
A2 +	0.70超-0.75以下	212.3 超 227.4 以下	31	14.1%	2066
A2	0.75超-0.80以下	227.4 超 242.6 以下	33		1691
A2 -	0.80超-0.85以下	242.6 超 257.8 以下	34		1880
A1 +	0.85超-0.90以下	257.8 超 272.9 以下	34	11.8%	1637
A1	0.90超-0.95以下	272.9 超 288.1 以下	23		1190
A1 -	0.95超-1.00以下	288.1 超 303.2 以下	25		956
B2 +	1.00超-1.05以下	303.2 超 318.4 以下	30	12.2%	672
B2	1.05超-1.10以下	318.4 超 333.6 以下	23		972
B2 -	1.10超-1.15以下	333.6 超 348.7 以下	32		500
B1	1.15超-1.50以下	348.7 超 454.8 以下	128	18.4%	451
C	1.50超	454.8 超	93	13.4%	303
合計			694	平均	1772

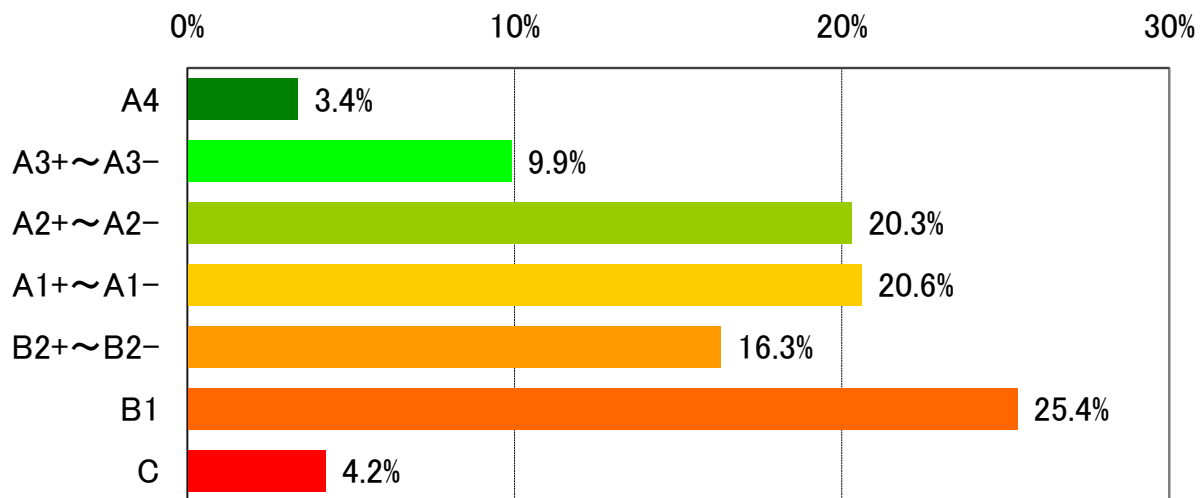
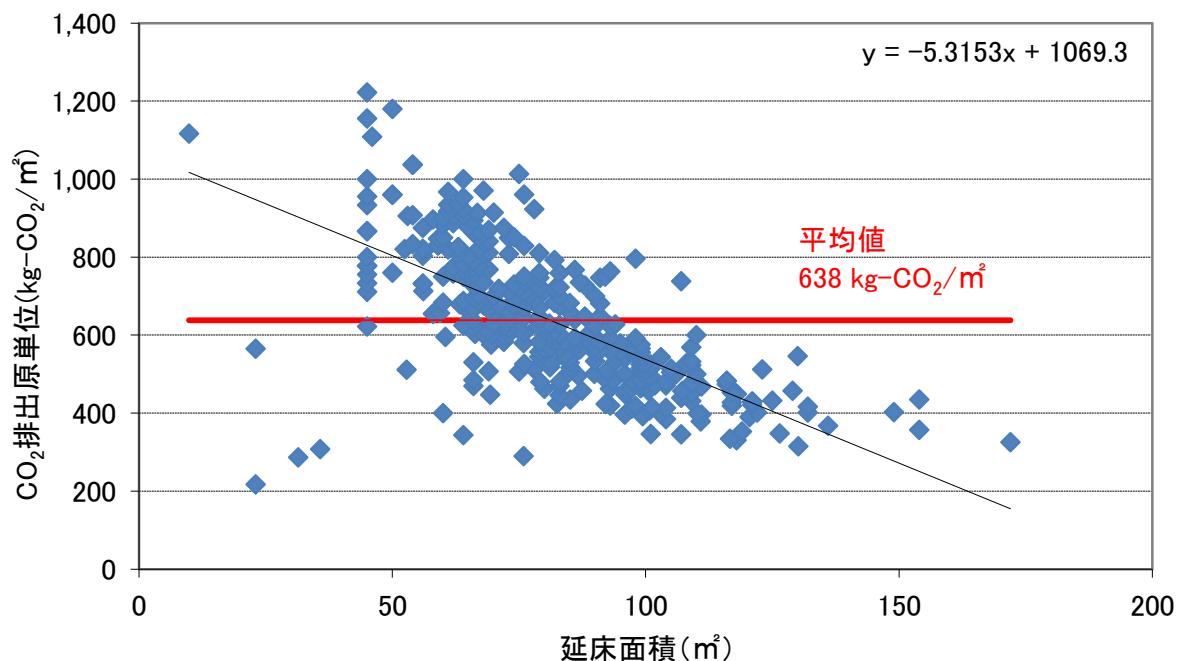
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (m ²)
A4	0.55以下	350.9 以下	12	3.4%	92
A3 +	0.55超-0.60以下	350.9 超 382.8 以下	4	9.9%	130
A3	0.60超-0.65以下	382.8 超 414.7 以下	14		108
A3 -	0.65超-0.70以下	414.7 超 446.6 以下	17		109
A2 +	0.70超-0.75以下	446.6 超 478.5 以下	24	20.3%	99
A2	0.75超-0.80以下	478.5 超 510.4 以下	24		94
A2 -	0.80超-0.85以下	510.4 超 542.3 以下	24		93
A1 +	0.85超-0.90以下	542.3 超 574.2 以下	25	20.6%	91
A1	0.90超-0.95以下	574.2 超 606.1 以下	27		81
A1 -	0.95超-1.00以下	606.1 超 平均値 638.0 以下	21		76
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 638.0 超 669.9 以下	17	16.3%	73
B2	1.05超-1.10以下	669.9 超 701.8 以下	23		74
B2 -	1.10超-1.15以下	701.8 超 733.7 以下	18		69
B1	1.15超-1.50以下	733.7 超 957.0 以下	90	25.4%	66
C	1.50超	957.0 超	15	4.2%	53
合計			355	平均	81

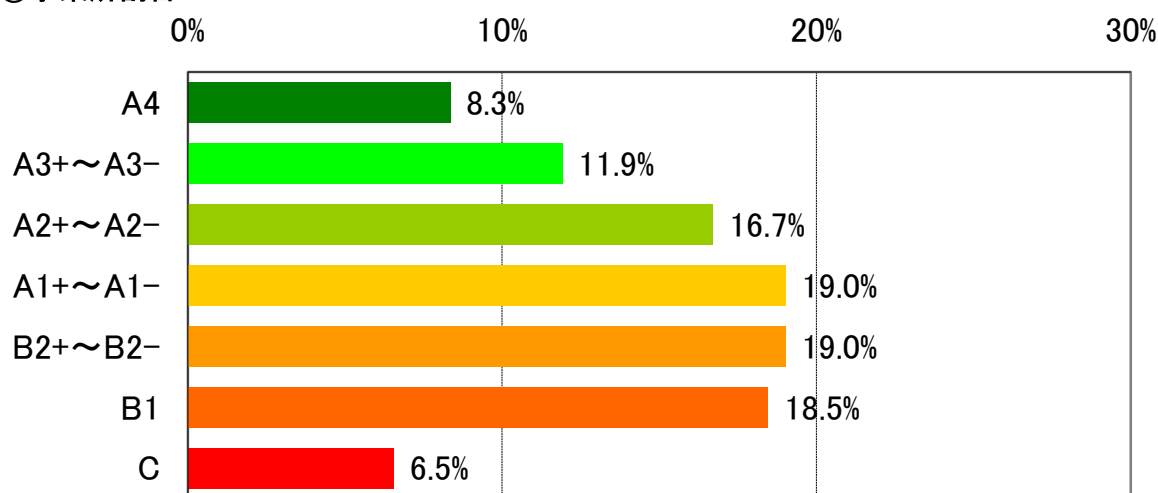
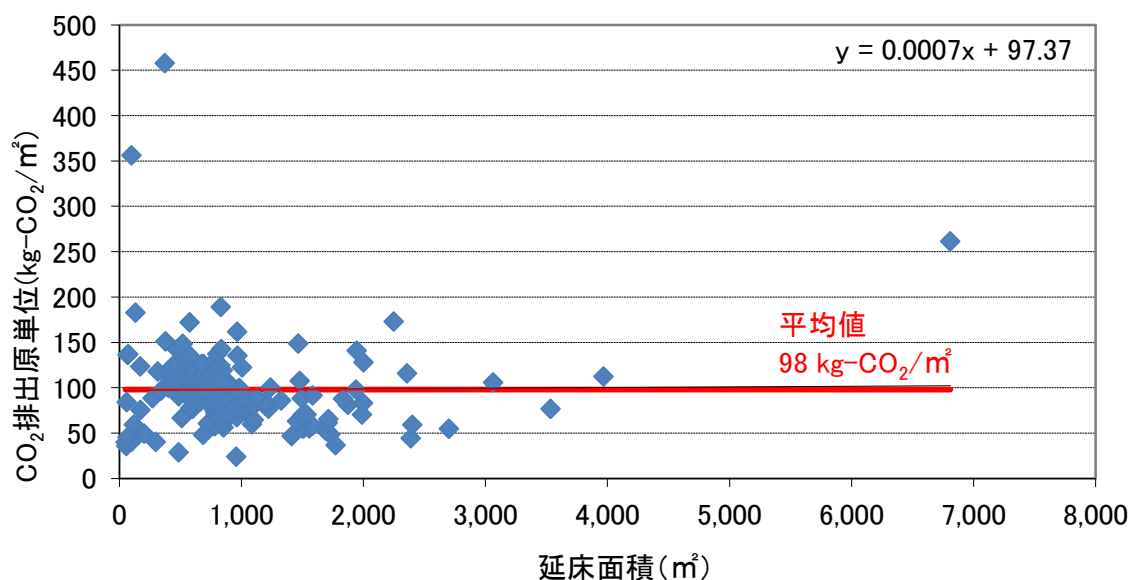
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	53.9 以下	14	8.3%	849
A3 +	0.55超-0.60以下	53.9 超 58.8 以下	7	11.9%	1497
A3	0.60超-0.65以下	58.8 超 63.7 以下	7		1191
A3 -	0.65超-0.70以下	63.7 超 68.6 以下	6		1038
A2 +	0.70超-0.75以下	68.6 超 73.5 以下	5	16.7%	1337
A2	0.75超-0.80以下	73.5 超 78.4 以下	10		1089
A2 -	0.80超-0.85以下	78.4 超 83.3 以下	13		1083
A1 +	0.85超-0.90以下	83.3 超 88.2 以下	16	19.0%	889
A1	0.90超-0.95以下	88.2 超 93.1 以下	8		879
A1 -	0.95超-1.00以下	93.1 超 平均値 98.0 以下	8		802
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 98.0 超 102.9 以下	14	19.0%	716
B2	1.05超-1.10以下	102.9 超 107.8 以下	12		955
B2 -	1.10超-1.15以下	107.8 超 112.7 以下	6		1076
B1	1.15超-1.50以下	112.7 超 147.0 以下	31	18.5%	722
C	1.50超	147.0 超	11	6.5%	1308
合計			168	平均	958

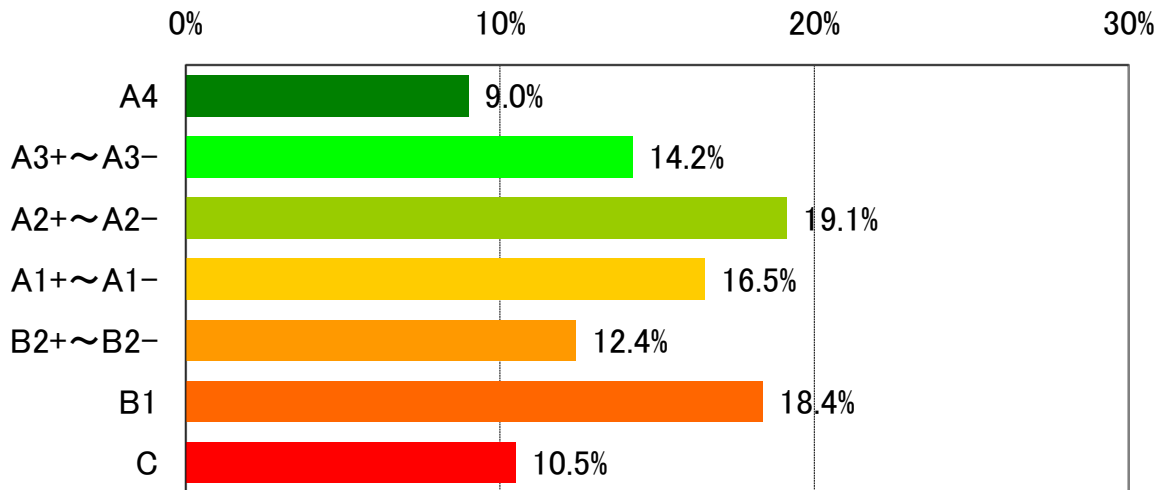
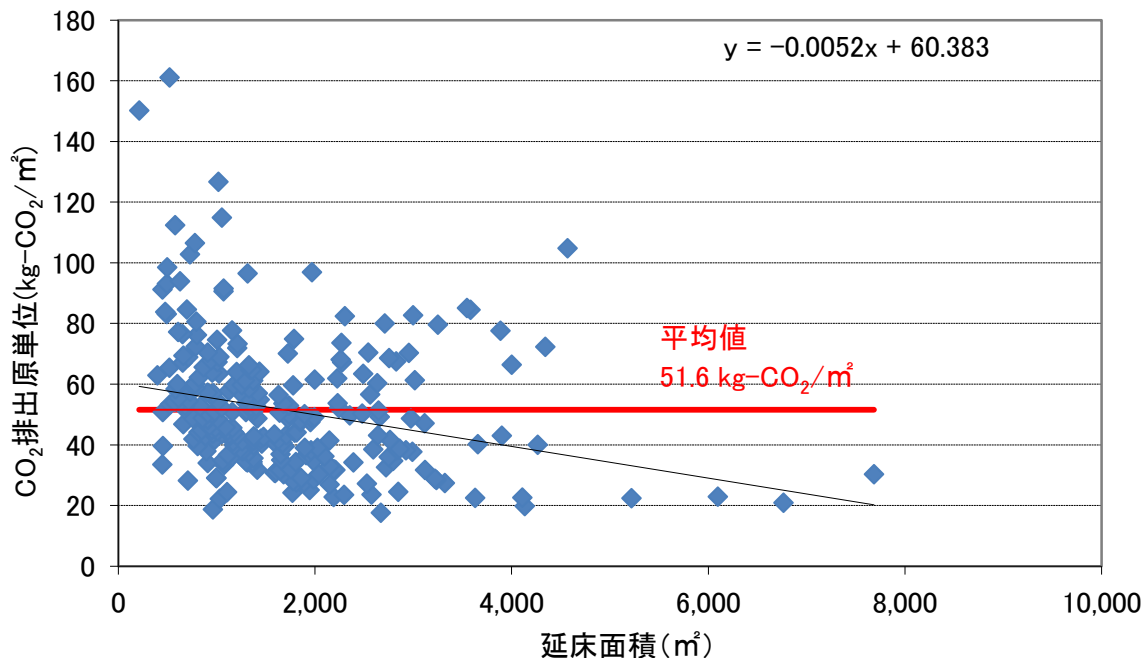
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	28.4 以下	24	9.0%	2782
A3 +	0.55超-0.60以下	28.4 超 31.0 以下	10	14.2%	2365
A3	0.60超-0.65以下	31.0 超 33.6 以下	11		1848
A3 -	0.65超-0.70以下	33.6 超 36.2 以下	17		1630
A2 +	0.70超-0.75以下	36.2 超 38.7 以下	15	19.1%	1919
A2	0.75超-0.80以下	38.7 超 41.3 以下	15		1723
A2 -	0.80超-0.85以下	41.3 超 43.9 以下	21		1555
A1 +	0.85超-0.90以下	43.9 超 46.5 以下	13	16.5%	1138
A1	0.90超-0.95以下	46.5 超 49.1 以下	16		1550
A1 -	0.95超-1.00以下	49.1 超 51.6 以下	15		1589
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 51.6 超 54.2 以下	16	12.4%	1224
B2	1.05超-1.10以下	54.2 超 56.8 以下	8		1276
B2 -	1.10超-1.15以下	56.8 超 59.4 以下	9		1009
B1	1.15超-1.50以下	59.4 超 77.4 以下	49	18.4%	1522
C	1.50超	77.4 超	28	10.5%	1530
合計			267	平均	1668

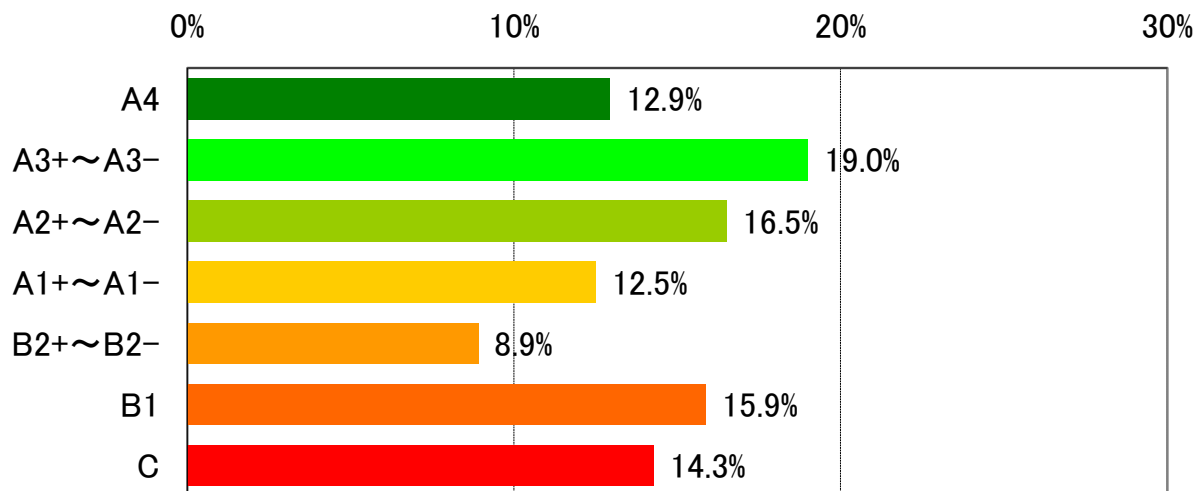
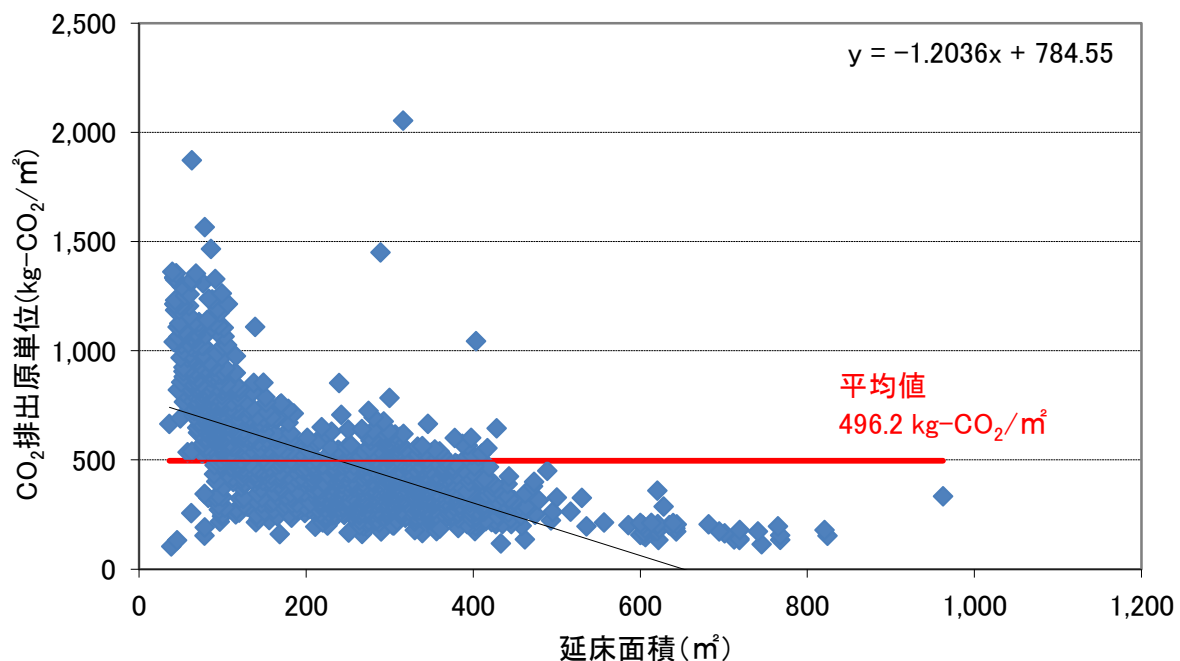
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	273.0 以下	203	12.9%	368
A3 +	0.55超-0.60以下	273.0 超 297.8 以下	77	19.0%	301
A3	0.60超-0.65以下	297.8 超 322.6 以下	109		309
A3 -	0.65超-0.70以下	322.6 超 347.4 以下	112		309
A2 +	0.70超-0.75以下	347.4 超 372.2 以下	92	16.5%	296
A2	0.75超-0.80以下	372.2 超 397.0 以下	84		291
A2 -	0.80超-0.85以下	397.0 超 421.8 以下	83		274
A1 +	0.85超-0.90以下	421.8 超 446.6 以下	78	12.5%	276
A1	0.90超-0.95以下	446.6 超 471.4 以下	60		260
A1 -	0.95超-1.00以下	471.4 超 496.2 以下	58		242
B2 +	1.00超-1.05以下	496.2 超 521.1 以下	49	8.9%	253
B2	1.05超-1.10以下	521.1 超 545.9 以下	48		223
B2 -	1.10超-1.15以下	545.9 超 570.7 以下	43		204
B1	1.15超-1.50以下	570.7 超 744.3 以下	249	15.9%	133
C	1.50超	744.3 超	224	14.3%	85
合計			1569	平均	240

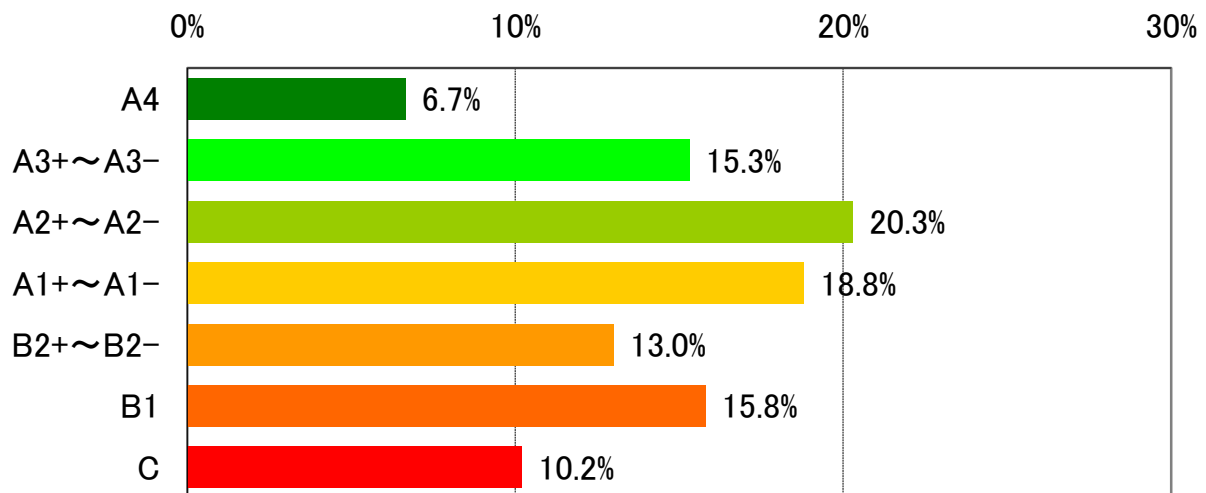
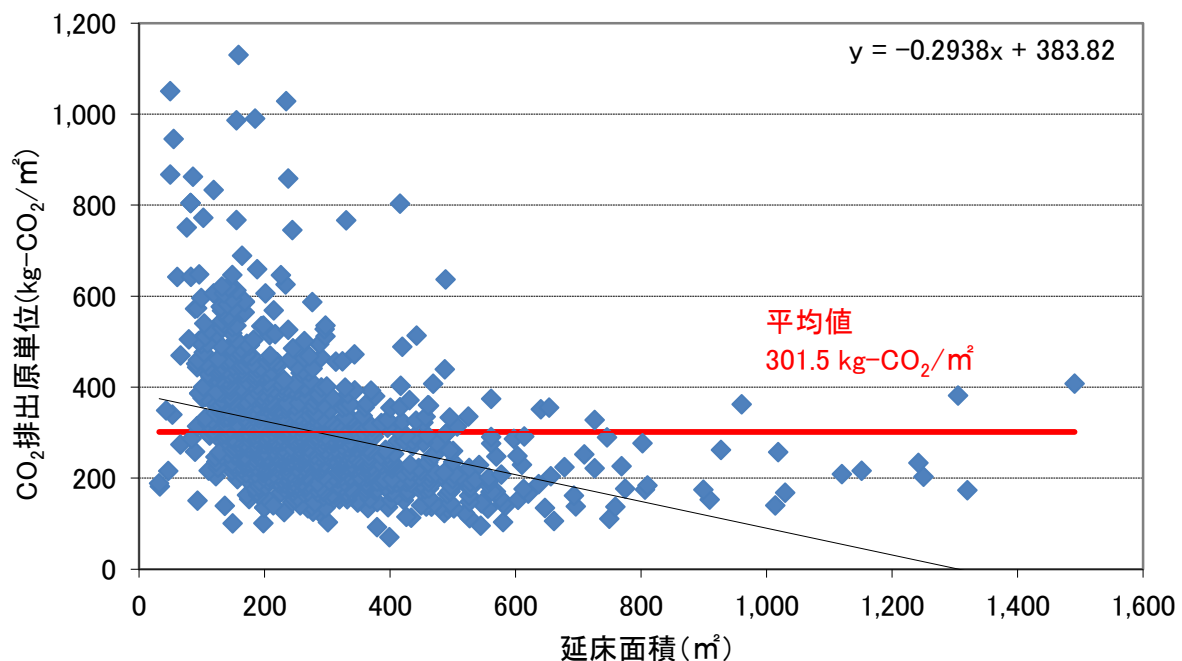
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	165.9 以下	75	6.7%	410
A3 +	0.55超-0.60以下	165.9 超 180.9 以下	51	15.3%	428
A3	0.60超-0.65以下	180.9 超 196.0 以下	56		344
A3 -	0.65超-0.70以下	196.0 超 211.1 以下	65		344
A2 +	0.70超-0.75以下	211.1 超 226.2 以下	64	20.3%	313
A2	0.75超-0.80以下	226.2 超 241.2 以下	84		294
A2 -	0.80超-0.85以下	241.2 超 256.3 以下	81		274
A1 +	0.85超-0.90以下	256.3 超 271.4 以下	60	18.8%	279
A1	0.90超-0.95以下	271.4 超 286.5 以下	79		275
A1 -	0.95超-1.00以下	286.5 超 301.5 以下	73		268
B2 +	1.00超-1.05以下	301.5 超 316.6 以下	58	13.0%	231
B2	1.05超-1.10以下	316.6 超 331.7 以下	51		257
B2 -	1.10超-1.15以下	331.7 超 346.8 以下	37		231
B1	1.15超-1.50以下	346.8 超 452.3 以下	178	15.8%	231
C	1.50超	452.3 超	115	10.2%	175
合計			1127	平均	280

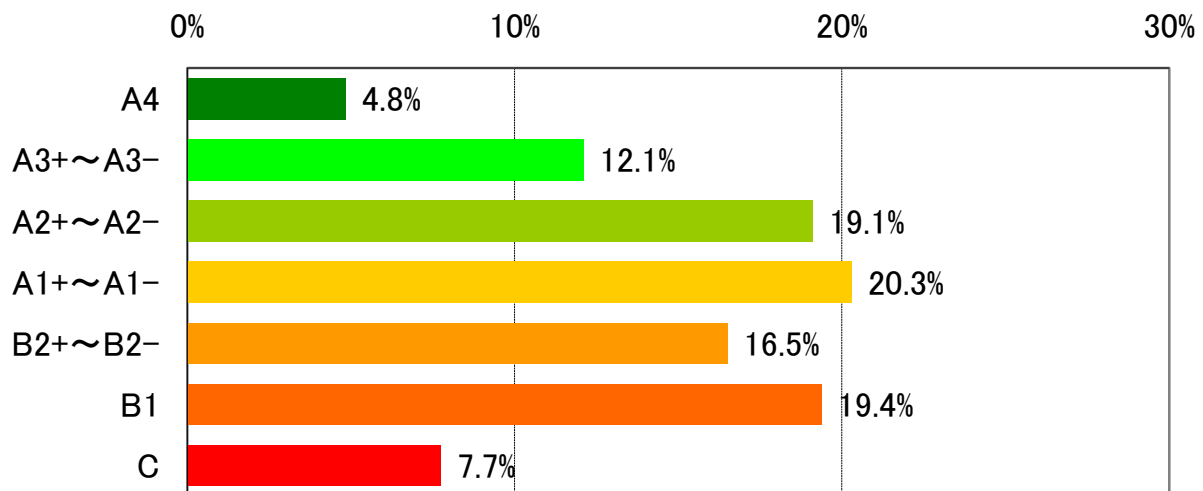
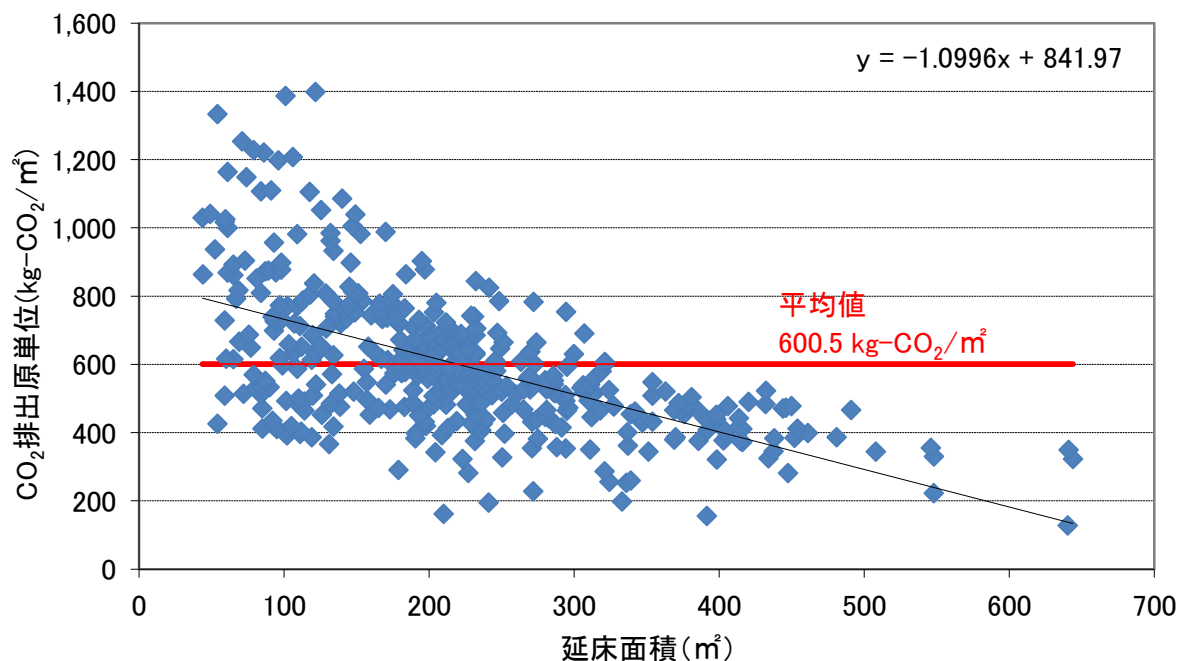
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	330.3 以下	20	4.8%	365
A3 +	0.55超-0.60以下	330.3 超 360.3 以下	10	12.1%	385
A3	0.60超-0.65以下	360.3 超 390.4 以下	16		339
A3 -	0.65超-0.70以下	390.4 超 420.4 以下	24		235
A2 +	0.70超-0.75以下	420.4 超 450.4 以下	21	19.1%	286
A2	0.75超-0.80以下	450.4 超 480.4 以下	33		290
A2 -	0.80超-0.85以下	480.4 超 510.5 以下	25		230
A1 +	0.85超-0.90以下	510.5 超 540.5 以下	37	20.3%	235
A1	0.90超-0.95以下	540.5 超 570.5 以下	24		223
A1 -	0.95超-1.00以下	570.5 超 600.5 以下	23		206
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 600.5 超 630.6 以下	25	16.5%	198
B2	1.05超-1.10以下	630.6 超 660.6 以下	22		176
B2 -	1.10超-1.15以下	660.6 超 690.6 以下	21		201
B1	1.15超-1.50以下	690.6 超 900.8 以下	80	19.4%	151
C	1.50超	900.8 超	32	7.7%	101
合計			413	平均	220

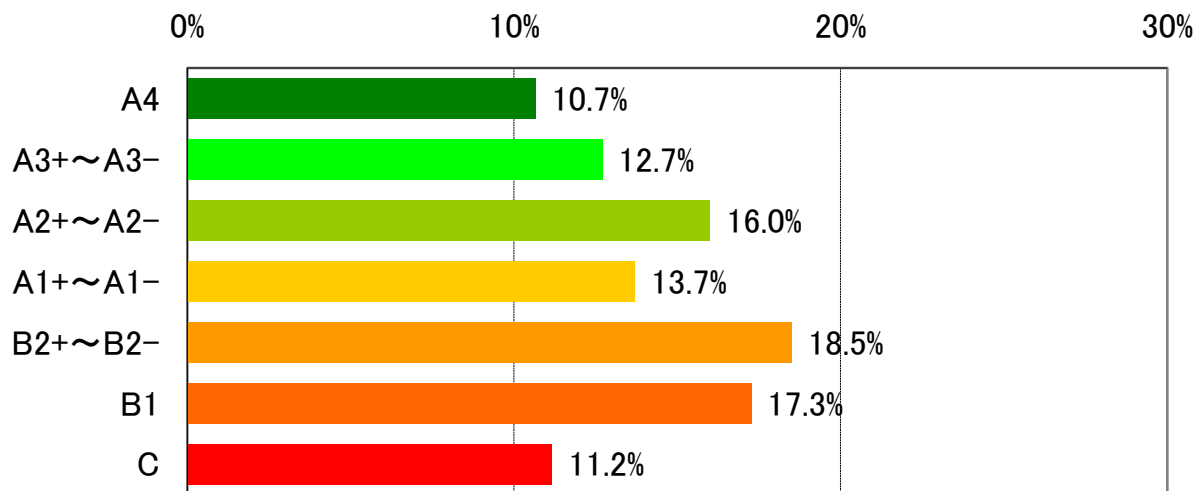
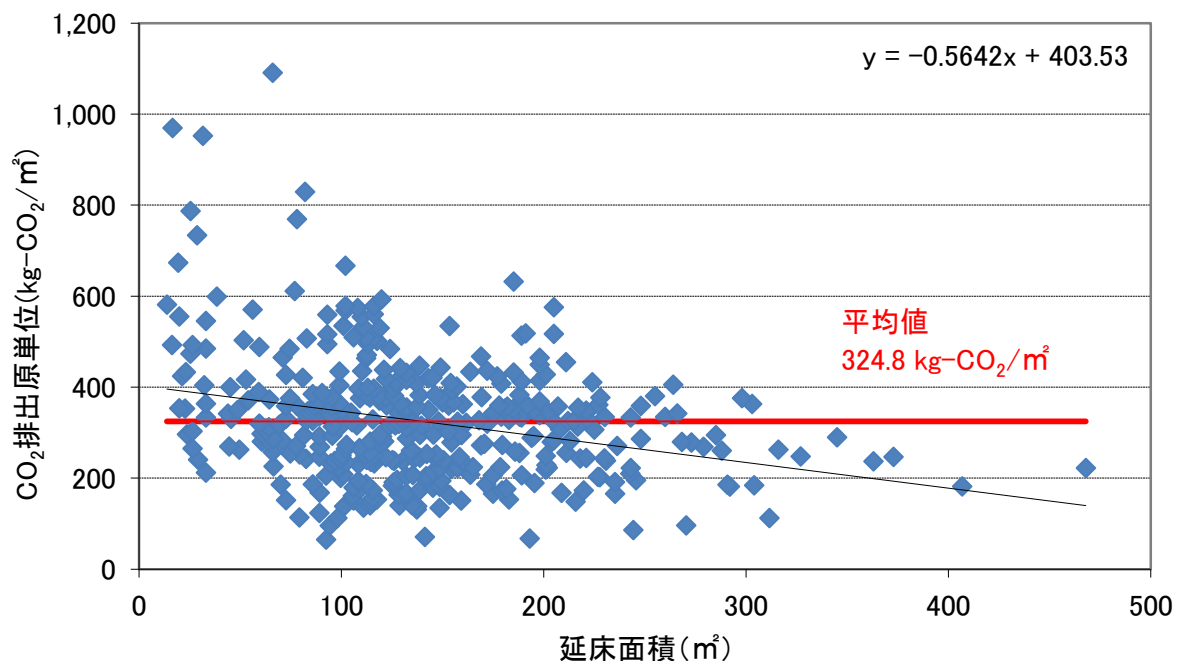
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	178.7 以下	42	10.7%	146
A3 +	0.55超-0.60以下	178.7 超 194.9 以下	19	12.7%	176
A3	0.60超-0.65以下	194.9 超 211.2 以下	16		161
A3 -	0.65超-0.70以下	211.2 超 227.4 以下	15		167
A2 +	0.70超-0.75以下	227.4 超 243.6 以下	22	16.0%	142
A2	0.75超-0.80以下	243.6 超 259.9 以下	24		155
A2 -	0.80超-0.85以下	259.9 超 276.1 以下	17		145
A1 +	0.85超-0.90以下	276.1 超 292.4 以下	21	13.7%	161
A1	0.90超-0.95以下	292.4 超 308.6 以下	15		130
A1 -	0.95超-1.00以下	308.6 超 324.8 以下	18		125
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 324.8 超 341.1 以下	26	18.5%	153
B2	1.05超-1.10以下	341.1 超 357.3 以下	26		134
B2 -	1.10超-1.15以下	357.3 超 373.6 以下	21		144
B1	1.15超-1.50以下	373.6 超 487.2 以下	68	17.3%	132
C	1.50超	487.2 超	44	11.2%	91
合計			394	平均	139

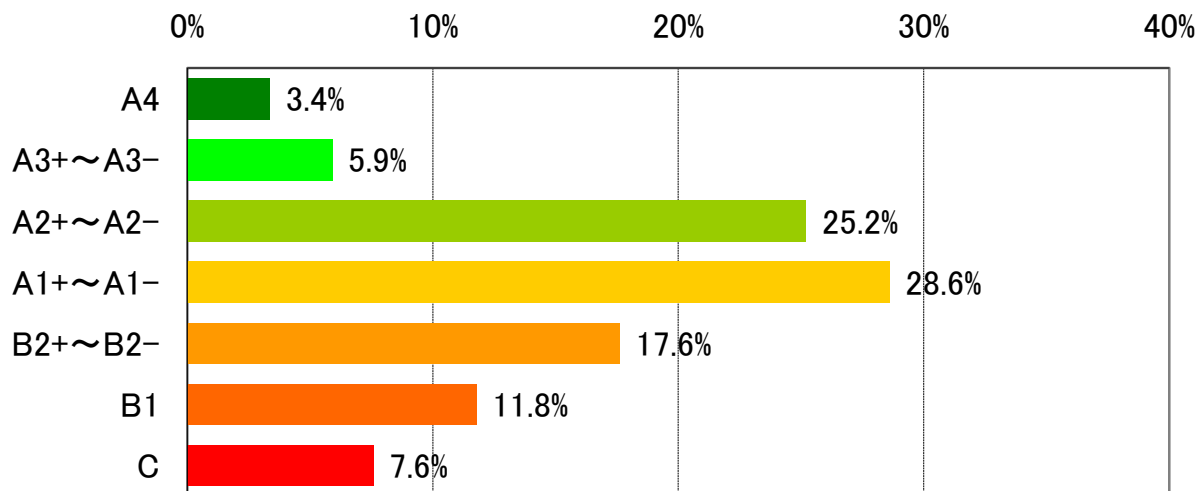
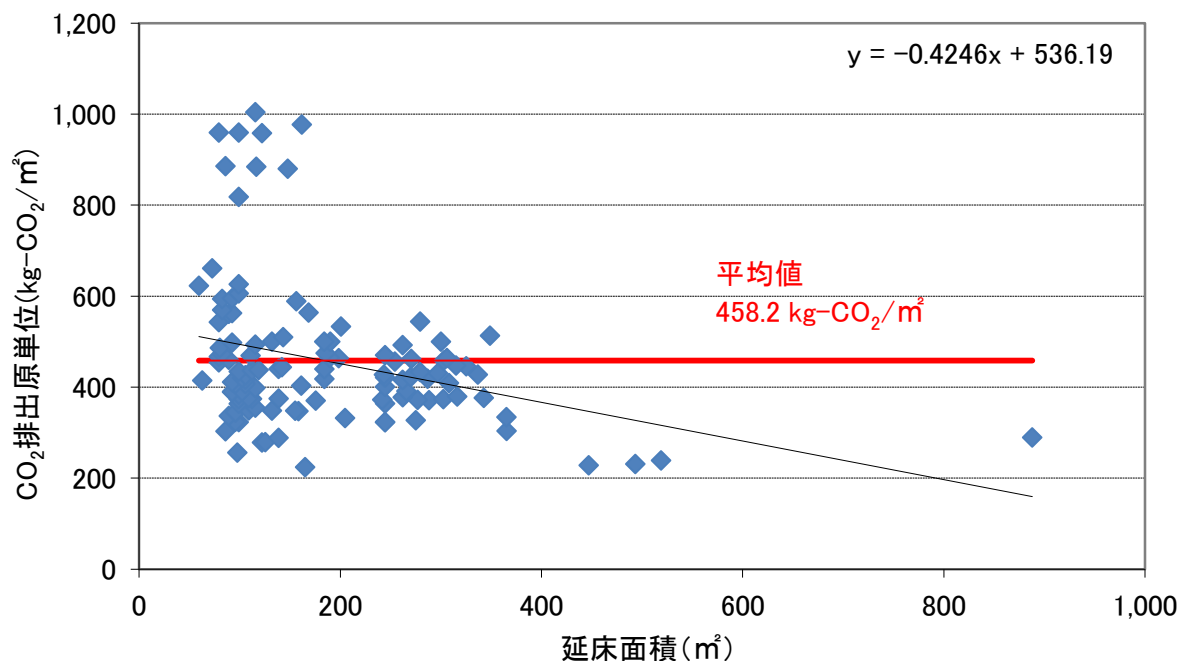
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	252.1 以下	4	3.4%	406
A3 +	0.55超-0.60以下	252.1 超 275.0 以下	1	5.9%	98
A3	0.60超-0.65以下	275.0 超 297.9 以下	4		318
A3 -	0.65超-0.70以下	297.9 超 320.8 以下	2		226
A2 +	0.70超-0.75以下	320.8 超 343.7 以下	8	25.2%	202
A2	0.75超-0.80以下	343.7 超 366.6 以下	9		134
A2 -	0.80超-0.85以下	366.6 超 389.5 以下	13		213
A1 +	0.85超-0.90以下	389.5 超 412.4 以下	11	28.6%	152
A1	0.90超-0.95以下	412.4 超 435.3 以下	14		206
A1 -	0.95超-1.00以下	435.3 超 458.2 以下	9		185
B2 +	1.00超-1.05以下	458.2 超 481.2 以下	11	17.6%	187
B2	1.05超-1.10以下	481.2 超 504.1 以下	8		170
B2 -	1.10超-1.15以下	504.1 超 527.0 以下	2		246
B1	1.15超-1.50以下	527.0 超 687.3 以下	14	11.8%	118
C	1.50超	687.3 超	9	7.6%	114
合計			119	平均	184

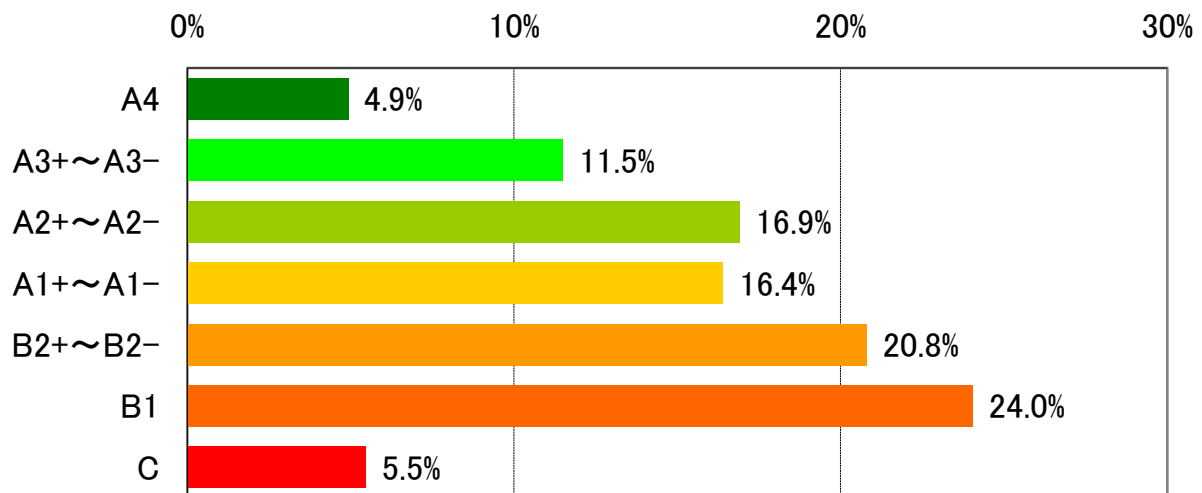
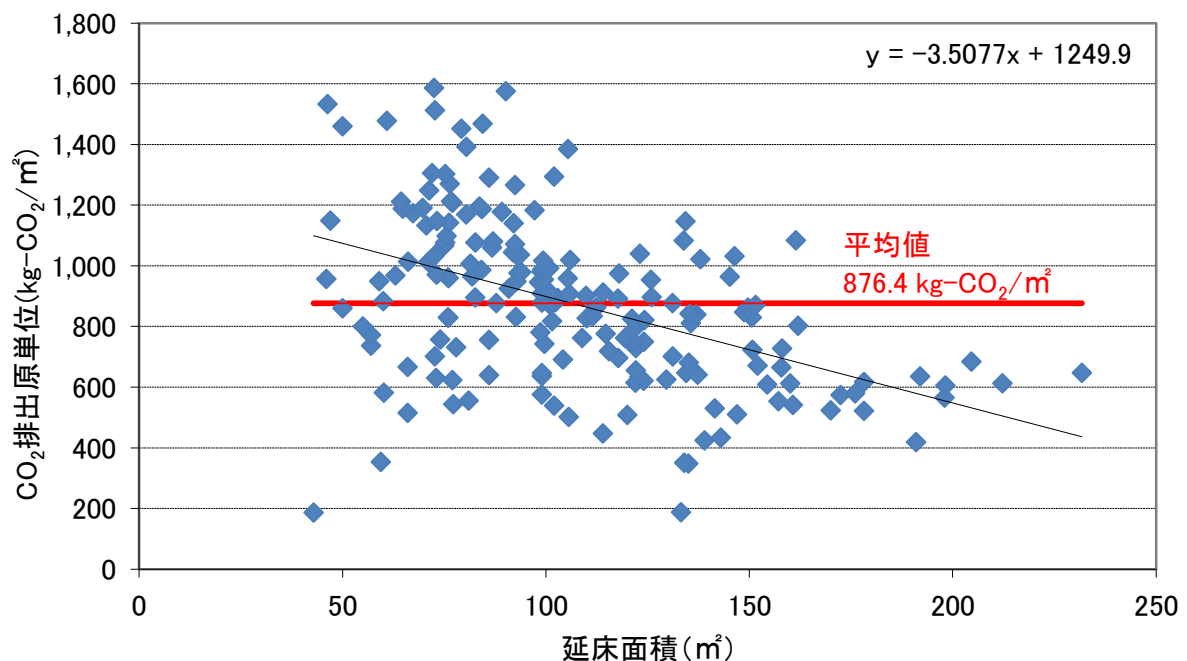
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	482.1 以下	9	4.9%	121
A3 +	0.55超-0.60以下	482.1 超 525.9 以下	6	11.5%	131
A3	0.60超-0.65以下	525.9 超 569.7 以下	7		131
A3 -	0.65超-0.70以下	569.7 超 613.5 以下	8		154
A2 +	0.70超-0.75以下	613.5 超 657.3 以下	15	16.9%	129
A2	0.75超-0.80以下	657.3 超 701.2 以下	7		134
A2 -	0.80超-0.85以下	701.2 超 745.0 以下	9		109
A1 +	0.85超-0.90以下	745.0 超 788.8 以下	9	16.4%	100
A1	0.90超-0.95以下	788.8 超 832.6 以下	12		111
A1 -	0.95超-1.00以下	832.6 超 876.4 以下	9		122
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 876.4 超 920.3 以下	15	20.8%	103
B2	1.05超-1.10以下	920.3 超 964.1 以下	11		92
B2 -	1.10超-1.15以下	964.1 超 1007.9 以下	12		91
B1	1.15超-1.50以下	1007.9 超 1314.6 以下	44	24.0%	89
C	1.50超	1314.6 超	10	5.5%	74
合計			183	平均	106

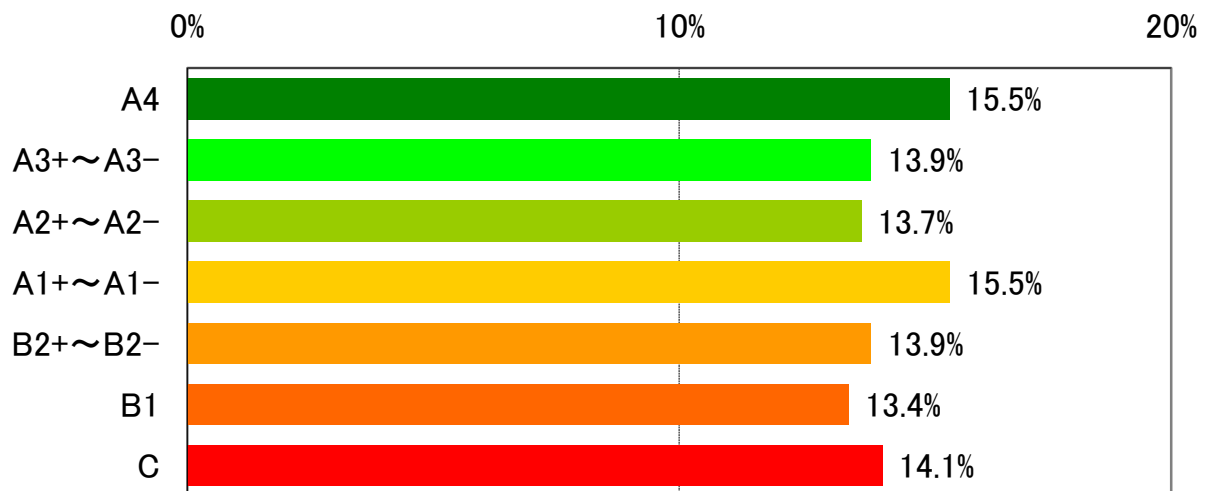
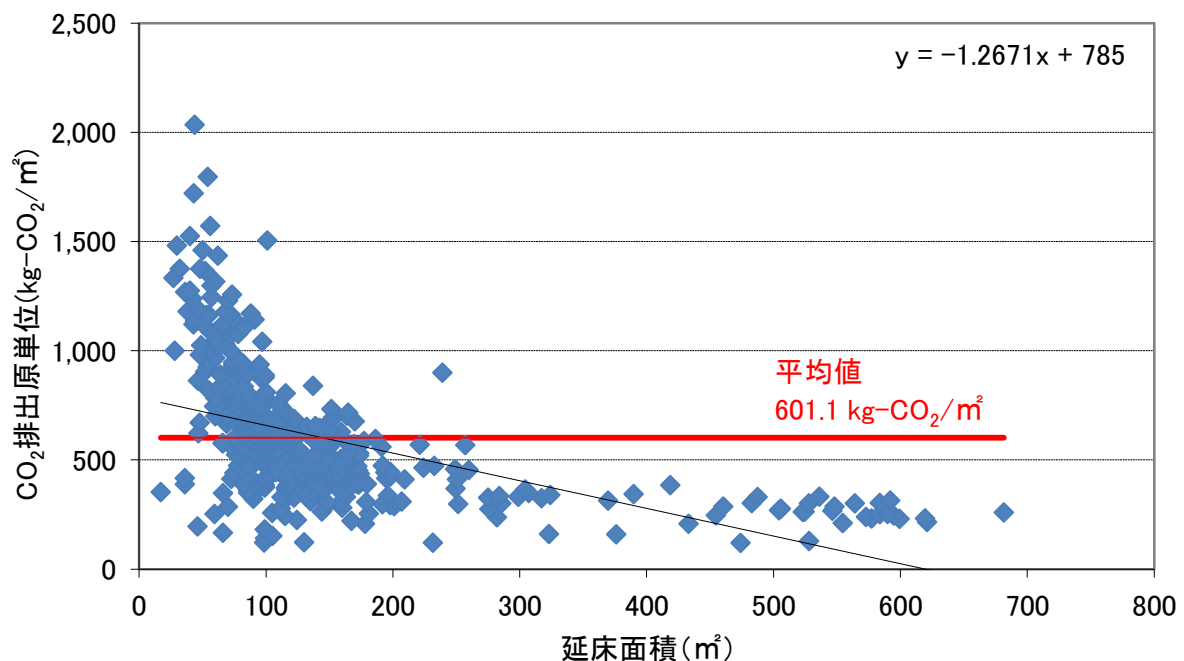
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	330.7 以下	68	15.5%	320
A3 +	0.55超-0.60以下	330.7 超 360.7 以下	17	13.9%	204
A3	0.60超-0.65以下	360.7 超 390.8 以下	24		149
A3 -	0.65超-0.70以下	390.8 超 420.8 以下	20		132
A2 +	0.70超-0.75以下	420.8 超 450.9 以下	21	13.7%	143
A2	0.75超-0.80以下	450.9 超 480.9 以下	23		152
A2 -	0.80超-0.85以下	480.9 超 511.0 以下	16		126
A1 +	0.85超-0.90以下	511.0 超 541.0 以下	26	15.5%	121
A1	0.90超-0.95以下	541.0 超 571.1 以下	18		122
A1 -	0.95超-1.00以下	571.1 超 平均値 601.1 以下	24		119
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 601.1 超 631.2 以下	23	13.9%	110
B2	1.05超-1.10以下	631.2 超 661.3 以下	20		106
B2 -	1.10超-1.15以下	661.3 超 691.3 以下	18		97
B1	1.15超-1.50以下	691.3 超 901.7 以下	59	13.4%	92
C	1.50超	901.7 超	62	14.1%	60
合計			439	平均	145

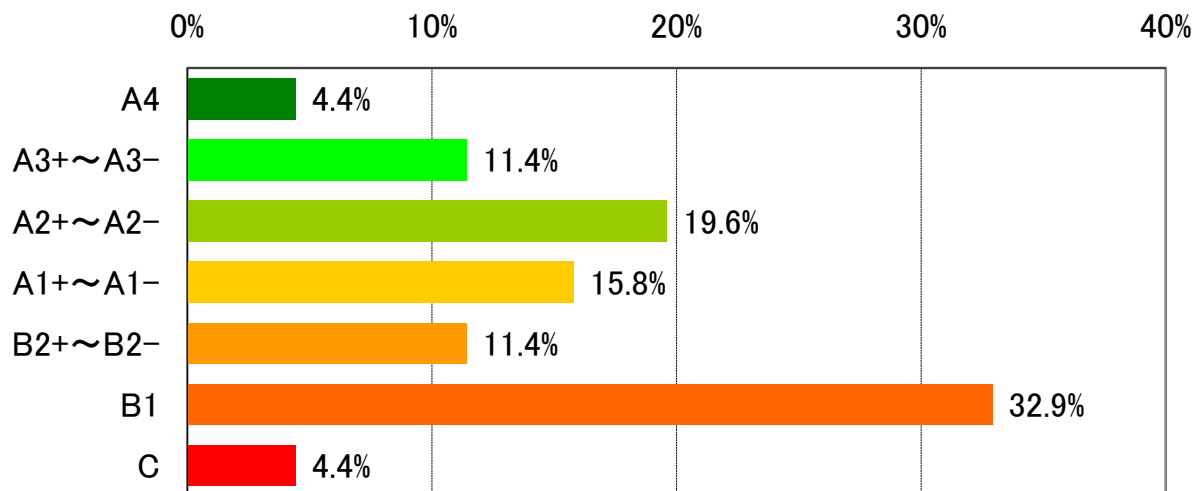
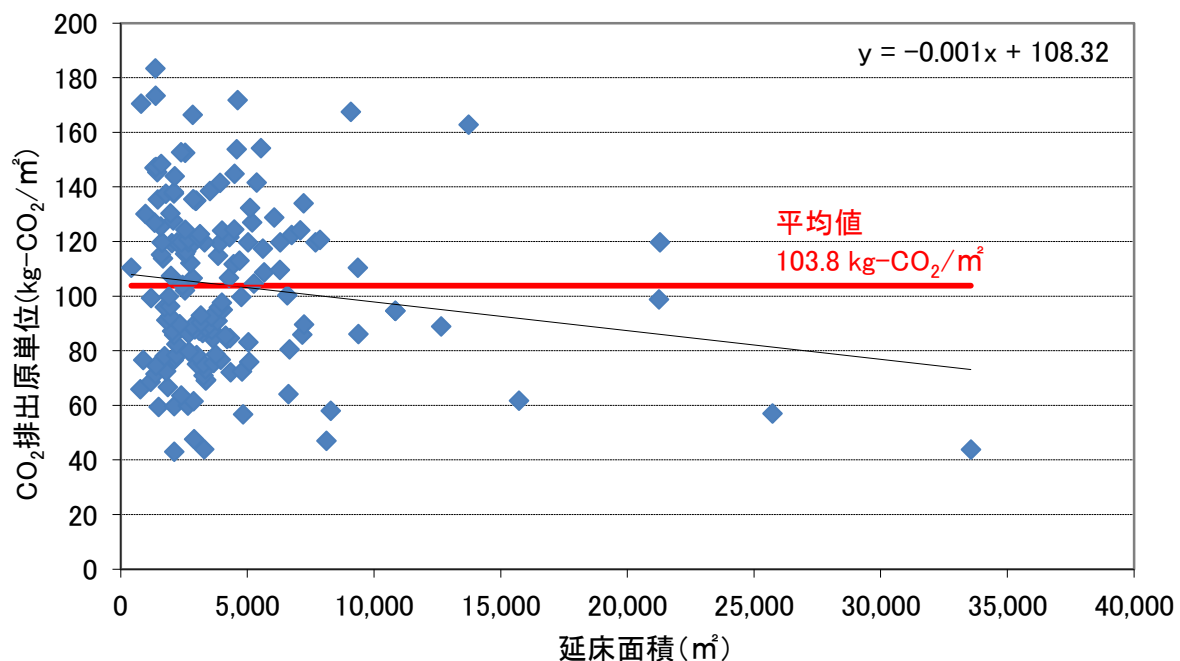
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	57.1 以下	7	4.4%	11508
A3 +	0.55超-0.60以下	57.1 超 62.3 以下	6	11.4%	5525
A3	0.60超-0.65以下	62.3 超 67.5 以下	4		2911
A3 -	0.65超-0.70以下	67.5 超 72.7 以下	8		2933
A2 +	0.70超-0.75以下	72.7 超 77.9 以下	10	19.6%	2882
A2	0.75超-0.80以下	77.9 超 83.1 以下	8		3408
A2 -	0.80超-0.85以下	83.1 超 88.3 以下	13		4038
A1 +	0.85超-0.90以下	88.3 超 93.5 以下	12	15.8%	4114
A1	0.90超-0.95以下	93.5 超 98.7 以下	7		5323
A1 -	0.95超-1.00以下	98.7 超 平均値 103.8 以下	6		6370
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 103.8 超 109.0 以下	6	11.4%	3742
B2	1.05超-1.10以下	109.0 超 114.2 以下	7		4232
B2 -	1.10超-1.15以下	114.2 超 119.4 以下	5		3232
B1	1.15超-1.50以下	119.4 超 155.7 以下	52	32.9%	3786
C	1.50超	155.7 超	7	4.4%	4832
合計			158	平均	4311

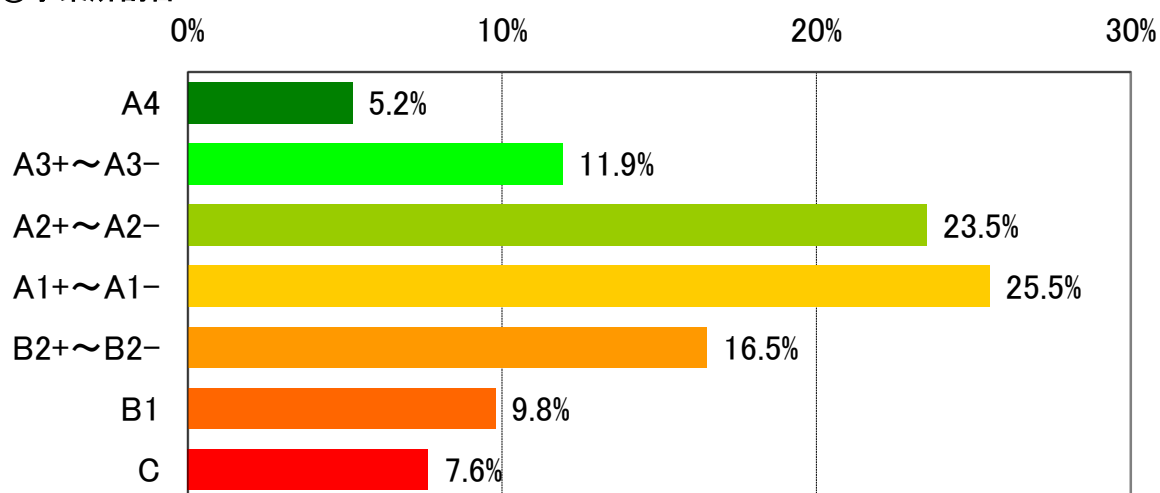
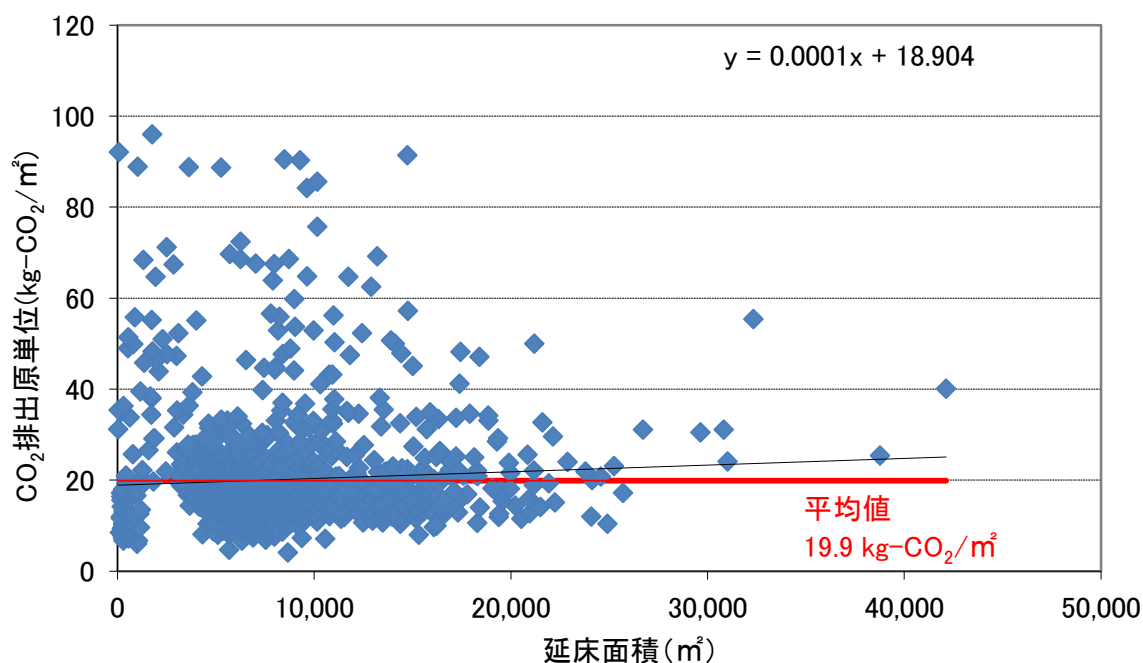
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	11.0 以下	93	5.2%	6260
A3 +	0.55超-0.60以下	11.0 超 12.0 以下	46	11.9%	8553
A3	0.60超-0.65以下	12.0 超 13.0 以下	75		7839
A3 -	0.65超-0.70以下	13.0 超 14.0 以下	91		8261
A2 +	0.70超-0.75以下	14.0 超 15.0 以下	108	23.5%	7153
A2	0.75超-0.80以下	15.0 超 16.0 以下	145		7697
A2 -	0.80超-0.85以下	16.0 超 17.0 以下	166		6786
A1 +	0.85超-0.90以下	17.0 超 18.0 以下	176	25.5%	7013
A1	0.90超-0.95以下	18.0 超 19.0 以下	167		6685
A1 -	0.95超-1.00以下	19.0 超 19.9 以下	111		6552
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 19.9 超 20.9 以下	113	16.5%	7048
B2	1.05超-1.10以下	20.9 超 21.9 以下	114		6958
B2 -	1.10超-1.15以下	21.9 超 22.9 以下	66		7521
B1	1.15超-1.50以下	22.9 超 29.9 以下	174	9.8%	7678
C	1.50超	29.9 超	136	7.6%	9114
合計			1781	平均	7338

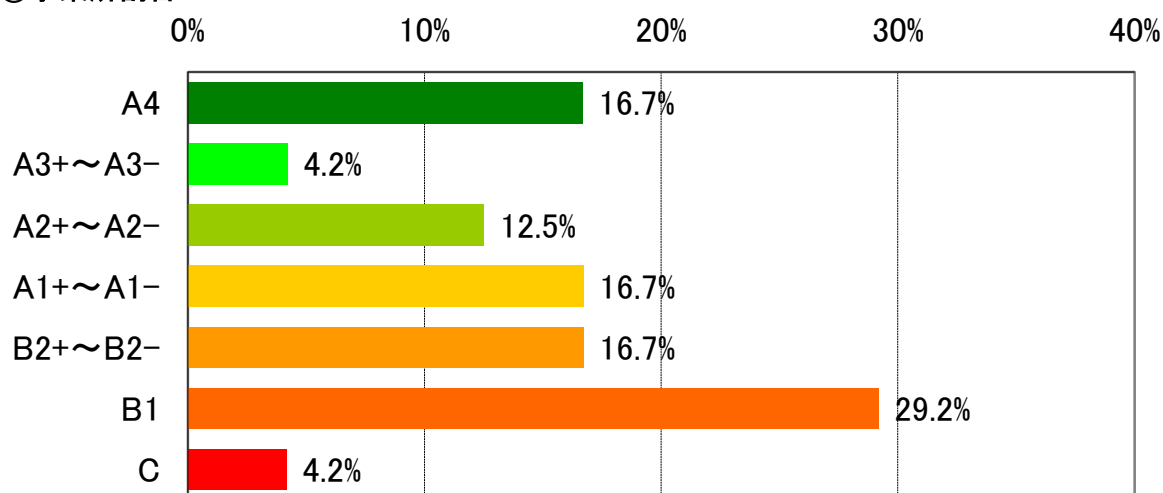
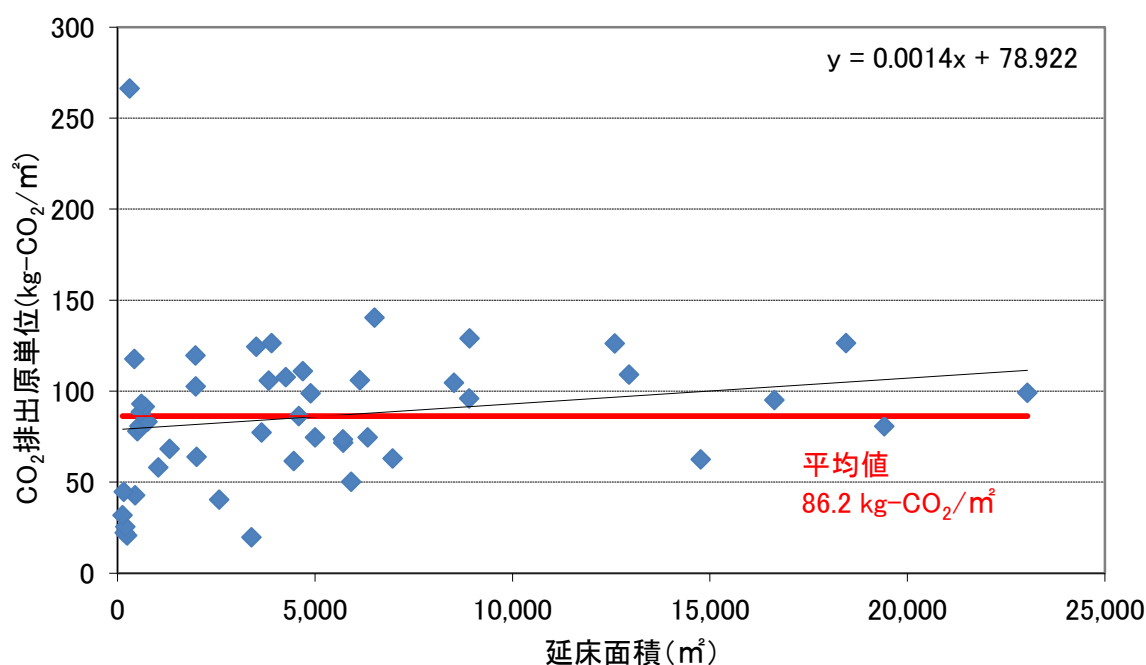
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	47.5 以下	8	16.7%	913
A3 +	0.55超-0.60以下	47.5 超 51.8 以下	1	4.2%	5915
A3	0.60超-0.65以下	51.8 超 56.1 以下	0		0
A3 -	0.65超-0.70以下	56.1 超 60.4 以下	1		1031
A2 +	0.70超-0.75以下	60.4 超 64.7 以下	4	12.5%	7048
A2	0.75超-0.80以下	64.7 超 69.0 以下	1		1317
A2 -	0.80超-0.85以下	69.0 超 73.3 以下	1		5713
A1 +	0.85超-0.90以下	73.3 超 77.6 以下	4	16.7%	5171
A1	0.90超-0.95以下	77.6 超 81.9 以下	3		6824
A1 -	0.95超-1.00以下	81.9 超 86.2 以下	1		757
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 86.2 超 90.6 以下	2	16.7%	2588
B2	1.05超-1.10以下	90.6 超 94.9 以下	2		645
B2 -	1.10超-1.15以下	94.9 超 99.2 以下	4		13365
B1	1.15超-1.50以下	99.2 超 129.3 以下	14	29.2%	6580
C	1.50超	129.3 超	2	4.2%	3405
合計			48	平均	5213

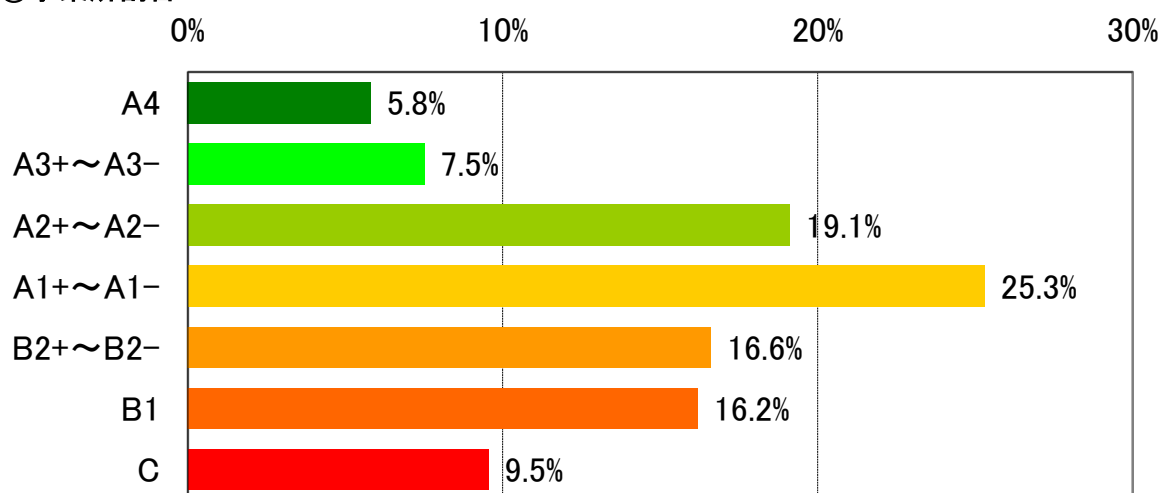
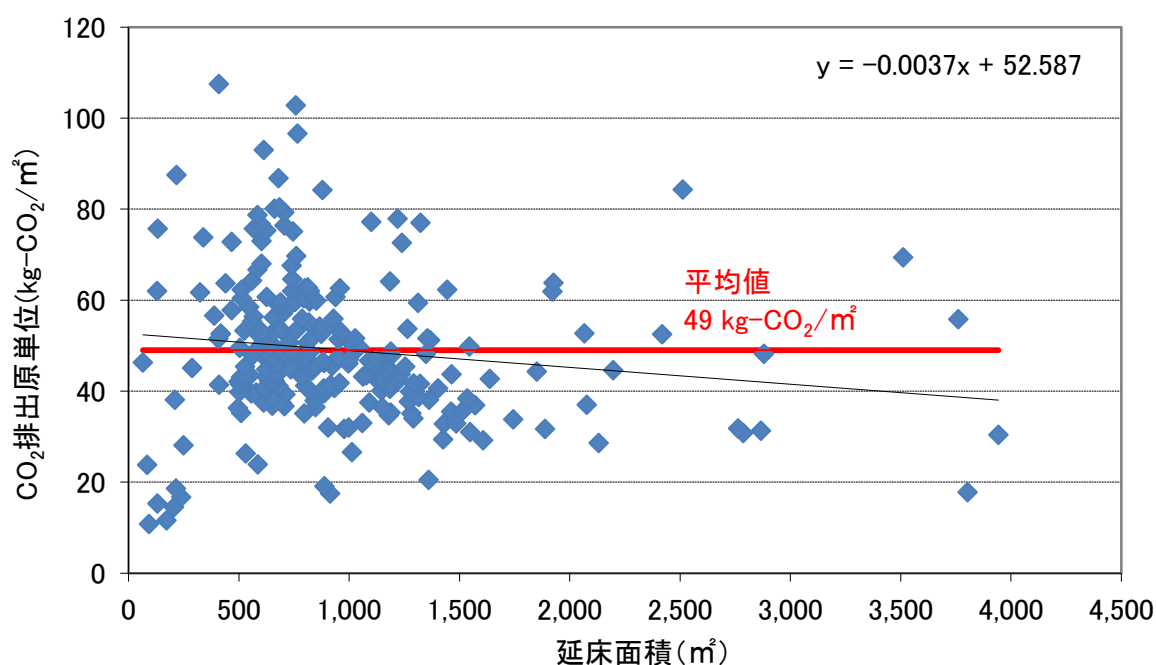
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	27.0 以下	14	5.8%	731
A3 +	0.55超-0.60以下	27.0 超 29.4 以下	4	7.5%	1353
A3	0.60超-0.65以下	29.4 超 31.9 以下	7		2396
A3 -	0.65超-0.70以下	31.9 超 34.3 以下	7		1273
A2 +	0.70超-0.75以下	34.3 超 36.8 以下	12	19.1%	982
A2	0.75超-0.80以下	36.8 超 39.2 以下	12		1103
A2 -	0.80超-0.85以下	39.2 超 41.7 以下	22		874
A1 +	0.85超-0.90以下	41.7 超 44.1 以下	20	25.3%	885
A1	0.90超-0.95以下	44.1 超 46.6 以下	23		935
A1 -	0.95超-1.00以下	46.6 超 49.0 以下	18		978
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 49.0 超 51.5 以下	13	16.6%	870
B2	1.05超-1.10以下	51.5 超 53.9 以下	18		946
B2 -	1.10超-1.15以下	53.9 超 56.4 以下	9		1095
B1	1.15超-1.50以下	56.4 超 73.5 以下	39	16.2%	854
C	1.50超	73.5 超	23	9.5%	758
合計			241	平均	960

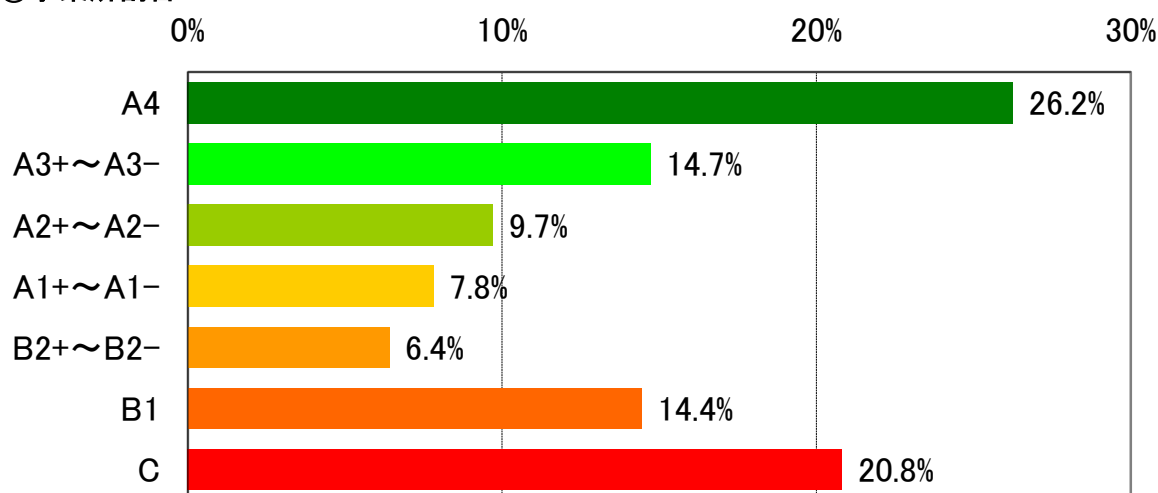
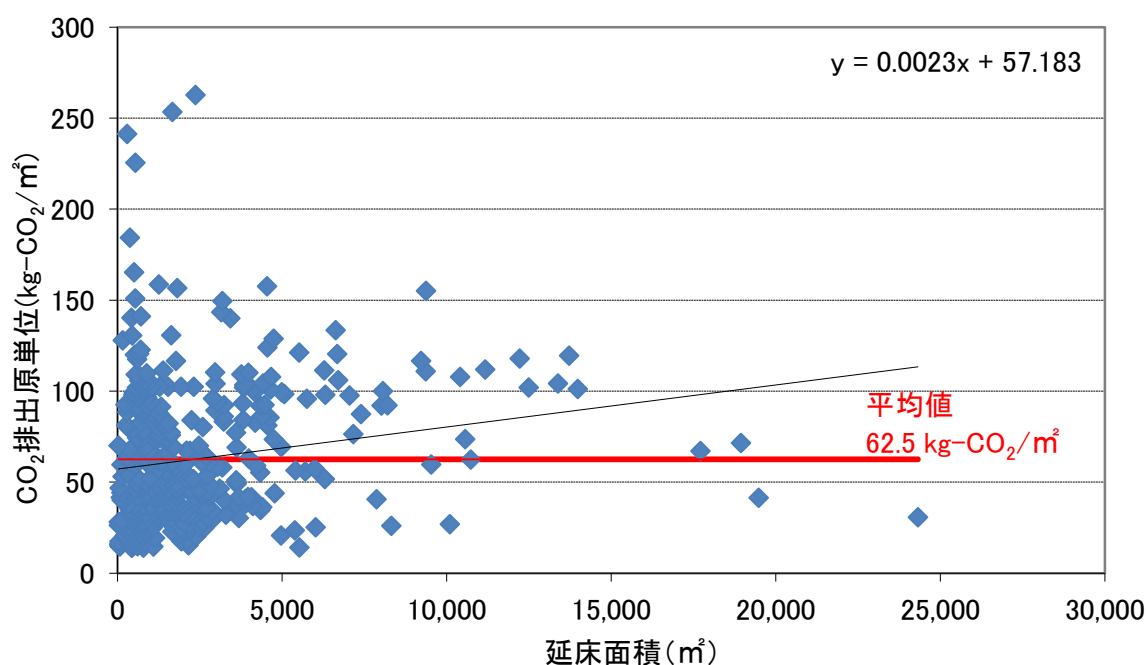
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	34.4 以下	111	26.2%	1573
A3 +	0.55超-0.60以下	34.4 超 37.5 以下	24	14.7%	1700
A3	0.60超-0.65以下	37.5 超 40.7 以下	16		1900
A3 -	0.65超-0.70以下	40.7 超 43.8 以下	22		2709
A2 +	0.70超-0.75以下	43.8 超 46.9 以下	19	9.7%	1712
A2	0.75超-0.80以下	46.9 超 50.0 以下	11		1441
A2 -	0.80超-0.85以下	50.0 超 53.2 以下	11		1932
A1 +	0.85超-0.90以下	53.2 超 56.3 以下	9	7.8%	2228
A1	0.90超-0.95以下	56.3 超 59.4 以下	10		2898
A1 -	0.95超-1.00以下	59.4 超 平均値 62.5 以下	14		2604
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 62.5 超 65.7 以下	11	6.4%	1444
B2	1.05超-1.10以下	65.7 超 68.8 以下	9		3212
B2 -	1.10超-1.15以下	68.8 超 71.9 以下	7		4651
B1	1.15超-1.50以下	71.9 超 93.8 以下	61	14.4%	2357
C	1.50超	93.8 超	88	20.8%	3390
合計			423	平均	2317

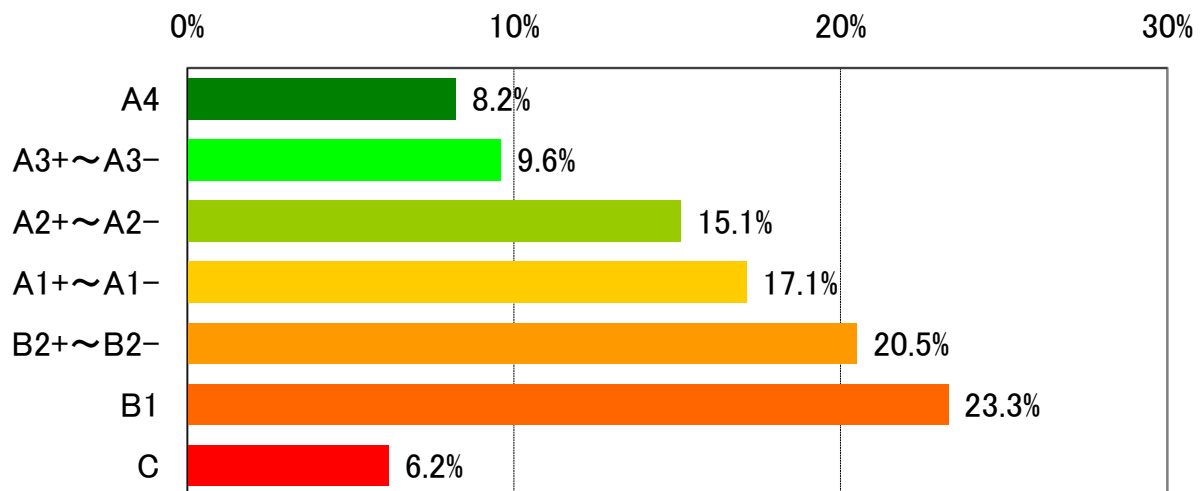
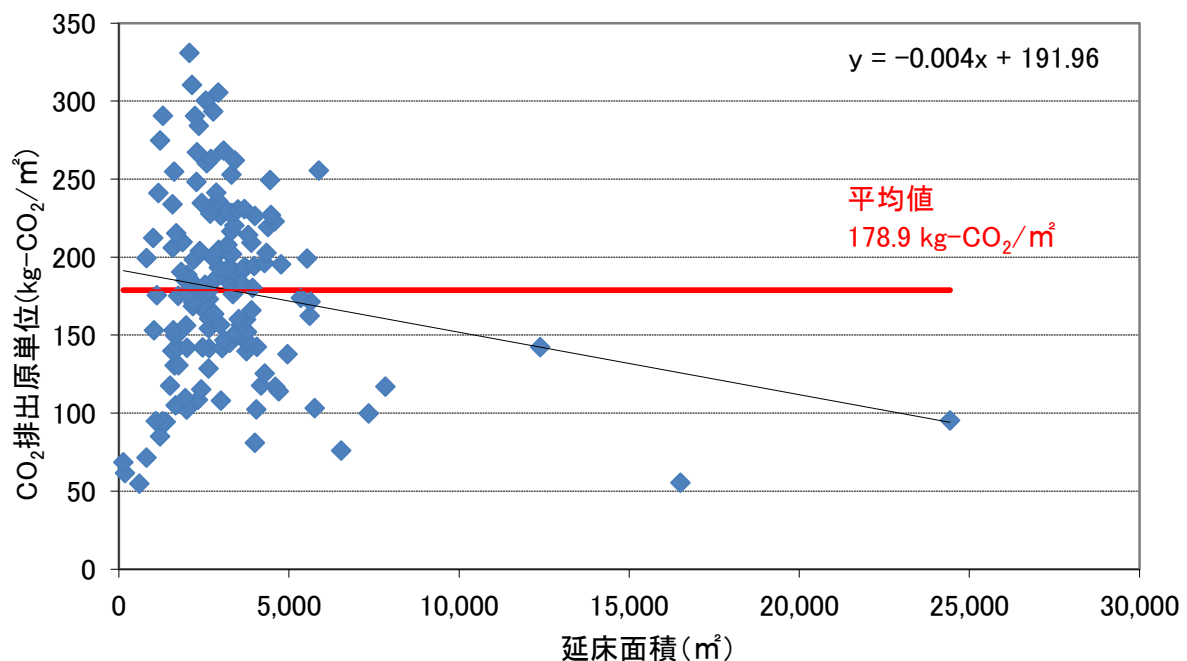
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	98.4 以下	12	8.2%	4846
A3 +	0.55超-0.60以下	98.4 超 107.4 以下	5	9.6%	4160
A3	0.60超-0.65以下	107.4 超 116.3 以下	5		2879
A3 -	0.65超-0.70以下	116.3 超 125.3 以下	4		4529
A2 +	0.70超-0.75以下	125.3 超 134.2 以下	4	15.1%	2578
A2	0.75超-0.80以下	134.2 超 143.2 以下	10		3860
A2 -	0.80超-0.85以下	143.2 超 152.1 以下	8		3278
A1 +	0.85超-0.90以下	152.1 超 161.1 以下	9	17.1%	2637
A1	0.90超-0.95以下	161.1 超 170.0 以下	6		3281
A1 -	0.95超-1.00以下	170.0 超 178.9 以下	10		2906
B2 +	1.00超-1.05以下	178.9 超 187.9 以下	10	20.5%	2784
B2	1.05超-1.10以下	187.9 超 196.8 以下	11		3366
B2 -	1.10超-1.15以下	196.8 超 205.8 以下	9		3063
B1	1.15超-1.50以下	205.8 超 268.4 以下	34	23.3%	3032
C	1.50超	268.4 超	9	6.2%	2174
合計			146	平均	3248

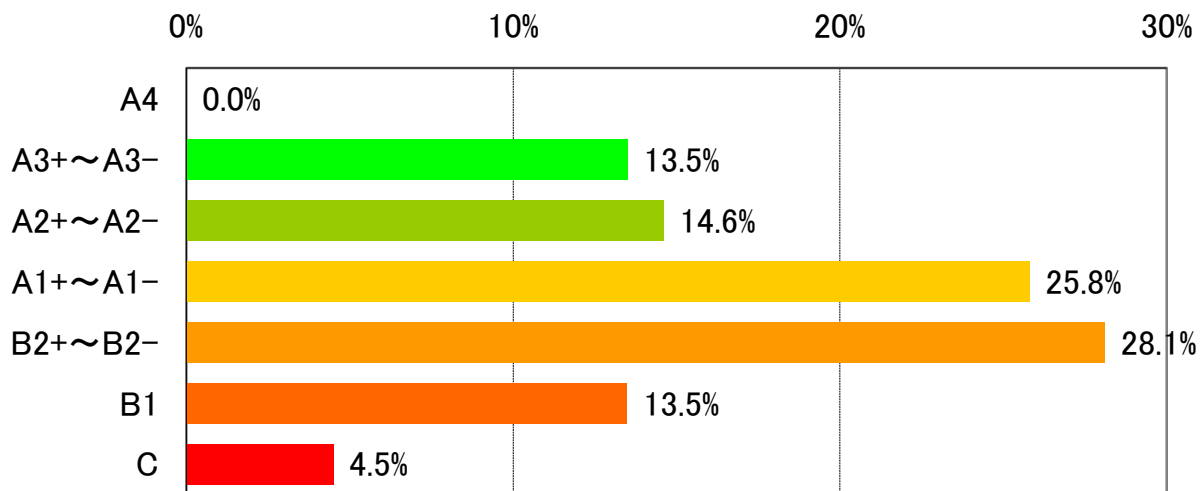
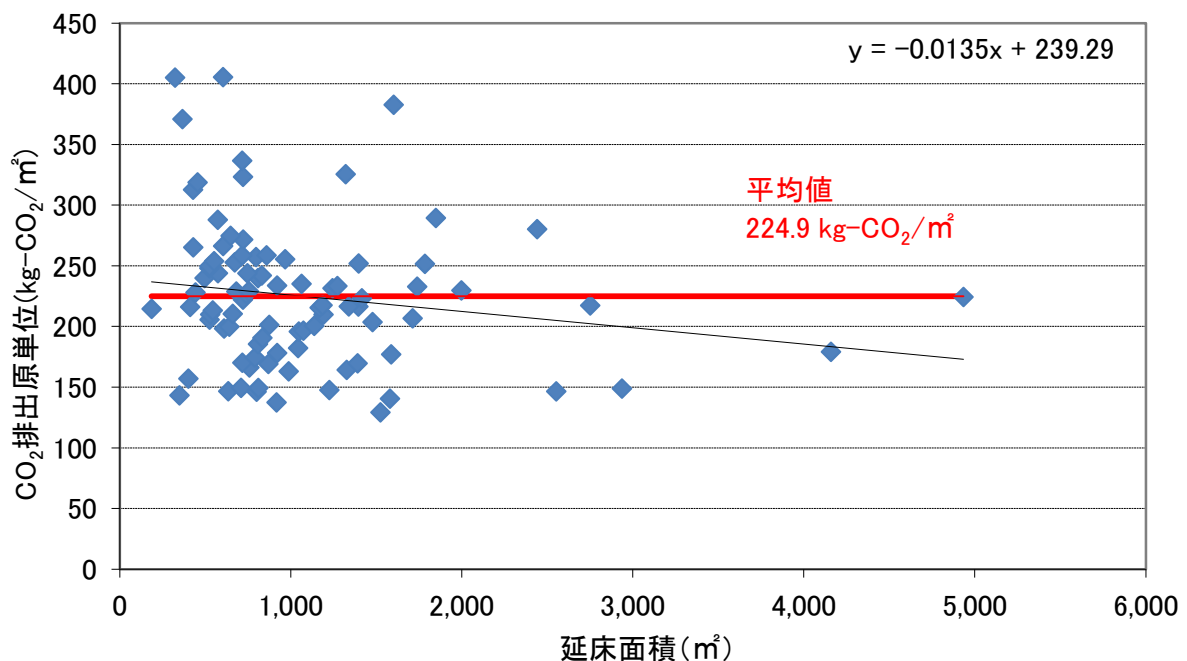
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	123.7 以下	0	0.0%	0
A3 +	0.55超-0.60以下	123.7 超 135.0 以下	1	13.5%	1524
A3	0.60超-0.65以下	135.0 超 146.2 以下	4		912
A3 -	0.65超-0.70以下	146.2 超 157.5 以下	7		1324
A2 +	0.70超-0.75以下	157.5 超 168.7 以下	3	14.6%	1024
A2	0.75超-0.80以下	168.7 超 180.0 以下	7		1490
A2 -	0.80超-0.85以下	180.0 超 191.2 以下	3		895
A1 +	0.85超-0.90以下	191.2 超 202.5 以下	6	25.8%	897
A1	0.90超-0.95以下	202.5 超 213.7 以下	7		949
A1 -	0.95超-1.00以下	213.7 超 224.9 以下	10		1551
B2 +	1.00超-1.05以下	224.9 超 236.2 以下	10	28.1%	1086
B2	1.05超-1.10以下	236.2 超 247.4 以下	5		691
B2 -	1.10超-1.15以下	247.4 超 258.7 以下	10		879
B1	1.15超-1.50以下	258.7 超 337.4 以下	12	13.5%	909
C	1.50超	337.4 超	4	4.5%	724
合計			89	平均	1068

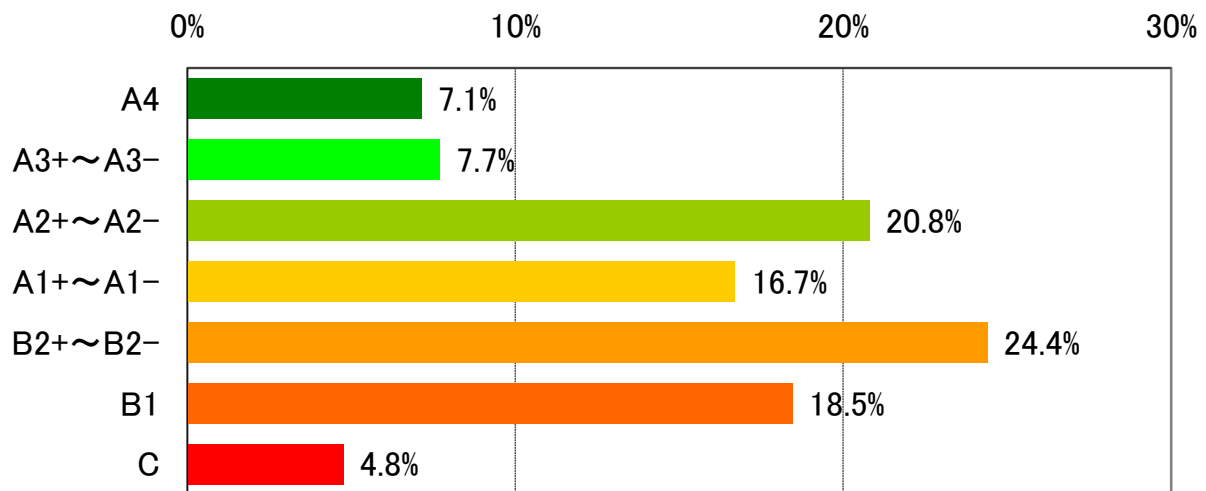
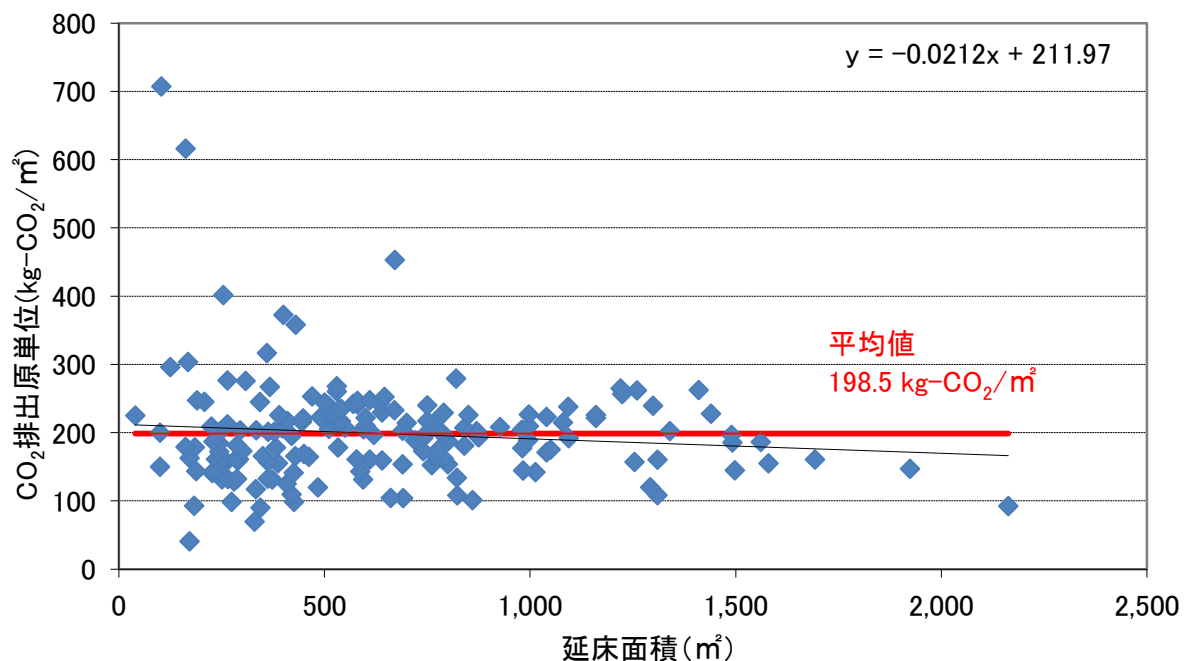
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	109.2 以下	12	7.1%	686
A3 +	0.55超-0.60以下	109.2 超 119.1 以下	2	7.7%	377
A3	0.60超-0.65以下	119.1 超 129.1 以下	4		616
A3 -	0.65超-0.70以下	129.1 超 139.0 以下	7		422
A2 +	0.70超-0.75以下	139.0 超 148.9 以下	9	20.8%	786
A2	0.75超-0.80以下	148.9 超 158.8 以下	10		645
A2 -	0.80超-0.85以下	158.8 超 168.8 以下	16		573
A1 +	0.85超-0.90以下	168.8 超 178.7 以下	11	16.7%	608
A1	0.90超-0.95以下	178.7 超 188.6 以下	8		702
A1 -	0.95超-1.00以下	188.6 超 198.5 以下	9		860
B2 +	1.00超-1.05以下	198.5 超 208.5 以下	18	24.4%	608
B2	1.05超-1.10以下	208.5 超 218.4 以下	11		616
B2 -	1.10超-1.15以下	218.4 超 228.3 以下	12		761
B1	1.15超-1.50以下	228.3 超 297.8 以下	31	18.5%	652
C	1.50超	297.8 超	8	4.8%	319
合計			168	平均	635

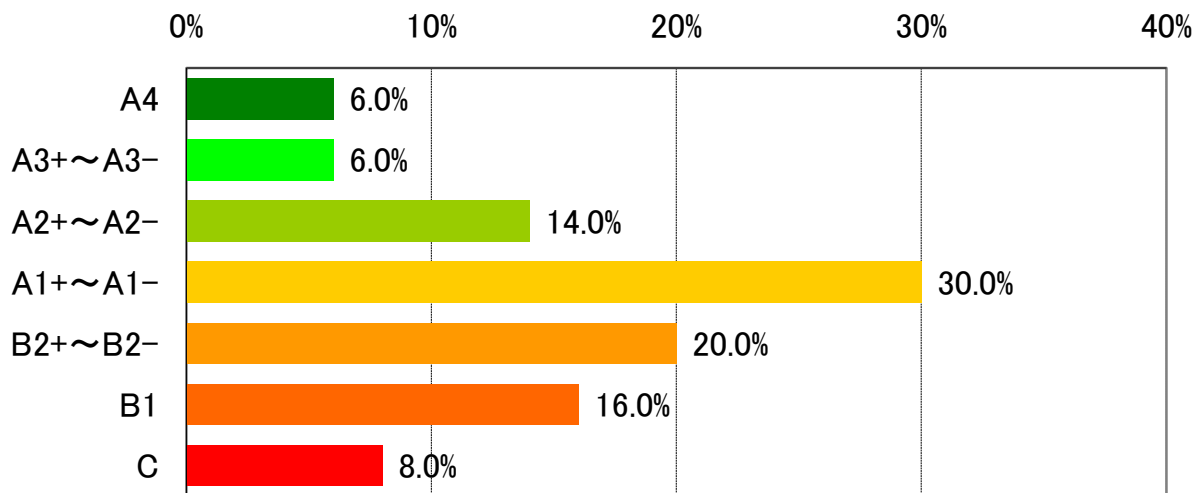
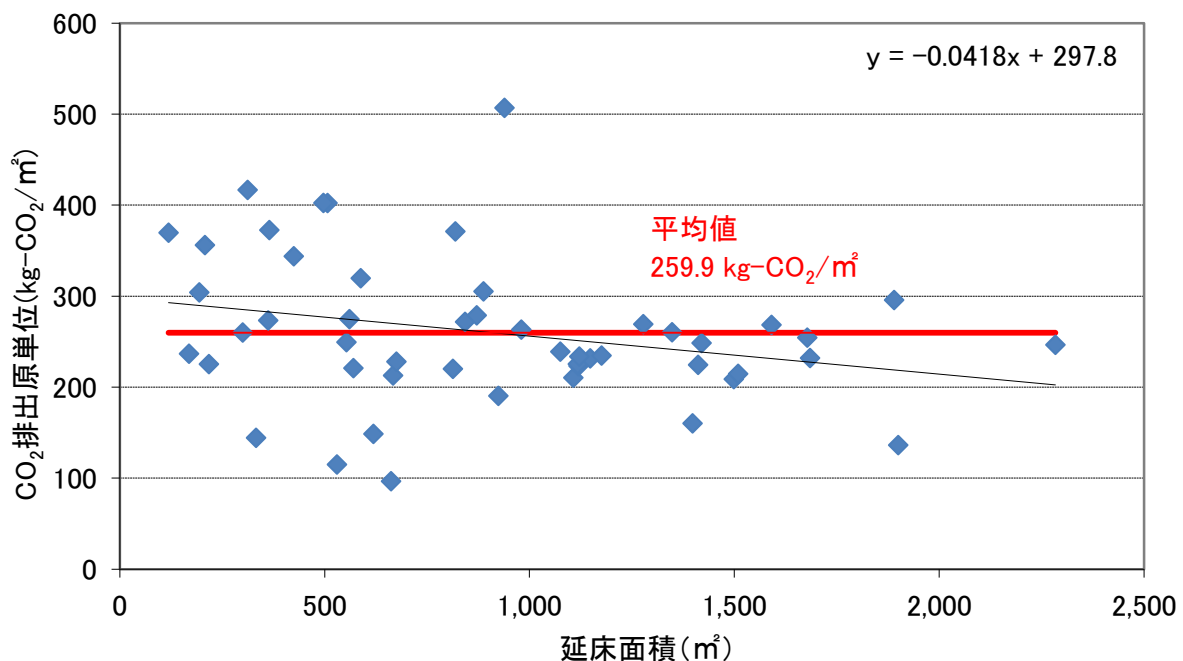
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	143.0 以下	3	6.0%	1031
A3 +	0.55超-0.60以下	143.0 超 156.0 以下	2	6.0%	476
A3	0.60超-0.65以下	156.0 超 169.0 以下	1		1398
A3 -	0.65超-0.70以下	169.0 超 182.0 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	182.0 超 195.0 以下	1	14.0%	924
A2	0.75超-0.80以下	195.0 超 208.0 以下	0		0
A2 -	0.80超-0.85以下	208.0 超 221.0 以下	6		1028
A1 +	0.85超-0.90以下	221.0 超 234.0 以下	8	30.0%	1062
A1	0.90超-0.95以下	234.0 超 247.0 以下	4		1176
A1 -	0.95超-1.00以下	247.0 超 259.9 以下	3		1217
B2 +	1.00超-1.05以下	259.9 超 272.9 以下	6	20.0%	1057
B2	1.05超-1.10以下	272.9 超 285.9 以下	3		598
B2 -	1.10超-1.15以下	285.9 超 298.9 以下	1		1890
B1	1.15超-1.50以下	298.9 超 389.9 以下	8	16.0%	451
C	1.50超	389.9 超	4	8.0%	564
合計			50	平均	905

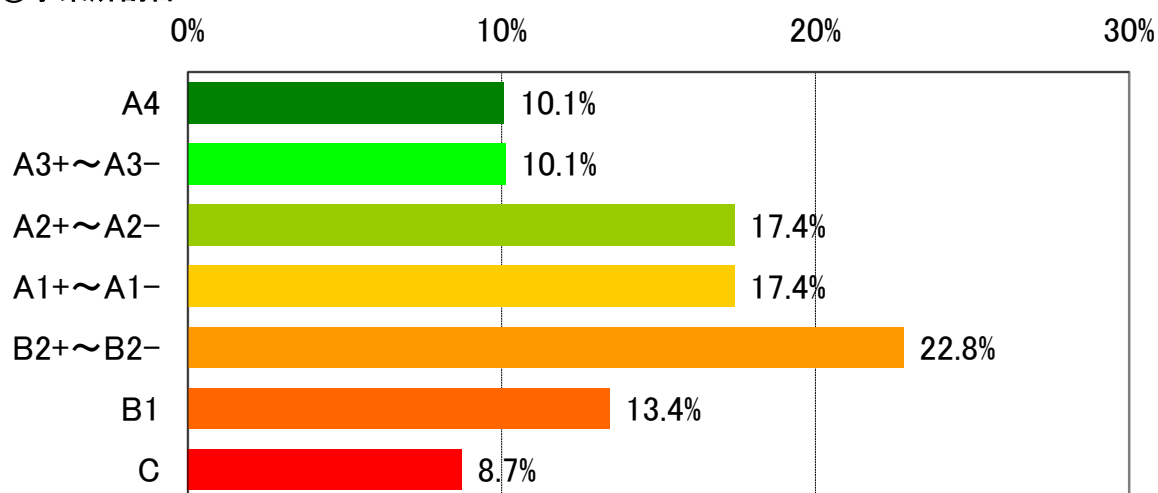
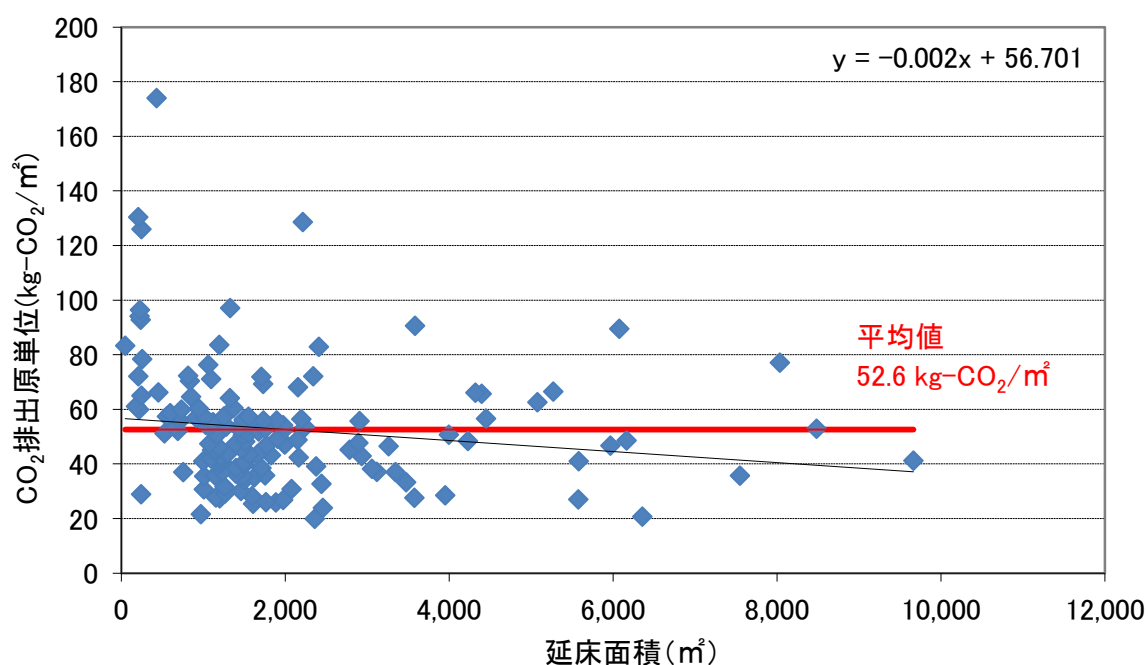
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	29.0 以下	15	10.1%	2445
A3 +	0.55超-0.60以下	29.0 超 31.6 以下	4	10.1%	1453
A3	0.60超-0.65以下	31.6 超 34.2 以下	4		2169
A3 -	0.65超-0.70以下	34.2 超 36.9 以下	7		2281
A2 +	0.70超-0.75以下	36.9 超 39.5 以下	8	17.4%	2125
A2	0.75超-0.80以下	39.5 超 42.1 以下	10		2518
A2 -	0.80超-0.85以下	42.1 超 44.8 以下	8		1727
A1 +	0.85超-0.90以下	44.8 超 47.4 以下	12	17.4%	2097
A1	0.90超-0.95以下	47.4 超 50.0 以下	6		3143
A1 -	0.95超-1.00以下	50.0 超 52.6 以下	8		1573
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 52.6 超 55.3 以下	16	22.8%	1841
B2	1.05超-1.10以下	55.3 超 57.9 以下	13		1644
B2 -	1.10超-1.15以下	57.9 超 60.5 以下	5		772
B1	1.15超-1.50以下	60.5 超 78.9 以下	20	13.4%	2118
C	1.50超	78.9 超	13	8.7%	1418
合計			149	平均	1981

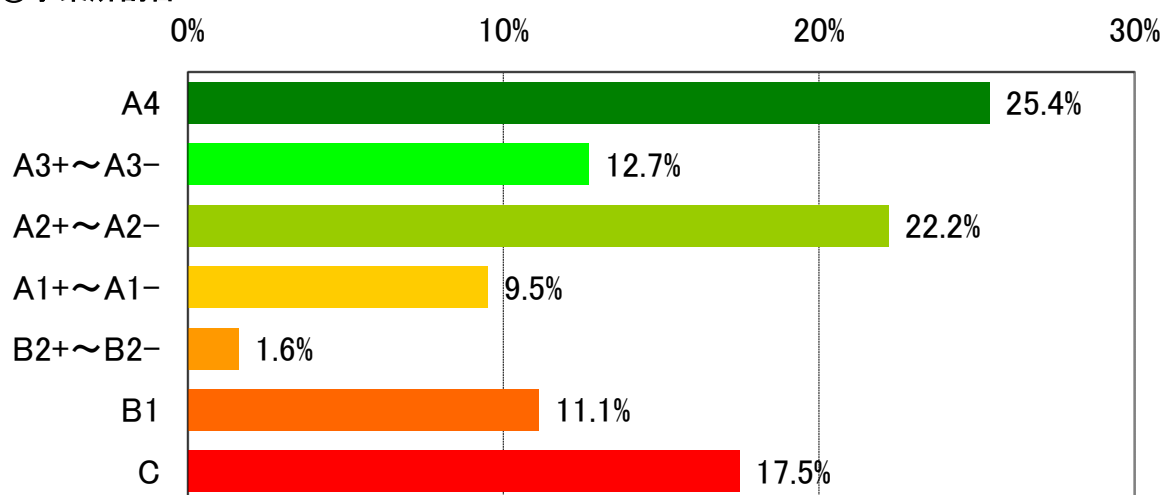
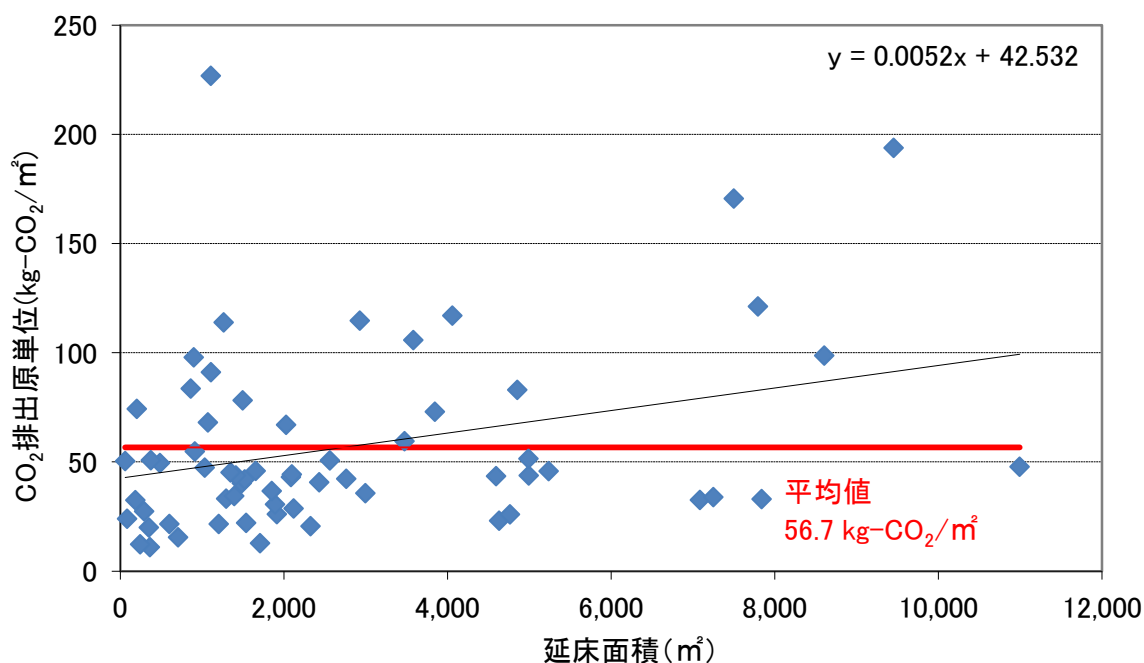
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	31.2 以下	16	25.4%	1546
A3 +	0.55超-0.60以下	31.2 超 34.1 以下	5	12.7%	4731
A3	0.60超-0.65以下	34.1 超 36.9 以下	3		2080
A3 -	0.65超-0.70以下	36.9 超 39.7 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	39.7 超 42.6 以下	4	22.2%	2050
A2	0.75超-0.80以下	42.6 超 45.4 以下	6		2755
A2 -	0.80超-0.85以下	45.4 超 48.2 以下	4		4730
A1 +	0.85超-0.90以下	48.2 超 51.1 以下	4	9.5%	870
A1	0.90超-0.95以下	51.1 超 53.9 以下	1		4990
A1 -	0.95超-1.00以下	53.9 超 56.7 以下	1		911
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 56.7 超 59.6 以下	1	1.6%	3475
B2	1.05超-1.10以下	59.6 超 62.4 以下	0		0
B2 -	1.10超-1.15以下	62.4 超 65.3 以下	0		0
B1	1.15超-1.50以下	65.3 超 85.1 以下	7	11.1%	2051
C	1.50超	85.1 超	11	17.5%	4391
合計			63	平均	2758

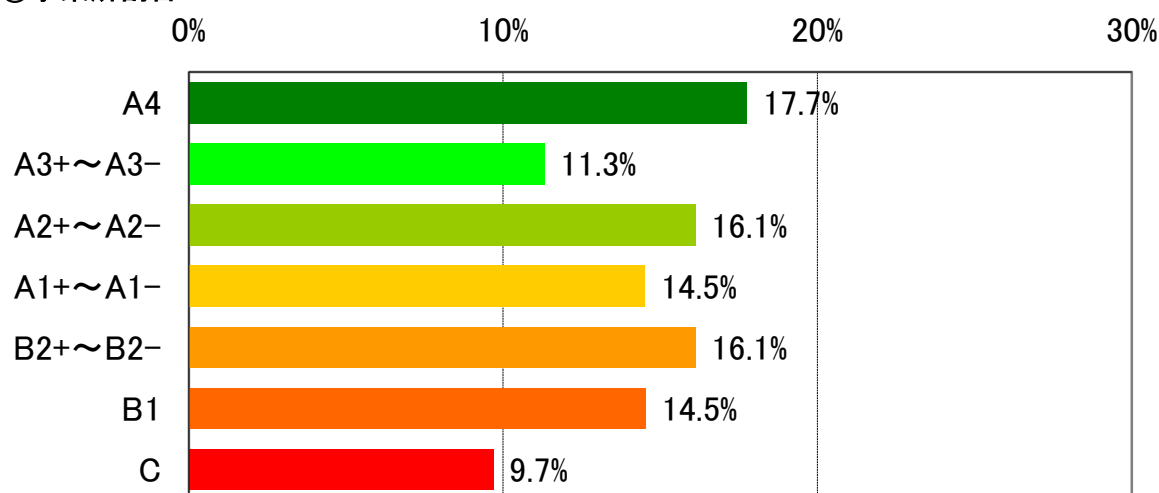
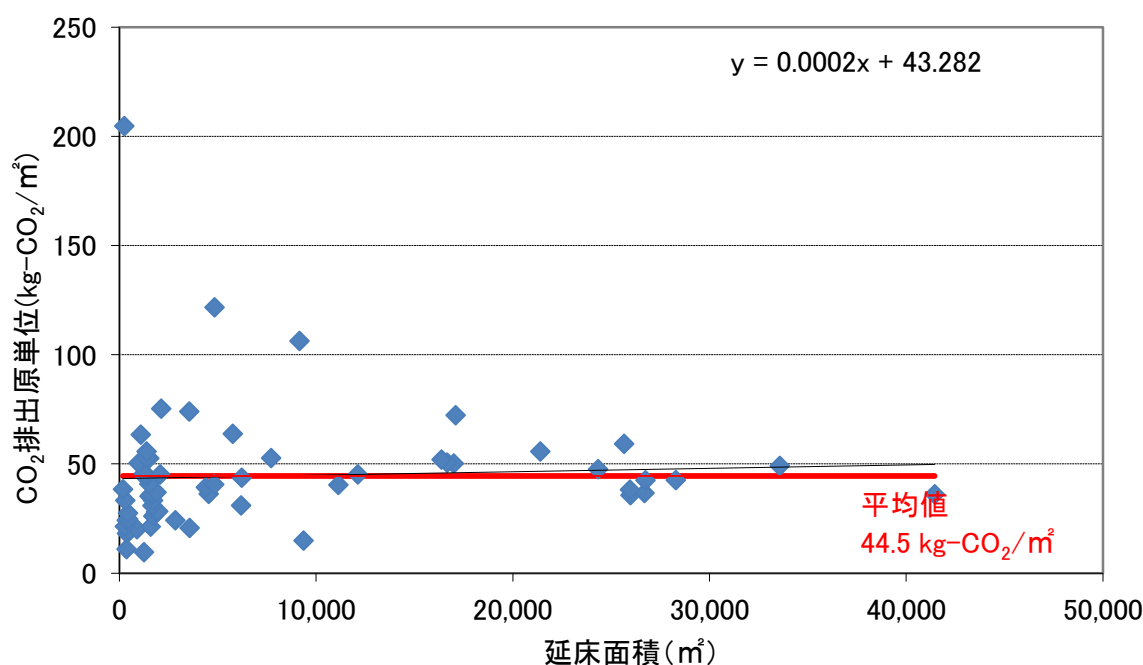
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	24.5 以下	11	17.7%	1947
A3 +	0.55超-0.60以下	24.5 超 26.7 以下	2	11.3%	1084
A3	0.60超-0.65以下	26.7 超 29.0 以下	3		1422
A3 -	0.65超-0.70以下	29.0 超 31.2 以下	2		3932
A2 +	0.70超-0.75以下	31.2 超 33.4 以下	2	16.1%	1005
A2	0.75超-0.80以下	33.4 超 35.6 以下	1		1531
A2 -	0.80超-0.85以下	35.6 超 37.9 以下	7		14828
A1 +	0.85超-0.90以下	37.9 超 40.1 以下	3	14.5%	10177
A1	0.90超-0.95以下	40.1 超 42.3 以下	3		5824
A1 -	0.95超-1.00以下	42.3 超 44.5 以下	3		20418
B2 +	1.00超-1.05以下	44.5 超 46.8 以下	5	16.1%	3623
B2	1.05超-1.10以下	46.8 超 49.0 以下	1		24336
B2 -	1.10超-1.15以下	49.0 超 51.2 以下	4		17051
B1	1.15超-1.50以下	51.2 超 66.8 以下	9	14.5%	9142
C	1.50超	66.8 超	6	9.7%	6169
合計			62	平均	7778

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

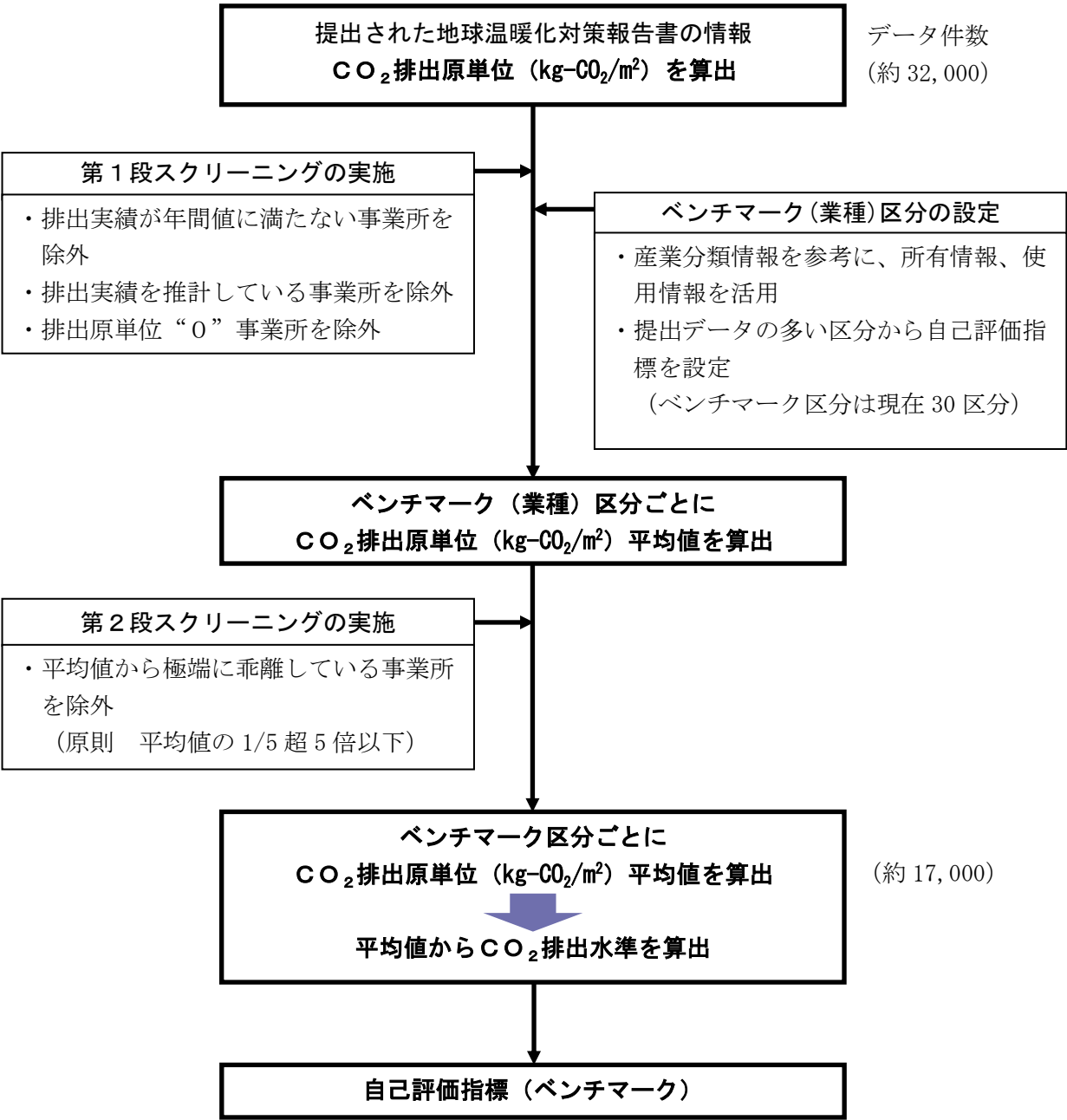
参考資料

ベンチマークの作成方法

参考. ベンチマークの作成方法

1. ベンチマーク作成作業フロー

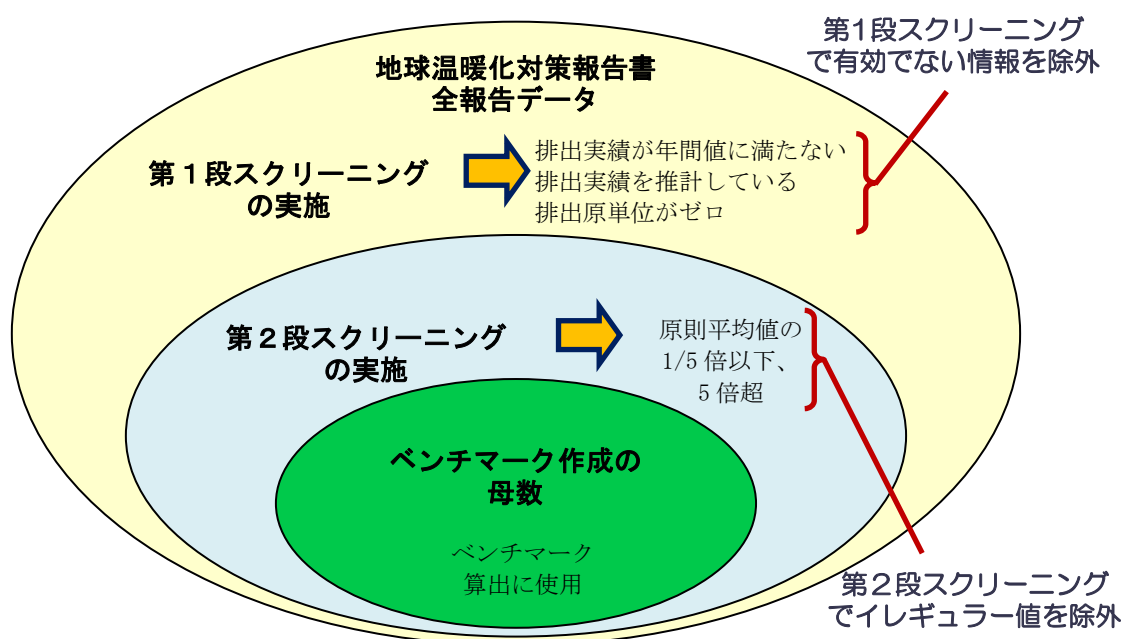
ベンチマークは、地球温暖化対策報告書で収集した事業所情報から、以下のプロセスを経て抽出・作成しています、



参考図-1 自己評価指標の作成フロー

2. スクリーニング作業の概念

ベンチマークの作成において、できるだけ実態に即した指標を作成するため、有効なデータとならない事業所情報を、ベンチマークを算出する母数から除外するため、2段階のスクリーニングを実施しています。以下にその概念を示します。



参考図-2 スクリーニング作業の概念

第1段階スクリーニング作業では、CO₂排出量が1年度分の実績に満たない事業所など有効でない情報を除外しています。

- ①排出実績が年間値に満たないもの（例：年度途中での閉所・開所）
- ②排出実績を推計しているもの
- ③排出原単位がゼロのもの

第2段階スクリーニングでは、第1段階スクリーニング後、仮に算出した平均値から極端に乖離している事業所の情報を除外しています。

第2段階スクリーニングでは、原則平均値の1/5倍と5倍（区分によっては、1/10倍、10倍）を閾値としています。これで、最多排出原単位と最少原単位との差は、最大で25倍（100倍）になります。

自己評価指標（ベンチマーク）解説書

平成 26 年 3 月発行

編集・発行 東京都環境局 都市地球環境部 計画調整課
中小規模事業所対策支援係